

21世紀のミラクルミネラル・ソリューション

第1編 第2編

ジム・ハンブル 著

本書について

消費者が摂取してから数ヶ月がたって効果が出てくるような、興味をそそる新しい栄養補助食品を紹介するのであろうと予想されるかもしれませんが。実はそうではないのです。ミラクルミネラル・ソリューションの効果は、摂取してから数時間以内に出てきます。現在、世界中でマラリアにかかって病死する人々の数は、数ある病気の中で最高を記録しています。それでも、このソリューションを摂取すれば、ほとんどのケースにおいて、ほんの4時間以内でマラリアに打ち勝つことができます。アフリカ南東部のマラウイ共和国にある診療所が行った臨床試験によってこの事実が実証されました。このソリューションが人体内のマラリア原虫を殺すので、試験中に失敗したケースが見られなかったのです。7万5千人以上のマラリア患者がミラクルミネラル・ソリューションを摂取してから、元気になって仕事に戻り、通常の生産的な生活を過ごしています。

エイズ患者であっても、ミラクルミネラル・ソリューションを摂取してから3日以内に病気がなくなって症状も簡単に消滅します。この診療所に最も近い病院にいる患者たちにこのソリューションを与えるなら、その内の50%以上は1週間以内に回復して自宅に帰れるでしょう。

診療所や病院は、実に100年以上にわたって、このソリューションの中にある活性成分を使って、床、机、機器、その他物品を消毒してきました。免疫系がばい菌を殺すパワフルなこの活性成分を利用して、体に害を与えないようにして病原菌を殺します。

ビックリされるでしょうが、正しく使えば、免疫系がこの殺菌活性成分を使って、身体に有害であるばい菌、バクテリア、ウイルスだけを攻撃するだけで、善玉のバクテリアや健康な細胞に一切害を与えません。私は本書において能力を最大限に使って、ミラクルミネラル・ソリューションに関して発生した事実を正確に説明しました。

本書はミラクルミネラルの発見と免疫系を驚異的に強化させるための今後の開発についての物語です。これは人類の病気と苦痛を解決するための最も優れている溶液です。これは薬ではありません。読者が本書に紹介するデータを収集する私の仕事に引き続いて、ミラクルミネラルを世間一般に提供していただければ、この物語が事実であると理解し納得されて、実際に試されることでしょう。この目的のために、読者の台所でこのソリューションを作る方法と、市販されている成分のほとんどを購入する方法について詳しく説明しました。ほんとうに、ある人の生命かまたはご自身の生命を守ることができます。

ミラクルミネラル・ソリューションは免疫系へのスーパーチャージャーとして働きますから、特定の病気を治療するものではありません。むしろ、24時間以内に、多くの疾患を克服するレベルまで免疫系の機能を高める役を持っています。

一個人だけが、一グループだけが、または複数のグループだけがこの重要な情報を独占してコントロールすることを避ける目的で、本書を著わしました。これは世界が共有しなけければならない情報です。あるグループはこの情報を利用して多くの成果をあげることができたのですが、実際は、5年間もほとんど何も実行されない状況を見てから、私はこの情報をできるだけ多くの人々へと、ま

たは貴重な生命を守るためのデータをいつも受け取ることができない状況にある人たちへと知らせなければならないと最終的に悟りました。生命を守る多くの重要医療情報は、世間に気づかれないようにと、たびたび隠されてしまいます。私の意図は、この情報が隠されることを防ぐことです。

まえがき

(メキシコのソノラ州に在住するヘクトル・フランシスコ・ロメロ医師に「まえがき」を書いてもらいました。ロメロ医師は診療所を持っておられ、ガン患者や治療不可能と考えられている病気を患っている人々の医療活動において大きく成功されました。同医師は、本書で紹介しています MMS (ミラクルミネラルソリューション) と多くの非侵人性治療方法を使用しています。同医師はメキシコインディアンを治療した実績により、ソノラ州全体に良く知られています。この「まえがき」によって、私が実体よりもっと優れているように見えますが、申し出を拒絶することができずに、ここに掲載致しました。著者)

砂漠地帯のソノラ州にいた私が親愛する友人は、世間で尊敬されていても温厚な性格の哲学の先生でしたが、いつも次のように話していました。「人生の大学に生きている人は、世界に足跡を残すでしょう」

これは自分自身のアイデアを構築して、それを「本」に書き著す人は非常に少ないという意味です。私の友人であるジム・ハンブルに向けて同様のことがいえます。ジムは人々のために研究した結果を持って足跡を残そうとして人生を通して戦ってきた挑戦者であり、また世界中を歩いてきた熱望家です。本書に紹介されているように、同氏はマラリアにかかっていて命を失うかも知れない人々のために、新しい代替治療法に頼れる可能性があることを医学界に示しながら、数百万マイルにわたって旅をして研究を続けました。ジムは、この代替治療法により、アフリカ、アジア、南アメリカなどの特定の民族地域に住んでいて病気を患っている人々の生活の質が向上するといえます。これらの地域においては、マラリアやその他 HIV などの伝染病にかかって死亡する人が多く、世界のその他の地域と比べますと、その死亡率は比べものにならないくらいに高いのです。アフリカのある国の保健衛生局が同氏の製品を検査してから認定しました。MMS を使って、人々に希望を与え、生活の質の向上に貢献しています。特に破滅的な病気にかかっている人々を助けているのです。私たちはメキシコのソノラ州において MMS を使って、熱性の伝染病、炎症性の変性性腫瘍、前立腺ガン、その他悪性腫瘍を患っている人々を治療しました。結果は良好で、今後に期待できるものでした。ですから、同氏に高い知性が得られて、世界諸地域にいる忘れ去られて希望を抱くことができない人々を、特に世話を必要としている子供たちのより良き未来のために、援助し続けることができるようにと神に祈っています。

ヘクトル・フランシスコ・ロメロ医師

著作権

21 世紀のミラクルミネラル・ソリューション (第 1 編 第 2 編)

著者 ジム V. ハンブル

The Miracle Mineral Supplement of the 21st Century – Part 1 and 2

Author Jim V. Humble

COPYRIGHT © 2006 Jim Humble

ISBN - 13:978-0 - 9792884 - 4 - 9

ISBN - 10:0 - 9792884 - 4 - 4

本書 (日本語版) は、著者ジム・ハンブルの認可を得て作成され出版されました。翻訳権と出版責任は Future Water, LLC にあります。

翻訳者 : Hiro M. Ikizake

ホットライン (相談受付電話): 国際通話料と相談は無料です。

MMS についてご自由に日本語にてお問い合わせ下さい。

ホットライン TEL : 050-5539-5910 (アナウンスの後で) 70234 を入力して下さい。(一応 1 日 24 時間週 7 日の体制で返答できるようにしますが、夜間に電話に出れない時はご了承下さい。)

著者に直接連絡される場合は、info@mmsasia.net へ E メール(日本語)して下さい。

2009 年 4 月第 1 刷 Printed in the U.S.A.

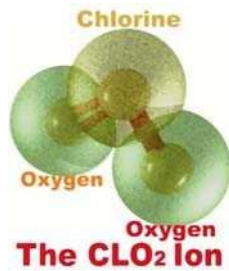
2010 年 7 月第 2 刷 Printed in the U.S.A.

2011 年 6 月第 3 刷 Printed in the U.S.A.

ISBN 978-1-4276-3935-6

Future Water, LLC 連絡先 : www.mmsasia.net

E メール info@mmsasia.net



謝 辞

ネバダ州ミナ市のビル・ポイントン氏に対して、二酸化塩素の化学的性質についてご教授いただき、お礼を申し上げます。ネバダ州ホーソーン市のクララ・テイト女史から英語およびその他の案件についてご助言をいただき、感謝の意を表します。

目次

本書について	2
まえがき(ロメロ医師)	4
著作権	5
第1編	
第1章 発見	10
ジャングルへと旅行する話。隊員がマラリアにかかり、マラリア治療の基本的方法を発見することになった。	
第2章 MMSの開発	19
タンザニア国のアフリカ人たちがインターネットを使って、Eメールを交換しながら、MMS(ミラクルミネラル・ソリューション)の開発を支援してくれた話。	
第3章 安定酸素、MMS、契約	30
成果が出なかった契約の話。MMSの専門的化学情報について詳しい説明が始まる。安定酸素についての専門的解説。	
第4章 フロモ医師	39
西アフリカのギニア共和国政府の認可を得てから、フロモ医師が診療室を開く。最後には2,000人以上のマラリア患者の治療を担当した。	
第5章 東アフリカのケニア	42
著者は任務遂行のためにケニアへ行く。1,000人以上のマラリア患者とその他多くの病人を治療する。	
第6章 東アフリカのウガンダ	55
ウガンダの任務の一部であるライフ・リンク診療所において500人以上のマラリア患者と他の病気を患っている人々を治療する。	
第7章 引き続きMMSについて	64
著者は世界保健機関(WHO)と話し合う。チノがシエラレオネに行き、家族の友人や隣人を治療する。	
第8章 東アフリカのマラウイ	74
著者はマラリア・ソリューション財団の団員として、刑務所にいるマラリア患者を対象にして臨床試験を実施する。	
第9章 MMSの理解	88
MMSの機能と効果の原因についての解説。マラウイ政府がMMSを使用してマラリア患者を治療して臨床試験を成功させる。FDA(米国食品医薬局)に関する情報。	

第9.5章 別の角度から病気を見る ----- 100
私たちは病気を「病気」として信じ込んでいるのではないのか。病気の実体にせまる。

第2編

第10章 病気治療 ----- 106
多種の病気についての話。取り上げられなかった病気に対処する方法を提唱する。

第11章 火傷治療 ----- 130
火傷を正しく治療すれば、痛みがなくなり速く治る。

第12章 MMSと寿命 ----- 132
もっと長く生きることができるであろう。

第13章 MMSの静脈内注射 ----- 133
静脈注射による治療を必要とする時がある。

第14章 二酸化塩素と血液化学 ----- 137
一般人が理解できるように解説する。(注意深くお読み下さい。)

第15章 MMS使用方法の概略と要点 ----- 141
溶液1滴の中の化学物質の量とか、ソリューションの取り扱い方法など、多くの基本的項目について詳しく説明する。

第16章 台所でMMSを製造する方法 ----- 144
家庭用に約2年間分のMMSを製造する方法について段階的に説明する。

第17章 MMS13本 1,300本の製造方法、MMS瓶詰め ----- 148
13本以上のMMS製造手順は間違いやすい。13本製造できるなら、同じ手順を繰り返して1,000本製造することができる。

第18章 人道的プロジェクト ----- 157
読者はアフリカの人道的プロジェクトによって最終的に世界に恩恵がもたらされる理由を知って驚くでしょう。(本章を必ずお読み下さい。)

第19章 研究が必要である ----- 162
数百万ドル規模の研究事業が必要である。既存の技術と組み合わせて二酸化塩素を使うことによって、最終的に人類のすべての難病を治療することができるであろう。

第20章 MMS基本情報の詳説 ----- 163
化学情報についての追加解説と、免疫系を高めることによって病気を治療する方法に関して詳しく説明している。

第 21 章 FDA と心臓麻痺の原因 -----	167
また FDA が情報流出を抑止している。ビタミン C の欠乏が心臓発作の原因である という事実が証明された。(本章を必ずお読み下さい。読者の命を守って下さい。)	
第 22 章 二酸化塩素酸化作用のメカニズム 概説 -----	180
第 23 章 メキシコ小学校教員による MMS の冒険的試み -----	202

第1編 第1章

発見

家の端側に置いてある電話が鳴っています。この家は長細くて途中に置いてある家具の周りと廊下を歩いて行かなければなりません。邪魔物があっても、何とか間に合いました。シカゴに居る旧友、ビル・デニコロからの電話でした。私たちが会話を続けたところで、ビルが「金鉱を探すのがうまいのか」と聞いてきました。

私はあまり謙虚なタイプではなかったので、彼に真実(私の真実)を伝えました。「そうだよ」と答えて「最高とはいえないが、ベストのグループに入るだろう」と言いました。彼は私の友人であって、採鉱の仕事に関する私の能力についてすでに気付いていたので、私の返事を信じたようでした。ビルは続けて、「南アメリカのジャングルの中で金を採鉱したがつているグループと一緒に動いている。君のヘルプが必要だ。世間並みの賃金と、利益の一部を支払うからきてくれないか」

それで話は決まりました。私は1ヶ月以内に出発することに同意しました。先方は私の採取技術を積極的に使おうとしたわけでした。その仕事にかかるには荷物を事前に送らなければなりません。それで、1ヶ月かけて準備を整えてから、ジャングルへと向かいました。この荷物の中で最も大切な物は、本書の物語に関係している数本の小ボトルであって、中には安定酸素が入っていました。(私は安定酸素について話しているのではないので、ミラクルミネラルとお間違えのないようにお願いします。)ジャングルの水は危なくて飲めません。北アメリカでは、急流の小川から水をとって飲んでもたいいは大丈夫ですが、ジャングルでは水の流れに関係なくして危なくて飲めないのです。実際に、これらの水の中には一種類かまたは複数の危険な病原体が存在しています。私は前もって知っていたのですが、ジャングルにいた間に急流の小川の水を飲んでしまいました。そして、腸チフスにかかりました。

多くの人たちが「安定酸素の中にある酸素が、特に水を一晩そっと置いたままにしていれば、病原菌を殺して水を浄化するでしょう」と、私に話してくれました。以前に、私は安定酸素を使って汚水を処理した後で、それを試験所へと送って分析してもらったことがあります。その結果報告は、すべての病原菌が死んだことを示していました。それで、ジャングルの水を浄化できると、あるていど確信しました。

実のところ、私はある期間、安定酸素を使って仕事をしたことがあります。ラスベガスから少し離れた町に住んでいたある友人が、動物用に大量の安定酸素を使っていました。鶏の健康を維持するために、それを水の中に入れて飲ませたり、彼のペット犬にも飲ませたりしていました。ある時は、犬が病気になったので、安定酸素を静脈にと注射してから、数時間後には治りました。

ビル・デニコロから、ネバダ州ラスベガスにある私の家へと契約書が送られてきました。私は金採鉱業から退職して自宅にいた頃でした。ビルの契約はかなり寛大な内容でした。普通の給料と、もし私がジャングルの中で金鉱を見つけたなら、全体の事業の20%の所有権が与えられるというものでした。それで、私はすぐ契約書に署名してビルへと郵送してから、航空券を受け取りました。私は64才でしたが、体調は抜群でジャングル内をあちこちと見てまわるには、問題がなかったのです。

渡航先はガイアナでした。イギリス領ガイアナから単なるガイアナへと国名が変更して数年たった頃でした。この国は南アメリカ大陸の東海岸にあって、ベネズエラのすぐ南に位置しています。ジム・ジョーンズの宗教集団の話を知っている方がおられるでしょうが、宗教集団の団員たちが集団自殺をしてしまって、そのうち、数人は子供たちを殺した後で自殺をはかり、多くの団員は青酸カリを飲んで死亡しました。2 - 3人は生き残りしましたが。

1996年の中頃、私はガイアナに到着しました。雨が降っていましたが、当地では通常の天候でした。採鉱の仕事に関係する作業員たちが空港に迎えにきてくれて、待っている人の行列に入らなくてスムーズに通関しました。それから、私たちは同国で最大の都市および首都であるジョージタウンに向かって、30マイルほど走行しました。私は内地に入っていくまでの宿泊先となった現地の家へと案内されて行きました。この内地が金鉱探索の目的地であり、最大の熱帯雨林ジャングルです。

その家でマイクに会いました。マイクはジャングルの大部分の採鉱権を持っている現地人であって、ビルのパートナーとなる人でした。アメリカ東部に住むジョエル・ケーンは、契約書に書かれていたように、パートナーの1人でした。彼は私たちがジャングルへと旅立つ前の2週間以内に現地へと来る予定でした。さらに、もう1人のパートナーがいて、すぐに現地へとやって来るようでしたが、それは私たちがジャングルへと向かった後になる予定でした。彼の名前はベータであって、ガイアナ政府の高官の親戚でした。この高官の名前はモーズ・ナガモトであって、同国首相に直属する筆頭大臣でした。(ベータの本名はサトクマール・ヘムラジでしたが、ベータを好んで使っていました。)

ベータもパートナーですが、最初は出てこなかったのが、私が到着してから2日目の夜に、ナガモト筆頭大臣の夕食へと招待されました。そして、筆頭大臣は背中が痛くて、政府のオフィスの中でもなかなか仕事はかどらないと、愚痴をこぼしました。私は時折、人の首骨を調節して治した経験があるので、彼の背中を診てあげることができるかもしれないと説明しました。それで、夕食の後になって、彼が首を診てくれるようにと頼むので、傷つけたりひねったりしないように注意しながら、穏やかに調節しました。数分以内で、彼の背中の中の痛みが弱くなり始めました。私たちはビックリして、彼はすぐに家の周りを気持ちよさそうに歩いていました。

翌日、ナガモトの使用人が電話をかけてきて、大臣の娘も背中の問題を抱えているので診てくれないかと尋ねました。私は承諾して、到着してから3日後でしたが、またまた大臣宅の夕食にと招待されて、夕食後に娘さんの首を調節しました。娘さんの名前はアンジェラです。大臣のもう一人の娘の名前はアディラ。彼女には背中の問題はありませんでした。また、ビックリするようなことでした。

が、アンジェラはすぐに楽々と歩き始めて、背中痛みがなくなっていたようでした。私はいつもこのような見ごたえのある経験をしたのではなかったのですが、時々、同様なことが起こりました。この時は、首の調節方法を時間をかけて習ったことがあったので嬉しかったのです。ナガモトー大臣のような有力者と仲良くなることは重要でした。当時は、その重要性に気がつかなかったのですが、後になって、この知人関係によって、私は刑務所に送られることを避けることができたと分かりました。

未来の研究者のための記録のために伝えますが、サム・ハインズが首相でした。鉱業担当大臣はジム・ブンワシーであって、私たちはひんぱんに彼と面会して、時には自宅を訪問しました。

ガイアナ政府所有の金専用の試験所は、現地の鉱夫から金を買って集めていました。しかし、問題は持ち込まれたすべての金は水銀で被われていたことでした。彼らは覆いの下に金を置いて、トーチランプを使って水銀を焼き落としてから、重さを測っていました。それでも、誰もが知っているように、水銀の煙の毒性は猛烈に高いのです。この煙が排気筒を通過して中庭まで行ってしまい、最後には政府のオフィスが集まっている場所へと抜けます。多くの人たちがこの作業に対して不満を訴えたと、彼らは施設を案内しながら説明してくれました。それで、私は煙を集めるスクラッパ(集塵装置)の設計を提案したら、彼らはこの提案を受け入れました。

政府はこのような精錬装置を製造する資金を持っていなかったため、55ガロン樽を2つ利用してスクラッパを設計しました。その時は、私はたまたま数千個のピンポン玉をラスベガスの倉庫に保管していたので、ギニアへとそれらを送ってもらい、スクラッパに使用することにしました。ボールが届いた頃には、私はすでにジャングルにいました。彼らは設計した樽装置の中でピンポン玉を流し込んでから散水装置を作動させました。私がジャングルから戻ってきた時にはスクラッパが動いており、ちゃんと目的を果たしていました。

水銀スクラッパと筆頭大臣、娘さんの首の件で幸運に恵まれたおかげで、私は政府の数名の役人と仲良くすることができました。私の友人がロシアからギニアへと引っ越すことを希望していたので、鉱業大臣にこのことを告げると、2日後には、移民大臣から私に電話が入ってきて、ロシアの友人はモスクワのガイアナ領事館へと行くようにと話してくれました。また、領事館には移民に必要な書類が用意してあるので、ギニアへ移民できるであろうということでした。ですから、私はコネを少し利用することができました。ただ運が良かったということを示すために、この話をお伝えします。

ジャングルへの最初の旅では、8名が備品や機器を運搬する仕事と、多くの目的地にキャンプを建てる作業を担当していました。彼らは「ドロガー」と呼ばれていました。マイクが彼らを採用して、出発前の1週間前にやってきてから、支給品や機器をまとめる準備を始めました。ドロガーの1人が作業長であって、残りは作業員でした。ついに探検部隊の出発日がやってきました。ジョエルとベータはまだきていなかったのですが、待つことはできません。作業員の賃金は1日6米ドルでしたが、それでも、何もせずにブラブラしているだけでもお金がかかってしまいます。私たちは早く行動したかったのです。結局、最終探検隊は、私、土地所有者のマイク、そして8人の作業員となりました。

約2日かかって内地へと入りました。まず、ジョージタウンから1時間ドライブしてマザルニ・クユニ川沿いにあるパリカへ行きました。私たちは支給品と備品を大型トラックと4台のタクシーに積み込みました。パリカに着いた時は午前9時であって、荷物を数漕の大型スピードボートに移し変えました。この地点での川幅は5マイル以上です。

もし、読者がこの地点をご自身で調べられるのなら、ここから水流がかなり速くなり、探検旅行の次の目的地まで約4時間かかることが分かるでしょう。これは川の急流を利用したハイスピードの旅でした。

私たちは次の目的地であるパーティカにやっと着きました。ここはギニア内陸地の玄関に相当する町です。この町で主に食料品を買い集めました。多くの食料品店は倉庫のような建物であって、主に内地へと旅行する人に食料品を販売していました。私たちの購買担当者は主に豆と米を買いました。通常はこのような探索旅行のために米だけを買うのですが、私がグループの一員として加わっているので、追加で豆を数袋買いました。別の旅行では、購買担当者が色々な種類の食料品を買うことができました。

それから、数漕のボートに荷物を積み込んで川を渡って、1マイル先にある川岸へと向かいました。向かい側の川岸についてから、荷物を超大型トラック2台へと積みかえました。これらのトラックのタイヤの直径は6フィート（約1.8m）以上であって、ジャングル内の泥ばっかりが溜まっている道の走行に耐えられるように作られていました。こんなに大きなタイヤのトラックであっても、道のないジャングル内を走ることはできません。荷物をしっかりと荷台に固定した後で、ほとんどの隊員は次の乗り換え地点までの近道を歩いて行きました。その後ですぐに、彼らが歩くことを選んだ理由に気づきました。道はかなりでこぼこしており、トラックは上下左右へとはずんで、落とされないようにしっかりと掴んでいてだけで精一杯でした。トラックは5時間走行して、途中で私は眠ることができなかったのですが、この旅行の最終乗り換え地点へと到着しました。

6時に到着しました。すでに日が暮れて辺りは暗くなっていました。赤道地域のジャングルでは午前6時には明るくなります。

この夜は、とにかく眠るようにつとめました。私は小さな店のベンチの上で寝ました。翌朝になって、またすべての荷物をボートへと積み込んで、今度はクユニ川支流の上流に向かって行きました。ボートには、それこそ側面が川面に沈むぐらいに荷が積み込まれていましたので、水面から4インチぐらい（約10cm）の余裕しかありません。別に大きな波が側面にあたらなくても、積荷がかなり重いので、すぐに沈んでしまうぐらいでした。けれども、川の流れは穏やかで、偶然にも大きな波がなかったのです。ジャングルでは嵐はありません。激しく雨が降る時であっても、ほとんど風はなくて嵐にはなりません。実際に、ハリケーン、嵐、火事、地震などの天災がないのです。

私たちは5時間ほど上流へと向かって、最終地点に到着しました。ボートから降りて、川岸へと動かしてから、隊員たちが荷物を持って、またボートに乗り始めました。ドロガーは荷物を背負って、重しを頭に置きました。頭の上を紐手でくくって、背中への荷物へと結びました。彼らはこの方法が荷物を運ぶのに一番

楽であると話してくれました。何しろ、80ポンド（約36kg）までの荷物をついで、ジャングルや山中を歩いて行くのです。午前10時30分になりました。私たちは山中のジャングルを抜けて、反対側へと行かなければなりません。私たちは山と呼んだのですが、この地域では1,000フィート（約300m）以下は山ではなくて、丘と呼ばれています。この丘の高さは997フィートであって、頂上へと登って行ったら、確かにこれは山でした。

この山はジャングルで被われていました。この地域では、雨が降っても降らなくても、湿度が100%であり、時には110%になります。汗が蒸発しないので、身体はすぐにびしょびしょに濡れてしまいます。服は汗まみれ。皮のブーツを履いていれば、雨や汗が溜まって水だらけになります。現地人が着ている服を観察して、私はテニスシューズを履きました。ブーツは蛇に噛まれないようにするのに良いのですが、汗がすぐに溜まってしまい、それをずっと履き続けるのは不可能です。それで、もっと蛇に注意して歩くことにしました。

数名の隊員は山を越えて反対側へと荷物を運ぶために、数回往復しました。約2日かかって、キャンプサイトに到着しました。これで、どのくらい深くジャングルの中へ入って行ったかがお分かりになると思います。数日たってから、隊員2名がマラリアにかかってしまい、大変に心配しました。出発前は、この地域にはマラリアがないと説得されていたから、マラリア用の医薬品を持ってこなかったのです。私は最寄のキャンプには医薬品があるかも知れないと思って、隊員2名をすぐに送り出しました。そこへ行くには2日かかります。もし、そのキャンプには薬がなかったなら、隊員が帰ってくるのは早くても6日後になると予想しました。それでも、私たちはこれが最善の方法だと思って、納得しなければなりません。ヘリコプターを無線で呼ぶ方法がありましたが、無線を持っていませんでした。無線は至近距離間を除いて、ジャングルの中では使えません。それで、私は安定酸素について習ったすべてのデータに従って考えて、安定酸素が水中の病原菌を殺すことを知っているのだから、マラリアに効果があるかもしれないと思いました。私はマラリアにかかっている隊員たちの側に座って、アメリカから持ってきたこの「健康飲料」を飲んでみるかどうかと尋ねました。彼らの症状は重くて苦しんでいました。ハンモックに横たわって、高熱があるのですが、寒けによって震えていました。彼らの症状は、頭痛、筋肉痛、関節痛、吐き気、下痢、そして嘔吐でした。

私は少量の安定酸素と水を混ぜて与えて、彼らはそれを一気に飲みました。私は当面はこの処置しかできないから、後は隣のキャンプへ行った隊員が帰ってくるのを待たなければならぬと考えていました。1時間ほどたってから、彼らの震えが止まりました。この震えが戻ったり、なくなったりしたので、たいしたことではないと思っていても、彼らは少し良くなったように見えました。4時間後、彼らは起き上がり、ひどく苦しんだことについて冗談を言い合っていました。それから、冗談をやめて、テーブルの回りに座って夕飯を食べました。翌朝になって、別の隊員2名がマラリアにかかりました。彼らも同量の安定酸素を服用してから正午までには気分が良くなったので、私たち全員は驚きました。（これは物語の本筋ではありません。安定酸素の効果が出ない時もあります。）

私は金鉱の探索を続けました。私は非常に簡単な試金方法（鉱石に含有する金を量る方法）を開発していたので、自分で分析試験を行うことができ、他所に

ある試験所へと鉱石を送ってから、結果報告を受け取るまで2週間も待つ必要がありませんでした。私は短期間に金の鉱床を見つけ出して、ジャングルの中に精鉱所をつくる計画を練り始めました。これは金についての話ではないので、簡単に言いますと、精鉱所を建てている間に金の探索も続けて行いましたから、ジャングルの中をあちらこちらと相当の距離を移動しました。そして、行先ではマラリアにかかっている人々を治療しました。(時には腸チフスにかかっていた人も含めて)安定酸素によって、治療できたケースは全体の70%ぐらいでしたが、それでも、そのおかげで、私はこのジャングルの中で有名になりました。

第1回目のジャングル探索旅行から町へと戻って行く途中で、休暇のために閉鎖している採鉱所に留まりました。多くの作業員は、精錬所が立ち上がるまでじっと待っている様子でした。一人の作業員はテーブルの椅子に座っており、重い病気にかかっているようでした。彼に様子を尋ねると、ボートが迎えにくるのを待っているのだと答えました。彼は同時に腸チフスとマラリアにかかっています。私が健康ドリンクと呼んでいた安定酸素の話をする、彼は飲んでみたいと言いました。その後、この精鉱所へまた戻ってきた時に、彼が私の手をつかんで、強く上下させたのでした。彼は私が精鉱所を離れた後で、4時間以内に気分が良くなって、結局は治療のために町へ行かなくてもよかったことを話してくれました。私はジャングルの中の別の場所で行ったように、彼に小瓶を渡してから精鉱所を離れました。

これと似たような話がたくさんありますが、残念ながら、安定酸素が働かなくて、治らなかった人も多くいました。それでも、現地で使っていたマラリア治療薬よりずっと効果の高かった治療方法でした。マラリアの感染率が高い地方に住む人々は、副作用がいつも出てくるので、マラリア予防薬を服用することができません。たいていは、旅行者だけが短期間ですけど、マラリア予防薬を服用することができます。ですから、現地人がマラリアにかかると、規準のマラリア治療薬による治療に頼らなければなりません、残念ながら、マラリアはこのような治療薬に対する抵抗力を培ってきました。旅行者だけが、短期間のみで予防薬を服用することができるのですが、その結果として、長期滞在していた私の同僚数人が副作用の影響を受けて入院したことがありました。

私はジャングル内のある鉱山村のキリスト教伝道診療所を訪問しました。そこにはベッドが4台あったことを覚えています。私は「健康ドリンク」を与えようとしたら、彼らはジャングル住民の罪深い性生活が原因となってマラリアにかかるのであって、神様がマラリア治療を望んでいることを信じていないと話しました。彼らの考えを変えることはできませんでした。私は病人が苦しんでいるのを見て、ひどく悪い気持ちになりましたが、診療所を去らなければなりません。彼らはマラリア患者を助けることについての考えを変えなければならないと考えているので、ここでは関係する宗教については言及しません。

ジョージタウンに戻ってから友人のボブ・テートに電話をして、安定酸素がマラリア治療に有効であることを話しました。彼はすぐにガイアナへと飛んできました。私たちは話し合っ、同国で安定酸素を販売できるかどうかを調べることにしました。それから、この溶液がマラリアを治療したと現地の新聞に宣伝を出しましたが、これは失敗でした。まもなく、現地のテレビ局の報道記者が私たちの家にやってきて、溶液について説明するシーンが放送されました。その後、ラ

ジオ局や新聞社の報道記者が押しかけてきました。それで、私たちはたった3日間で有名になりました。しかし、この直後に政府が私たちに向けて「爆弾」を落としてきました。警告が出されたのです。保健大臣が面会を求めてきて、彼女は私たちがこの溶液をもう一人に売るのなら、私たちが刑務所に入って、痛い目にあうことになるでしょうと言いました。私はその刑務所の中を見たことがあったので、彼女の警告は本当だと分かりました。

ある晩、私は友人のナガモト筆頭大臣にこの警告について話したところ、製薬会社2社が保健衛生大臣に電話をかけてきて、マラリアを治療できると主張している人間に対して何も対処しないのならば、医薬品を現地の病院へと出荷することを停止するであろうと脅迫した、と話しました。政府は何もできなくて、その時は私を助けることができなかったが、保健大臣には私に対して少し警告をゆるめるようにと示唆したと説明してくれました。

この時点で、私はもっと大きなミスをしました。私たちは新聞の広告掲載を止めたのですが、求める人たちへと溶液を売り続けました。ボブ・テートは既に帰国していたのですが、私は引き続いてジャングルの中の採金事業の計画を練っていました。私たちが採鉱用機器や備品を受け取ろうと予定していたちょうどその時に、政府が私を犯罪人として告発するから、帰国するかまたは他所へ行く方がいいのではという助言を聞きました。ジョージタウンの住民は、ラスベガスからきている人たちよりも、ジャングルをもっと強くこわがっています。政府の人たちがジャングルまで追っかけてくることはめったにありません。私はすぐに川をさかのぼってジャングルに入り、数日後には荷物が届きました。

これは安定酸素が時々マラリアを治すという事実の発見物語ですが、これからが私の話の本題に入ります。この時はまだ、安定酸素はミラクル・ソリューションだと思いませんでした。私は金の精鉱所で働き続けて、上流地域におおよそ6ヶ月以上滞在しました。ジョエル・ケーンの到着は大変に遅れていて、この事業に追加の資金を投下しなかったため、私がこの精鉱所にお金を投資しました。彼が最終的にやってきてから、精鉱所で採取していたいくらかの金を見た後で、契約の20%の所有権を3%にすると提案しました。私は合意しなかったため、ジョエルの指示により、マイクと雇ったドロガーたちが稼働中の精鉱所を解体して機材を持ってジャングルへと入って行きました。契約の内容は、私の技術を使わないのであれば、私に20%の所有権を与える必要がないというものでした。ジョエルがこの項目について私に話したことがあったため、彼がこの解体を指示したと後で気付きました。ですから、彼の問題は、土地所有者のマイクが使った新技術が働かなかったということでした。私が投資金を失っただけでなく、彼も損失を被ったことになりましたが、彼は百万長者でしたから、気にかけなかったのですが、私にとっては少しつらいことでした。

ジャングルに入ってから6ヶ月後に町へと帰った時、保健省との問題が膨れあがっていたので帰国しました。私は投資金を失くしましたが、安定酸素についての知識を得ることができたので、大変に興奮しました。金鉱の気苦労がなくなって、自宅へと戻って、安定酸素が時折効果を発揮する原因を見つけるための分析試験を開始するのが待ち遠しいような気がしました。

帰国してから2ヶ月後、別の会社に採金技術を改良するために雇われたので、またガイアナへと行きました。その時も、まだ安定酸素の研究を続けていました。

ある夜、うっかりしていて、大変ひどく、数百回ぐらい蚊にかまれてしまいました。計画したわけではなかったのですが、蚊がかみ始めた時に、そのままにしてみました。数日たってからマラリアの症状が出てきました。最初の症状は、毎食後の軽い消化不良でした。はっきり覚えていないのですが、15分後に軽い吐き気をもよおしました。次の日になって、きつい吐き気がし始めます。私は病気になったので、自分の薬を試してみることにしました。それで、治療を始める前にジョージタウンの病院で血液検査をするまで待つことに決めました。これが大変なミスでした。ジャングルのこの地区からジョージタウンへ行くバスが来なかったのです。治療を必要とする人たちのほとんどは、長く待ちすぎて死亡することを知っています。2日間ほどバスを待ちましたが、バスはきませんでした。容態はかなり悪くなったのですが、とにかく、マラリアにかかったのかどうか血液検査で確認したかったのです。帰国前の状況だったのでアメリカでは試験を続けるチャンスがないだろうと考えました。

私は自分を実験台にして試験をしていると誰にも言いませんでした。雇用主は私の深刻な様子を見て、責任を感じて町へと送り出そうとしました。それで、私が飛行機の費用一部を負担すると合意したら、彼らは即座に賛同しました。

ジャングルのこの地区には無線と近くには滑走路があります。翌日、飛行機がやっと飛んできました。(病気になってから4日目) 私は自転車に乗って滑走路へと向かいました。この時は重症の状態でした。ジョージタウンに到着して、タクシーへと担ぎこまれて一直線に病院へと行きました。

病院で4~5時間待たされた後で血液検査を受けました。私にはマラリアの症状が出ていました。医者は検査の結果により、間違いなくマラリアであると言いました。私は外来患者だったので、マラリア治療薬が入っている小瓶をくれました。もちろん、その錠剤を服用しませんでした。そのかわりに、自分が用意していた薬を大目に摂取しました。そうすると数時間後には気分が良くなりました。効き目があったのです。私はあたふたと病院へと戻って、血液検査をもう一度してもらったら、今度はネガティブが出ました。感激しました。私はこの病院にとっては、安定酸素を摂取する前と直後に血液検査を行った最初の患者となりました。そうして、私はマラリアの治療方法を発見したと確信しました。

マラリアが陰性だと分かった後に、ガイアナを去る予定にしていました。この国に最初に到着した時に買ったオートバイに乗って、市内を回っていました。通りを走っていた時に、カナダから現地へとやってきてダイヤモンドの採石をやっていた友人に会いました。オートバイを止めて、握手を交わして、歩道にあったカフェの椅子に座って雑談を始めました。私たちが話していた時に、すり足で通りを歩いていた彼の友人に気づきました。彼はその友人に呼びかけて、カフェへとやってきました。紹介しあった後で、彼も椅子に座り込みました。彼はひどく疲れていたようで、少し病気にかかっているように見えました。どこか悪いのかと尋ねると、マラリアだとの返事でした。彼は病院からもらった薬はほとんど効果がないようだと言いました。そこで、私は「あなたはちょうどいい所へやってきた」と言いました。

私はちょうど発見したばかりのマラリア治療法のことを説明した後で、「数分間待ってもらえれば、自宅へ帰って少し溶液を持ってきます」と、彼に話しました。彼は待つことに合意しました。私がかフェへと戻って、ドリンクを混ぜてコ

ップに入れて彼に渡しました。そして、会話を続けました。30分ぐらいたってから、彼は「少し気持ち良くなった。夢を見ているに違いない」と言いました。大まかに言えば、私たちは彼が溶液を飲んだ後で、約2時間座っていました。このような短い時間において、彼のすべての症状が消失しました。私は溶液が入っている小瓶を彼に渡した後で、夜になると、彼が私が滞在していた家へとやってきて、もう一本受け取りました。

当時の私の計画は、研究を完了させることと、その情報を世界へと公開することでした。私は何とかしてこの情報を知らせることができると自信を持っていました。

第2章

MMSの開発

1997年の終り頃になってアメリカへと帰国して、ネバダ州ウォーカーレイク市に移りました。私のパートナーであるボブ・テイトがすでに簡易式試験室を移設していました。私たちの計画は、生活費を稼ぐために、私が開発した採鉱用機の製造所を設けることと、ジャングルで使った安定酸素を調査することでした。残念ながら、ガイアナを去る前に、この国のお金をドルへと交換していた間に、ガイアナの通貨制度を利用する経験がなかったので、多額のお金を盗まれてしまいました。ですから、この採鉱機製造所への投資金は、少ししかありませんでした。それで、私は40フィート(約12m)長ヨットを安値で売りに出すことができたので、その売上金によって大変に助かりました。

私たちは採鉱機製造のビジネスを約1年間行いましたが、ボブがルー・ゲーリッグ病として知られている難病にかかってしまい、ほとんど働けない状態になりました。それから、色々なことが原因となって採鉱機の販売が落ち込みました。私たちが広告を出した雑誌社が大きな間違いをおかして、間違いの弁償金の支払いを拒否したので、数千ドルの損失が出ました。最後には社会保障の年金だけで生活しなければなりませんでした。けれども、時折、試金の仕事を1回、2回と請け負っては、生活の糧にしました。

私の息子がコンピューターを持ってきてくれてから、インターネットを使って、アフリカにいる多くのペンパルへとメッセージを送り出しました。そして、サファリ旅行で旅行者をキリマンジャロ山へと連れて行った人と仲良くなりました。彼の名前はモーシズ・アウグスティノでした。私は、彼は何かのチャンスをつかもうとして、アメリカ人と仲良くなることだけに興味を持っていることに気づきました。彼の立場にあったなら、私も同じことをしたと思います。そして、彼は40ドルを求めてきました。40ドルは彼にとって大金になると分かっていたし、当時は、実際に、私にとっても大きな金額でした。しかし、私はタンザニアでマラリアに罹患している人たちに、安定酸素を使ってみて欲しかったので、彼に40ドルを送りました。

私の指導に従って、彼は現地でマラリアに感染している人たちに溶液を与え始めました。人々はすぐに元気を回復しましたが、前の話と同様に、治らなかった人たちもいました。彼は友人の医者に安定酸素について話しました。当時は、私たちはこの溶液を「ハンプル健康ドリンク」と呼びました。私はこの医者に溶液2本を送りましたが、彼は塩水がどのようにしてマラリアの治療に役立つのか分からないと、Eメールを送ってきました。私は「飲ませてみれば分かります」と、メッセージを送り返しました。それで、彼は本当に試してみて驚いたのでした。彼の医院にやってくるすべてのマラリア患者をこの溶液を使って治療をし始めました。それでも、問題はこの地区にはあまりマラリアのケースが見られなかったことでした。もし南タンザニア地域にいるマラリア患者の数と同じぐらいのケースが彼の地区にあったなら、数百人の感染者を助けたことになって、現状とは違う話に

なっていたかもしれません。彼は1週間で、2人または3人だけのマラリア患者を診ていました。私は彼らにお願いして、手紙を送ってもらいましたので、次の2ページにその手紙を載せました。

**FURAHA DISPENSARY,
P.O.Box 11293,
Arusha-Tanzania,
EAST AFRICA,**

TO WHOM IT MAY CONCERN,

I'm working as a Clinician, I own a small dispensary in Arusha town, this town is situated northern part of Tanzania, this is the biggest country in East Africa after Kenya and Uganda.

I have been working in this field for 7 years now.

One of my usual responsibilities is to provide medical care to patients who come to my office for seeking medical advice and examination.

Most of the patients who come often in my office always suffer from Malaria and Water-borne diseases e.g. Typhoid, Bacillary Dysentery etc.

Malaria is one of the dangerous disease which attacks our people, and there has been various measures which are taken to combat this disease, for example in recent years our government has launched new medicine to combat this disease called SP (Sulfadoxine 500mg combined with Pyrimethamine 40mg). Eventhough I always witness resistance with high mortality rate.

I first knew about Humble Health Drink (HHD) in May/2001, I have been giving this drink as Health Drink, I have been using this drink to many patients who comes to my office, but I discovered that among those patients who had taken HHD; those who were suffering from Malaria, amazingly all malaria symptoms disappeared within 2-5 hours but they continued to be weak for 6- 24 hours, after such period they appeared to be back normal, I have been giving them weak solution which is called Humble Health Drink Phase 1.

But also I discovered that there were few cases where Humble Health Drink Phase 1 appeared to fail to eliminate Malaria parasites, I then gave them solution which is called Humble Health Drink Phase 2, here a weak organic acid is mixed with stronger solution of Humble Health Drink and 48 hours is allowed to pass before consumed by the patient.

Within 2-4 hours after Humble Health Drink Phase 2 is administered; amazingly all all symptoms disappeared completely, here again I noticed patients to be back to normal 8-24 hours, and after such period most of patients appeared to resume to the normal.

For most cases there were no failures in treating malaria when I used Humble Health Drink, I have been visiting all patients who used both Phases and come to discover that all Malaria symptoms disappeared totally.

Since the day I first used Humble Health Drink up to the moment, I have successfully managed to treat 30 patients and some of them I managed to keep their records.

I would like to welcome anyone who would like to contact me by using my phone numbers given below or to visit me in Tanzania.

Sincerely,

Kitu J. Thomas.



Kitu J. Thomas,

P.O.BOX 11293,

Tel: +255 742421996 / +255 744306581

Arusha-Tanzania.

Nature Beauties Safaris Ltd.

P.O.Box 13222 Tel/Fax255 272504083,
E-mail: nature.beauties@habari.co.tz,
WEBSITE: www.nature-beauties.com
ARUSHA-TANZANIA-EAST AFRICA.

TO WHOM IT MAY CONCERN,

My job is conducting safaris in the country of Tanzania to our famous tourist attractions as it is known that this country harbour famous attractions in Africa e.g Mount Kilimanjaro, Serengeti National park, Ngorongoro crater, Lake Manyara national park (famous for its tree climbing lions), Tarangire national park, Selous game reserve, Zanzibar Islands etc.

I have been working in this job for three (3) years now, my responsibility in these trips is to Guide tourists who most of them comes from USA & Europe, I explains about Animals, Birds, Plants, African Cultures etc.

I first learned about Humble Health Drink in March/2001, as I have traveled around Tanzania I gave various people who had Malaria this Humble Health Drink, what is now called Humble Health Drink Phase 1.

Within 2 and 4 hours all symptoms of malaria disappeared, I noticed that when the symptoms had disappeared that they still seemed weak from the disease for 8 to 24 hours, but all appeared to be back to normal within that time.

There were a few cases of where the Humble Health Drink Phase 1 did not seem to help malaria patient. I then gave them a second mixture now designated Humble Health Drink Phase 2. In this case a weak organic acid is mixed with a stronger solution of the Humble Health Drink and a certain amount of time is allowed to pass before the health drink is consumed. Within 2 to 4 hours after Phase 2 is consumed all malaria symptoms appear to be gone. Again the patient seems to be slightly weak, and the weakness seems to disappear within 8 to 24 hours.

I have had no failures when giving the Humble Health Drink to malaria patients. That is to say, all patients appear to have no more malaria symptoms when I have used one or both of the Humble Health Drinks, Phase 1 and Phase 2.

I have kept written record of all people who had malaria and who were given this Humble Health Drink. I have the name and address of each person. In all there were twenty one (21) people who had malaria and who benefited.

Anyone is welcome to call me at the phone number given below, or to visit me in Tanzania.

Sincerely,
Moses Augustino.



Moses Augustino,
P.O.Box 13222,
Tel: +255 0744290223,
Arusha- Tanzania,

モーシズ・アウグスティ
ノと奥さんの写真。
2000年に撮影。
モーシズがアフリカで初
めてMMSを使ってマラリ
ア患者を治療した。



前ページの手紙が届いた後で、彼らは多くの人たちを治療しましたので、この安定酸素(ハンブル健康ドリンク)のデータをもっと多く集めることができました。

一方では、安定酸素の正体と生成方法を見つけるために研究を続けました。安定酸素の効き目が100%出ない原因を見つける必要がありました。私はウィリアム・コッフオ医師が1926年にドイツにおいてこの溶液を最初に使い始めたことを習いました。彼は安定酸素が呼吸によって生成する酸素と全く同じ非毒性の酸素を生成すると信じていたので、精神薄弱の子供たちを対象に使用しました。コッフオ医師は独自の調合により精神薄弱児の脳へもっと多くの酸素が送られると信じながら、この処方箋を10年間使いました。残念ながら、そうではなかったのです。問題であったのは、コッフオ医師の時代では、まだ化学が現代のように十分に発達していなくて、この調合がどのように作用するのかについて正確に理解できなかったことです。それとも、彼が化学を十分に理解していなかったかもしれません。

1930年、この化学式がアメリカへと伝わりました。長年かかって、正確な化学式を見つけ出すことができた人たちは、これは人体に利用できる酸素成分であると考えて、色々な製品を加え始めました。この時期から、安定酸素の研究者は引き続いて同じミスをおかしてきました。事実は、現在も含めて、80年間も安定酸素と称されてきたものは、人体に利用できる酸素を含んでいないということです。人体が酸素を有効に役立てるためには、その酸素は元素状態にある酸素でなければなりません。これは、電荷がないことを意味しています。いいかえると、酸素は酸素イオンにならないということです。安定酸素内の酸素は、2個のマイナス電荷を持つイオン形状の酸素です。

人体が安定酸素内の酸素を使うことができるということは、人体は二酸化炭素内の酸素を使うことができるということに似ています。お分かりでしょうか。二酸化炭素は2個のマイナス電荷を持つ酸素イオンを2個持っています。人は二酸化炭素だけを吸えば死んでしまいます。安定酸素内の酸素は、人体内ではたんに水分の一部になるだけです。水は酸素と水素から成っています。この状態においては、酸素と水素は病原菌を殺しません。後になって、私はいくつかの大学がこれ

と同様のミスを行ったことに気がついて、ビックリしました。もちろん、当時は、私もあまり知らなかったのです。溶液を改良する必要があることだけには気づいていました。

人が空気を吸う時には、数百万の酸素原子を肺の中へと取り入れています。吐き出す時にはどうでしょうか。二酸化炭素の形状にある酸素を出しています。出て行く酸素の量は、入ってきた酸素の量と同じです。しかし、出て行くのは二酸化炭素です。酸化物は酸素ですが、それは、いわゆる使用済みの酸素です。酸素は身体を生かす役を持っており、それは体内のものを酸化することでもあります。酸化作用とは、酸素原子が毒性物質を破壊し、化学物質を中和して熱エネルギーを放出する電子を受け取る動きのことです。このプロセスにおいて、二酸化炭素、一酸化炭素、またはその他の化合物が生成します。酸素がこれらの電子を受容する時は、それはもう酸素原子ではなくて、2個のマイナス電荷を持つ酸素イオンになります。もし、酸素がすでに2個のマイナス電荷を持っているのであれば、安定酸素内の酸素と同じように、酸化作用を実行できないので、人体にとっては価値のない酸素となります。

それなら、安定酸素から出てくるものが酸素ではなくて、マラリア原虫を殺すものは何でしょうか。私の化学の知識量が限られていて少なかった1998年頃に、安定酸素の化学式を見つけようとして苦労しました。この化学式を持っていた人は話さなかったし、安定酸素を販売していた人でさえも、成分をラベルに表記していませんでした。安定酸素の使用方法を教えてくれる会社を見つけ出しました。彼らは、数滴の溶液をコップの水に落とした後では安定酸素が不安定になるので、混合水を飲むまで1時間以上待たないようにと言いました。私はこの指示に興味を抱いたので、水の入っているコップに10滴を落として約8時間ほど待った後で、化学者がよくやるように、その臭いを嗅いでみました。それは、塩素の臭いだと思いました。もし、水が安定酸素を不安定にするのであれば、その原因として、水が安定酸素のアルカリ性を弱くする（中性が高くなる）のであろうと理解しました。私は溶液10滴をずっと使っていましたが、この時にはもっと量を増やして使うことを考えていました。コップの水に安定酸素を20滴まで増やして使った後で、酢は酢酸と称されている酸を含む食品なので、酢を加えることにしました。これにより、混合液のアルカリ性をもっと弱くすることに気づいていました。今度は24時間以上待ちました。そして、もっと強い塩素の臭いがしました。この時期までには、アフリカにいる友人が、何とか私を信用してくれるようになって、彼らは積極的に試験をしてくれました。彼らは安定酸素20滴と茶さじ1杯の酢を混ぜる新処方箋を使い始めました。彼らは24時間待った後で、オリジナルな処方箋によっては効果を示さなかった数人に与えました。今度は、新処方箋はすべてのケースにおいて効果を示しました。

この混合液の試験を行うために、私は水泳プール用の塩素測定棒を買って調べてみました。数時間たってから、混合液は少量の塩素を示し始めて、24時間後には少なくとも1 ppmの塩素を検出しました。私は最終解答に近づいているようでした。最初は気づけなかったのですが、測定棒は二酸化塩素を測定していました。

次に混合液が入っているコップに蓋をして、蓋なしでは24時間後だったのですが、2時間経過してから同量の塩素が発生することに気づきました。もちろん、

酢も使いました。この原因は、蓋をしているので塩素は空気中へと早く蒸発しないことです。私はすぐにこのデータをタンザニアへと送信して、彼らはまた新しくなった方法を使い始めました。彼らは茶さじ1杯の酢を加えてから、蓋をして、2時間待って、マラリア感染者に与えました。全員に効果が出ました。それで、マラリア治療に失敗する問題がなくなりました。

ここまでの話は簡単そうに見えますが、私は1年間以上にわたって、1,000回以上の試験を実施してから、このような「簡単」な方法を見つけ出しました。私の研究資金は限られていましたし、水泳プール用の金属片や、試験に必要であった色々な化合物は高価でした。私は特別に賢くて優れたことをしたのではなく、冶金学の少ない化学知識に関して、大失敗したことを認めなければなりません。また、私はおおよそ25年間にわたって、航空宇宙産業分野における研究技師として働いた事実があります。原子爆弾や関連物の試験を設定しました。ですから、試験を実施した経験を持っていました。

アウグスティノの友人である医者にとって、2時間ぐらい待つことは問題ではなかったのですが、私の友人のアウグスティノにとっては、実用的ではなかったのです。彼はいつも移動しており、旅行中にマラリアのケースに遭遇します。彼は5分以内に溶液を与えなければならなかったし、いつも2時間待つことができなかったのでした。安定酸素はアルカリ性がかなり強いので、安定しています。(酸性の反対)その数滴をコップの水に加えると、水によってアルカリ性が中和されて、液滴内のイオンが不安定になって塩素を放出し始めます。これは、私がこの時点で考えついたことです。ですから、このプロセスを速くするには、どのようにすればいいのだろうかという疑問が生じます。

私は別の酸を購入して、試験を行うまでしばらく待った後で、やっと研究目標に到達しました。すべての鉱酸と多種類の有機酸を使って試した後で、酢酸量(有機酸)5%の酢が最高の効果を発揮することを見つけました。それから、大躍進となる簡単な事に気づきました。水を一切使わなくて試しました。私は安定酸素20滴と茶さじ4分の1の酢をクリーンで乾いているコップの中に入れました。コップを振って混ぜました。これが良かったのです。たった3分間で反応が出ました！私は塩素片を使って混合液を検査したら、ほんの3分間で5ppmの測定値を示しました。それから、コップ半分まで水を入れたら、混合液の測定値が1ppmまで下がりました。しかし、その味はひどくまずかったです。塩素が出てくる前の水と安定酸素の混合液の味はそんなにひどくないのですが、塩素が出てくるとかなりひどい味になります。ある人はこの味を気にしないのですが、特に子供たちは気にします。主に子供たちがこの溶液を必要としています。

私は様々なジュースを使って、最適なものを見つけようとしていました。でも、問題が2つありました。まず、味が大丈夫なものを見つけなければならないことと、塩素量を変化させないものを探ることでした。多くの種類のジュースを飲んで試した後で、ビタミンCを含んでいないリンゴジュースに落ち着きました。私はこの情報をタンザニアの友人へと送信して、彼らはこのジュースを数ヶ月ほど使いました。それから、何かが起こったのでしょうか。彼らとの連絡が途絶えてしまいました。私はモーシズがキリマンジャロへと行く途中でケガをしたのではないかと心配しましたが、とにかく連絡がなくなってしまいました。彼の友人の医者も、何も知らないと言いました。また、医者も引っ越しについて話していました。そ

れから、たくさんのメールを送信しましたが、両人からの返信がストップしました。私は彼らからたくさんの協力を得ましたので、返信がなくなって困ってしまいました。

さて、安定酸素の化学式は一体どのようなものなのかとっておられる方がいらっしゃるでしょう。私は最終的にその化学式を見つけ出しました。多くの研究者は30分ぐらいで見つけ出すのですが、なにしろ、砂漠の湖に住んでおり、収入もかぎられているのですから、時間がかかりました。現在は世界中どこにいても、このデータを探し出すことができると思いますが、苦勞される時間を節約するためにお知らせします。化学式は NaClO_2 です。名前は亜塩素酸ナトリウム。塩のようですが、そうではありません。食卓塩は NaCl であって、塩化ナトリウム。英語ですと、sodium chloriteとsodium chlorideになります。両単語の最後から2番目の文字に気付かれるでしょう。それで、すべての研究者が見逃したかもしれない事実についてお話ししましょう。

私が臭いを嗅いだ塩素は、実際は溶液上の空気に混ざっている塩素でした。溶液内には塩素は含まれていませんでした。溶液内に入っているものは、塩素とまったく違う二酸化塩素であることを発見しました。亜塩素酸ナトリウム（安定酸素）は強アルカリ性であって、酸の反対です。これが中和されると、不安定になって、酸素ではなく、二酸化塩素を放出し始めます。しかし、ここに酸素が登場します。二酸化塩素の化学式は ClO_2 です。塩素イオン1個と酸素イオン2個ですが、人体はこの酸素を使いません。この酸素はすでに酸化作用の機能を失っていました。けれども、このケースでは、塩素イオンが酸化する強力な能力を持っています。二酸化塩素は強力な爆発物です。これは容器を爆破し破壊するので、容器に入れることはできません。移動させることもできないので、いつも使用場所で生成されます。二酸化塩素イオン1個の微粒子でさえも、体内の病原菌、それとも体より強い酸性である物質のような適切なものに衝突すると爆発します。

この爆発とは通常酸化作用であり、エネルギーを放出する急速な化学反応のことです。二酸化塩素イオンがある病原菌に出会うと、電子5個を受容してから、瞬間的に酸化作用が働きます。これが爆発です。この爆発の結果（化学反応の結果）として、塩素イオンは完全に中和されています。二酸化塩素の一部であった酸素2個は既に中性になっており、酸素にとってマイナス2の状態です。これは、酸素イオンは何も酸化できずに、ただたんに体内の水分の一部になることを意味しています。体は酸化作用のために、それを利用することができません。塩素イオンは、基本的には能力のない食卓塩と同じである塩化物になります。そして、この酸素と塩素の両元素は電荷を持たないので酸化作用は生じません。ですから、二酸化塩素（塩素と酸素の化合物）が仕事をするのであって、酸素よりもっと強力な能力を使って病原菌を酸化することを理解されると思います。

別の事実は、深呼吸を数回されることによって、安定酸素が供給するであろうと考えられている量より多くの酸素が人体内に簡単に供給されることです。安定酸素の化学式が、呼吸プロセスに得られる酸素と同じ酸素が生産されるであろうことを示しているのですが、もっと呼吸することによって余分の酸素が得られるのに、安定酸素を摂取する目的は何でしょうか。とにかく、これは論議の的になることでしょう。事実は、研究者が発生すると信じていたことが、生じなかったことです。この酸素はたんに体内の水分の一部となるか、それとも二酸化炭素イ

オンの一部になるのでしょうか、体がどんな目的であっても、この酸素を利用することはできません。

二酸化塩素は電子を供給します。酸素は供給しません。基本的には、二酸化塩素は酸素ではなくて、酸化剤です。化学の本を調べて下さい。酸素だけが酸化剤ではないのです。電子が移送される反応は、どんなケースであっても酸化作用と見なされます。安定酸素を研究した人たちが現代化学を理解することができたのであれば、その研究をもっと深く成功させることができたでしょう。この初步的説明よりもっと多くの重要なことがありますので、ミラクルミネラル・ソリューションの開発物語を紹介しながら、入念に説明していきます。本書に著わっていますので、誰にでも理解していただけたと思います。

この時期になって、私は数マイル先のネバダ州ミナへ転居しました。そこから、別のアフリカ人へとEメールを送り続けました。

ミナから30マイル離れている所に、ホーソーン町（ネバダ州）があります。私はその町で小さなホビーショップを経営していたアンドルー・ニーリングという人に会いました。彼はメイヨー・クリニックですい臓がんの手術を受けた直後で、自宅に戻っていました。また、彼はその後も隣の市にある病院にて検査を受け続けていました。残念ながら、検査結果は前と同じようにがんであると出ました。彼は約60日後に同じクリニックにて診査のための手術を受ける予定にしていました。彼が私と共通の友人宅を訪れていた時に、私が溶液について話していたので、尋ねてきました。がんに効くのだろうかと思ったようです。数多くのがん患者がすでに安定酸素を試して、ある程度の効果があったようなので、私はマラリアと同様に、酢を加えた溶液はもっと効果が高いであろうと信じていました。

私たちはお互いに合意しました。それまで、副作用を観たことはなかったので、これは薬ではありません。それで、彼は活性体として使う酢を加えた溶液を飲み始めました。2週間以内のがんが縮小し始めました。最高値は82（何の測定か分からなかったのですが）でしたが、次に病院に行った時は71でした。1ヶ月後には55になりました。2ヶ月後は29になって、ついには5以下に到達しました。病院の医者たちは何が起こったのか分からなかったのですが、検査の数値が下がり始めたのとたんに、メイヨー・クリニックの手術の予約をキャンセルしました。彼らは何が起きているのだろうか調べようとしました。数値が3になった時は、もうそれ以後の検査をする必要がないと言いました。MMSを飲んでいる間にがんが消失したのですが、過去10年間に於いて、これと同じがん消滅のケースがたくさん起こりました。

私の当時の計画は、とにかくこの情報を世界へと向けて出すことでした。そこで、この話をインターネットに載せて、世界中に配布する計画を立てました。Eメール送信準備済みの情報を世界中に発信する計画でした。コンピューターウイルスがよく発信される方法に似ている方式を使って、情報を配信したかったのです。ある人がMMS情報を受信すれば、この情報についているプログラムにより、受信者のコンピューターに保存されているEメールアドレスへと簡単に送信できる方式です。もちろん、受信者は送信を完全にコントロールします。受信者がボタンをクリックするだけで、MMSの製造と使用に関連する完全情報を、受信者が指定するすべてのEメールアドレスへと一度に配信することができます。この方法がい

かに速く情報を伝播できるかお分かりでしょうか。これは迅速に広がりますが、欠点があります。1冊の本になるぐらいの量の情報をEメールに入れることはできません。そこで、私は採金するための特別プロセス方法を買って、17,000ドルを稼ぎました。インターネットを使って会社を探してから、私の配信プログラムを開発できると主張する企業を見つけました。プログラムを開発するために、彼らと協力して仕事をしました。まず、5,000ドルの頭金を払って、プログラムの開発が進展した時点で数千ドル、最後には大金を払いました。しかし、プログラムは完成しませんでした。私は自分のお金を使いましたが、実用プログラムを受け取ることができませんでした。この取引をフェアにするために、14,000ドルを受け取った後で実用プログラムの提供を拒否した会社の名前をお知らせしましょう。ワシントン州シアトルにあるダヌーブ・テクノロジー社です。

彼らは私が最後の支払いをした後で実用プログラムを送ると言いました。彼らの最初の企画書の日付は2001年4月9日でした。最終支払いは2001年11月11日に行いました。しかし、プログラムは実用の段階まで作られなかったのです。彼らは完成したと言いました。同時にこのプログラムは非合法であると言ってそれ以上は何もしません。そして、6年後の今になって、私はやっと本を売り始めています。

このように優れているミラクルミネラル・ソリューションですから、オブラ・ウィンフリーやビル・ゲイツなどの慈善家が、私の仕事を援助するために待っているのではと思われるでしょうが、事実はそうではないのです。この事実気づくまでは、しばらく時間がかかりました。すべてはお金か名誉欲に基づいています。オブラは彼女の番組の視聴者数を最大にする物事について知りたがっています。視聴者が増えればお金が儲かるからです。そして、ビル・ゲイツは一般人を援助しても名誉が得られないことを知っています。彼の数百万ドルは製薬会社の研究所へと与えられて、その代わりに、彼は世界中の有力者と仲良くなれます。有効な物へと投資することは、製薬会社の売上を落とすことになるので、彼らにとっては考慮に値しないことになるのです。彼と電話で話した時に、FDA(米国食品医薬局)の認可が得られるまで援助しないとしました。認可を得るためには1億ドルかかります。ですから、彼は私たちが認可を得ることはできないことを知っていました。

私は多くの手紙を彼らのような慈善家や数十の慈善団体へと送りました。大体において、先方が私のことを信用しないということではありませんでした。百年にわたって、医療関係者と製薬業に携わる人たちは肩を並べて、数十億ドルのお金を使って、議会が制定する法律を利用しながら、代替医療に従事する人々を窮地に追いやって来ました。彼らは代替医療関係者はペテン師ややぶ医者であるようなイメージを人々に植え付けてきました。しかし、数百万のアメリカ人は、事実はそうではないと気がつきました。医学界からの警告にも関わらず、毎年、多くの人たちが代替医療に解決策を見出し出しており、現在は全体年間売上が数十億ドルに上るビジネスです。数百万のアメリカ人は間抜けでやぶ医者やペテン師を好み、健康問題を解決できずに困っているのではと、考えることができないほどの状況になりました。

ですから、医学関係者たちは気が狂ったようになって、すべてのソリューション(栄養補給食品)を彼らの管理下に入れようとして動いています。

そして、本書(英語版)の第1版を発行した時から、FDAは少なくとも50%の代替医療ビジネスを閉鎖するであろうと発表しました。議会が制定した新しい法律によれば、FDAはすべてのソリューションの効力を検査する権利を持つということです。これは、FDAはいつでも好きな時にソリューションの製造を停止させて、試験を要求できるという意味です。1種類のソリューションの検査をするだけで、最高1億ドルまでかかります。毎年、医薬品を服用しても90万人以上が死亡していますが、健康食品産業では年間平均で1人です。しかし、誰かが健康サプリメントを摂取して病気になったとFDAに報告すれば、FDAはこの国においてそのソリューションの製造販売を止めさせることができます。いくつかのケースにおいて、何も問題がないと明らかにされても、そのソリューションがお店で再販売されることはないでしょう。この新法律に従って、FDAが実施すると発表したことから予想すると、つまりは、病人には薬のみを与えようとする事です。

是非、本書をご友人、ご親戚へと伝えて下さい。

第3章

安定酸素、MMS、契約

前章にてお伝えしましたように、私は2001年にネバダ州のミナという小さな町へと引越しました。ここは金の精鉱所であって、家賃無料で住んでいました。友人のディック・ジョンソンが私の研究を援助するといっ、ここに住ませてくれました。それでお金を少し節約することができて、安定酸素の調査と研究を続けることができました。転居してから最初の年に、私は色々な才能を持っているアーノルドに会いました。これから彼について、いくつかの件を除いて、あまり良いことを言わないので、彼が罪の意識を感じてはいけないので、ここでは彼の本名を伏せておきます。

私が台所で安定酸素溶液を作り始めてから、呼び名は数回変わりました。亜塩素酸ナトリウムを入手することは簡単ではないのですが、続けて努力すればいくらかは手に入ります。(第2編で入手方法をお知らせします。多くの化合物販売会社から入手できます。)私は市場に出回っている安定酸素よりもっと強力な溶液を作り始めました。長年にわたって、安定酸素内の亜塩素酸ナトリウムの量は3.5%でした。現時点で、ミラクルミネラル・ソリューション(MMS)と名づけた溶液の亜塩素酸ナトリウムの量は28%です。ですから、普通の安定酸素より8倍強力です。私がジャングルの中を移動している時は、オリジナルな安定酸素の「ヒーリング効力」より8倍強いものを携帯することができるのです。

それでは従来の研究についてお話ししましょう。過去80年にわたって、ほとんどのケースで、研究者はこの3.5%溶液の5から20滴を使って試験をしました。私がマラリアとその他の病気にかかっている人たちを助け始めた頃、数滴の溶液では効果がなかったので、彼らにもっと多くの量を与えました。私が目を通すことができた安定酸素に関するすべての研究報告書によれば、25滴まで量を増やした人はいませんでしたし、この量で試験をした人はほとんどいなかったのです。10滴が効果があるのなら40滴は4倍の効果が出るという従来の簡単なアイデアはどこにいったのでしょうか。私が気をつけた唯一のことは、量を増やす時は、まず自分が飲んで試したことでした。私はたいていは健康を回復したいと願っている人たちを対象に試しました。そして、私が試した後で、彼らも試すことに同意しました。私は安定酸素10滴から120滴へと一気に増やしたのではなく、最終的に120滴に到達して、その1時間後に2回目の120滴を試しました。時には、出てきた問題を解決する方法を発見するまで、少量だけを試したこともあります。これは薬ではありません。ミネラル・ソリューションです。私は医者ではなくて、発明家です。ヒポクラテスの宣誓(医師の倫理綱領の宣誓)の内容など知りません。私は医者のもじりをしてはいません。私は免疫系がマラリアを克服することができると考えて、それを事実として成功させることができた時から、目標は免疫系がマラリアを克服する方法を発明することでした。私が知る限り、誰かを危険な状態へと置いたことはなく、個人的に、2,000人以上を助けました。私が訓練した人たちが助けたマラリア患者の数は75,000人以上に上ります。これらの人たちの病気は「治って」、死亡した人は皆無です。通常は300以上の死亡が予測される

でしょう。私は「治る」という単語を使いますが、この意味は、彼らが起き上がって笑い、衣服を着て、仕事へと戻って行ったことです。私たちが知っているかぎりにおいて、彼らの病気が再発したことはありません。

私たちは二重盲検法や三重盲検法を使って試験を行ったのでしょうか。答えは「していません」です。お金がなかったのです。ビル・ゲイツは電話にてFDAが認可するまでは援助しないとしました。FDAの認可手数料は通常は数百万ドルです。しかし、健康を回復して仕事へと戻ることができたアフリカ人にとって、私たちがFDAの認可を持っているかどうかは関係のないことです。私がFDAに電話をして尋ねた時は、彼らは私は溶液をアフリカで使っているのだから口出しはしないと、しかし、それを使ってアメリカにいるマラリア患者を治療するために認可を得ようとするのなら、それは別の話しになると話しました。彼らは溶液が薬かそうではないかは気にかけません。私がある病気の治療と言った時点で、溶液は薬となり、私は数かぎりない試験と研究評価を受けなければなりません。この費用は最低でも5千万ドルでしょう。

マラウイ国は、病人を含めて誰にでも与えても良いと言って、MMSをミネラル・ソリューションとして認可しました。政府の人たちは適正な考え方を示しました。しかし、アメリカでは認可は不可能に思えます。医者と製薬会社グループは数十億ドルのお金を使って、議会でのロビー活動を重ねて、彼らのグループに利益をもたらすことができるように、議会に法律を作らせて制定させてきました。アメリカでは、毎年900,000人以上が医薬品による副作用を原因として死亡します。しかしながら、もし、健康食品店に置いてあるアミノ酸により1年間で1人が死亡した時は、アミノ酸が医薬品よりも多くの人を助けた事実にも関わらず、FDAはすべての健康食品店からアミノ酸を取り除くように命令を出しました。製薬会社グループとFDAは、彼らの利益を下げる原因となる人や製品を攻撃しようとして、常に待機しています。この事例では、アミノ酸が医薬品の代わりとして使われていました。それで、製薬会社グループの医薬品の売上が落ちていました。

ある人が人々の気分を良くするためにミネラル・ソリューションを使っているかぎりは、批判は出てきません。ある人が人々をもっと健康にするためにミネラル・ソリューションを使っているのであれば、批判されません。しかし、過去80年間使われたきた同じソリューションを使って、ある特定の症状を持つ人を治療しようとする瞬間に、まったく話が違ってきます。その人は医者でなければなりません。臨床試験を行い、1億ドルの大金を使って、二重盲検法試験、三重盲検法試験、およびその他数多くの検査を受けなければなりません。私に認可のための資金を提供しようと言ってくれた人はいません。ただ単に、彼らは必要な認可手続きについて話しただけです。「どうして病人を治療しようとするのですか。医者と製薬会社だけが治療できるのです」

多くのアメリカ人は薬は病気の症状だけを治すのであって、病気の原因を治すのではないと気づいています。なぜ製薬会社は病気の治療法を見つける代わりに、病気の症状を治す研究を行うのですか。このように疑問を抱く人はおられますか。多くの人たちはこのような疑問を持っていますが、FDAはそうではないのです。この答えは、ある人が症状を治療しているかぎり、病気を治すことはできません。そして、その人は病人が死ぬまで薬を売り続けることができます。

お金持ち数人が、ハイチ全体にわたってMMSを配給する仕事を支援するために、資金提供を申し出されました。彼らはハイチのマラリアを撲滅したかったのです。しかし、私たちがハイチ内の15ヶ所以上のクリニックを訪れた時に、アメリカの医師グループがクリニックの医者たちをコントロールしていることに気づきました。アメリカ医師グループは、MMSを患者1人にさえも与えることをしては行けないと強く拒絶しました。ですから、ハイチにはこのソリューションが使用されずに、いまだに数千人のマラリア罹患者がいます。あるケースでは、マラリア患者が第1回目にMMSを15滴摂取して、また1時間後に15滴摂取するだけでいいのです。MMSは安定酸素より8倍強力です。もし普通の安定酸素を使用するのであれば、第1回目は120滴、1時間後にまた120滴の溶液を摂取しなければならないでしょう。

それで、傷ついた人はいたのでしょうか。数千人がMMSを摂取してから元気になり幸せを感じており、悪い副作用が続くと訴えた人はいません。実際に、おおよそ100人のうち1人ぐらいに数種の反応がすぐに観られます。しかし、これらの反応は副作用ではありません。反応はたいていは30分ぐらい続きます。医学辞典かまたはインターネットを見て調べて下さい。薬が病気の一部ではない健康な細胞へと与える影響を副作用といいます。摂取直後の反応は、MMSが病気の細胞または病原菌に影響を与えるので、体を調整しようとする動きの結果です。健康な細胞には影響を与えません。

私たちはMMS(亜塩素酸ナトリウム28%)が、酢と混ぜる時に二酸化塩素(ClO_2)を生成することを知っています。酢と混ぜる時に二酸化塩素が生成する原因は、(酢の中の)酢酸が溶液を中和して、弱酸性にするからです。MMS溶液は通常は超強アルカリ性です。この溶液に酢を加えて酸性になる時に、少し不安定になって二酸化塩素を放出し始めます。液滴と酢酸を計量することによって、約3分以内に3mgの二酸化塩素が生成されることが分かります。それから、リンゴジュース(またはビタミンCが入っていないその他のジュース)を加えると、溶液が薄くなって、リンゴジュースと溶液の混合液内の二酸化塩素量が約1ppmになります。このMMS溶液は続けて二酸化塩素を産出しますが、今度はかなり遅いスピードで生成します。

二酸化塩素について説明しましょう。塩素と二酸化塩素は水の浄化や病院施設を殺菌するために、または数多くの消毒剤の成分として、100年以上にわたって使われてきました。最近になって、二酸化塩素の用途や使用頻度が増えてきて、特に水を浄化するためによく使われています。また、FDAは二酸化塩素を台所の消毒剤、牛肉やその他の食物の洗浄剤として使うことを認可しています。二酸化塩素を水に入れて使用すると、水分内のその他の成分と一緒に、化合物を生成する塩素よりはるかに安全であることが、研究によって実証されました。米国分析化学会は1999年に、人類が知るかぎり、二酸化塩素は最も強力な殺菌成分であると発表しました。

これが本当であるならば、読者は製薬会社グループは「二酸化塩素はバクテリア、ウイルス、その他の細菌を殺すパワフルな殺菌成分であって、食品業界に出ている食物内のウイルスを殺すために使われているので、おそらく、たぶん、人体の細菌を殺すために使えるのではないだろうか」と考えているかもしれないと思われるでしょう。事実はそうではなくて、彼らは人の気分を少し良くすることができて、繰り返して販売できる薬を求めているのです。

1回目の服用だけで病人を治すものを使う意味がないのです。製薬会社グループは上述の事実を100年前に発見しましたが、実行に移しませんでした。これは私だけの意見、真実ではないのかと言われる人もいるでしょう。しかし、私はこれは明瞭な真実ですから事実であると言います。病原菌を殺すために100年間も使われてきた溶液について研究が行われなかったことから、言い逃れることはできません。製薬会社グループは研究を実施しなかつただけでなく、安定酸素の試験を行うことを何回も拒否しました。

それでは、安定酸素を体内に入れたら何が生じるのでしょうか。まず胃の中に入ります。数十種類の研究報告書には、安定酸素が強い胃酸に触れる瞬間に分解して酸素になると書かれています。この仮説を証明するための試験についての解説はありません。私は実験用コップに胃酸を入れて試しました。コップ内の胃酸を、平常の胃の中の胃酸より3倍強くして試した時でさえも、亜塩素酸ナトリウムはすぐに分解しませんでした。その証拠に、二酸化塩素の生成スピードを、1時間当たり1ミリグラムの100分の1以上に上げることもできませんでした。はっきり言って、この数値は実質的にゼロです。その上、亜塩素酸ナトリウムが実際に分解する時は、二酸化塩素とナトリウム(ほんのわずかな量)が生成するだけです。これ以外には何も残りません。何もありません。二酸化塩素はとてつもないエネルギーを持つ5個の電子を受容することによって、体より弱いさまざまな弱酸性成分に接触する時に「爆発」します。これらの弱酸成分のほとんどは、人体にとって有害です。そして、二酸化塩素は健康な細胞に対してはね返ります。このことについては、また後で詳しく説明します。(第14章参照)ですから、二酸化塩素は酸化成分であって、酸素ではありません。

酢、レモン汁、ライム汁、またはクエン酸を使わないと、二酸化塩素はほんのわずかしこ生じません。極少量のナトリウム以外には何もないので、安定酸素の効力は極少量の二酸化塩素から派生します。安定酸素が効果を発揮することは事実ですが、私たちはこの二酸化塩素が働いているのであると知っています。体にとっては、二酸化塩素が最後に放出する酸素は使えません。なぜなら、現在市販されているすべての安定酸素は亜塩素酸ナトリウム溶液であって、利用可能な酸素電解物は安定酸素から派生しません。酢を加えると、この条件が劇的に変わります。まず、溶液20滴と茶さじ4分の1または半分の酢を加えて混ぜて、コップ内でリンゴジュースと一緒にすると、体は約3ミリグラムの二酸化塩素を吸収します。この溶液は引き続き12時間ほど、体内で二酸化塩素を産出します。

赤血球は通常は酸素を体内あちらこちらへと搬送しているのですが、二酸化塩素と酸素を分別する機能を備えていません。ですから、血液がさまざまな栄養素を吸収する場所である胃壁において、二酸化塩素イオンが赤血球に触れると、それは受容されます。もし、そこにマラリア病原体がいれば、それは二酸化塩素と共に破壊されます。病原体がいないのであれば、赤血球がその二酸化塩素を、毒物や有害物を酸化するために酸素が通常通りに使われている体内の別部分へと運搬して行きます。そして、この場所で二酸化塩素が放出されます。二酸化塩素は酸素より百倍強いエネルギーを使って、酸素と同じ仕事をしますが、免疫系が二酸化塩素をコントロールしているので、健康な細胞を傷つけることはほとんどありえません。



タスマニア・デビル

(写真 : Tasmanian Devil, Wikipedea)

それでは、二酸化塩素を正義の味方タスマニア・デビル、病原菌を悪者テロリストとして例え話をしたいと思います。タスマニア・デビルは小さいのですが、獰猛な動物としてよく知られています。赤血球は酸素を運ぶバスとして、でも何を運んでいるかは気にしていません。赤血球はタスマニア・デビルも運びます。タズ(タスマニア・デビル)は二酸化塩素で、酸素がバスから降ろされるのと同様と同じ所に降ろされます。悪者テロリストは今まで酸素を手玉にとってあまり心配していなかったのですが、今度はビックリします。バスから降りてくる奴は獰猛です。いつも降りてくる酸素よりかなり手強いのです。タズは飛び回って、体に有害な悪者テロリストを1人残さず殺します。それで、赤血球バスが到着すれば、タズの出番です。

二酸化塩素が引き金となる物に当たらないのであれば、劣化し始めて、電子1個かまたは2個を得ます。これにより、別の物質と結合して大変に重要な物質を生成します。免疫系がこの物質を利用して次亜塩素酸を生成します。次亜塩素酸は、免疫系の中でおそらく最も重要な酸でしょう。免疫系はこの酸を使って、病原菌、キラー細胞、そしてガン細胞さえも殺します。免疫系が次亜塩素酸を生成する元となる重要物質が体内に欠乏している状態を、ミエロパーオキシダーゼ欠乏症といいます。多くの人たちはこの欠乏症にかかっており、病気にかかっている時は免疫系がもっと大量の次亜塩素酸を必要とするのでこの欠乏症が悪化します。

ここではいくつかの仮説が出てきます。あるケースでは、私たちは二酸化塩素は体内で亜塩素酸ナトリウムから生じて、たくさんの病原菌を殺すことを十分に知っています。体内の二酸化塩素の機能がもう一つあります。毒物を中和する機能です。体に有害となるほとんどの毒物はある程度は酸性であるかまたは体の中性状態以下にあります。二酸化塩素は多種類の毒物を中和します。これが、マラリア患者が4時間以内に重病状態から完全な健康状態へと回復する原因の唯一の説明になると、私たちは信じています。二酸化塩素がマラリアが生成する毒物を中和して、同時に病原体を殺します。私は二酸化塩素適量を、ガラガラ蛇に噛まれた犬に与えてみました。溶液が混ざっているドリンクを30分毎に飲ませました。犬はこのドリンクにより助かることを知っているかのように、毎回一気に飲み干しました。数時間たって、犬は元気になりました。この事実は、二酸化塩素が毒をおそらく中和したことを示しています。

私がネバダ州ミナに住んでいた時、やっと100ポンド(45kg)の亜塩素酸ナトリウムが入っているドラム缶を買うことができました。実のところ、ミナでの住居を紹介してくれた友人が、最初の100ポンド缶を購入しました。彼は私の所へとやってきて数ポンドを持って行きました。彼の名前はリチャード・ジョンソンです。私はミナの住民を助け始めて、ある人たちは私が台所でびん詰めにした溶液を買い始めました。MMSを数年間にわたって使用している人たちがこの町にはたくさんいます。私はMMSが入っている小瓶を世界中に送り出しました。多くの人たちは、バクテリア、ウイルス、カビ、イースト、その他の病原菌を原因とするであろうがんやその他の病気にかかっていると言ってはこの溶液を使いました。そうしてから、前にお話しましたように、アーノルドが私に接近してきました。彼はリノ市に住むビジネスマンであって、またミナに閉鎖した金の精鉱所を所有していました。彼は試金の仕事を依頼してきましたが、会話がはずんで、私がマラリアにかかっている人たちを助けた話をすると非常に強い関心を示しました。私たちは何回か会合した時に話し合ってから、最終的に契約を交わしました。この契約において、彼はMMSを世界中に広げるために資金を提供することに合意しました。彼はブタペストでウェブサイトを作成してから、ブタペストから世界中にMMSを拡販したいと言いました。私は、彼はMMSが優れていると考えている別の多くのお金持のような人物であると気づきました。彼らは他人が投資することを望むのですが、自分のお金を投資することは望まないのです。それから、彼は沢山の人たちにMMSについて話し始めて、多くの博愛主義団体からの関心を引き寄せることができました。彼はマラリア対策のためにアフリカにMMSを広げる事業について話し合っていた新しい団体について、一つ一つ電話で伝えてくれました。

アーノルドは際立った博愛主義者です。彼はリノのホームレスを助ける仕事をしています。ハイウェイで車が故障して立ち止まっている人を見つけては車を止めて助けます。毎年、衣料品やその他の物品をトラック一杯に積み込んでメキシコの孤児院へと送り出します。ホームレスや不幸な人たちがミナに入ってくると、彼らに仕事を与えるか、町の住人に紹介して仕事を探してもらいます。またはリノの色々な福祉施設を援助して、クリスマスシーズンにはホームレスへと食料を配る仕事などを手伝います。彼は多くの物事において私を支援してくれて、MMSをアフリカに流通させる目的に向けて6年間仕事をしてくれました。

しかし、問題は交わした契約の合意項目を一つも守らなかったことでした。そのかわりに、MMSアフリカ流通事業の資金援助候補者を次々に見つけ出しました。私たちはいつも、MMS配給資金とMMSの効力を世界に向けて実証するための臨床試験用資金を、数週間から数ヶ月後に受け取ることができる状況にありました。

アーノルドは病人に対しては思いやりがあるので、MMSを使って人を助け始めました。彼は人々がMMSを正しく使えることを確認した後で、個人的にMMSを与えました。また、マラリアにかかっていた退役軍人が彼の所へ戻ってくる度にMMSを与えました。この方法によって、MMSの効力が実証されたことになりました。けれども、私は資金援助候補グループと直接話をさせないようにしていることに気づきはじめました。その理由については何も分からないのですが、彼が自認しているのと違って、人と効果的に交渉する能力に欠けているように思えます。次から次へと、候補団体と候補者はMMSへの興味を失って、最後には交渉が遮断して彼の考

えについて行かなくなりました。この砂漠地区に住んでいて、私は1人の候補者、1つの候補団体とさえも直接話すことができませんでした。彼はいつも候補団体や候補者について話してくれたのですが、けっして直接の会話を許可しなかったのです。私が頼んだ時でさえも、アーノルドは話し合いを拒みました。

このような状態が5年間続きました。彼は沢山のミスをしました。ウェブサイトを作成するためにある青年を雇ったのですが、私たちが望むようにサイトを制作してくれるようにと主張したら、彼は反対に私たちに告訴しました。それで、私たちは裁判所まで出て行きました。そのうえ、彼は私たちがペテン師であり、MMSは偽物であるという内容の手紙を政府機関に送りました。これらの手紙によって、IRS(米国内国歳入庁)による非営利団体認定書を受け取ることができずに妨害されました。私が本書を書き始めた頃(2006年10月1日)、彼がウェブサイトを制作しようとしてから5年後のことですが、未だにサイトが立ち上がっていません。それから続いて4人を採用しましたが、全員が追い出され、お金を持って何処かへと消えたので何も制作されませんでした。失ったお金の一部を使うことができたなら、ケニアでの臨床試験を済ませることができたでしょう。さらに、彼は助成金嘆願書を作成する人を雇いましたが、この人も私たちに対抗し始めました。アーノルドは人付き合いが大変にうまいといつも自称していましたが、非常に下手な人でした。このアーノルドの話は私の物語の一部分であり、MMSの情報を世界に向けて送り出すことが、引き続いて私の目標となっています。

私はアーノルドが悪者であると思っていないことを再び断言します。しかし、彼とずっと協働するのであれば、彼に絶対に従わなければならないと認識しました。この情報を世界へと提供するためには、彼とのパートナーシップを放棄しなければなりません。彼は自分の方法に合わないアイデアを許可しませんでした。ですから、私は有効であると知っている自分の方法に従い、実行可能な場所で活動しなければなりませんでした。

これは2006年の出来事でした。私はこの情報をもうこれ以上保管することはできないと考えました。数百万人がMMSを必要としています。彼らの命を守ることができるのに、死なせてもいいのでしょうか。このように自問自答した時に出た答えは、「私は見殺しはできません」でした。メキシコのコルテス海近くの湾岸に家を持っている友人のエド・ヘフトに電話をしました。彼はそくざにこの家に住んで本を書き上げるようにと私を招待してくれました。彼は家賃無料で住んでもいいと言いました。私にとっては理想的な申し出ですから了解しました。それから、鞆に必需品をつめ込んで、2006年11月に旅立ちました。話が少し前に済み過ぎました。この旅立ちの前に、その他の重要な出来事が数件あります。第4章へとお進み下さい。

(次は本書第3版に追加された部分です。) 私はこの段落に最新情報を追加します。メキシコ国境付近に到着した後で、コルテス海沿岸沿いにある家に滞在しました。そして、本書を書き続けました。メキシコを知っておられる方は、どの辺りなのかお分かりになると思いますが、今はその名前を伏せておきます。

クリスマスになって年が明ける頃、本を書き続けました。そして、やっと、2007年3月頃になって完了しました。アーノルドが持ってきた古い金の洗浄の仕事によって稼いだお金を持っていましたから、最初は1,000冊を印刷できました。同時に、

ウェブサイトの制作に時間を使いました。優れたウェブサイトではないのですが、本を売ることができました。

私はウェブサイトによる宣伝が得意ではなかったので、数冊だけが売れました。しかし、適切な人たちが本を読んでくれたようで、何人かがMMSを製造してすぐに販売を開始しました。ある会社は、短期間に大量のMMSを売り始めました。彼らはウェブサイトの宣伝方法を知っていたようで、MMS数千本を売りました。この会社の名前はグローバル・ライトでした。

私の本は\$14.95でしたから、大変に助かりました。そして、Eブックを2冊作りました。本書のハードブック（21世紀のミラクルミネラル・ソリューション）を2部に分けました。第1部のEブックをサイトにのせて、無料でダウンロードできるようにして、希望する人は第2部のEブックを\$9.95で購入できるように設定しました。この方法が功を奏して、第1部を読んだ15人のうち1人が第2部Eブックを購入しました。第2部Eブックの制作費がかからなかったため、この売上がそのまま利益になりました。

MMSの販売が始まって、事業が本格的に回転し始めました。もちろん、私はメキシコにいたので、ここからは本を郵送することができませんでした。私は出版会社から、ネバダ州で私の秘書になったクララ・テートへと本を配送してもらい、彼女がそこから本を出荷しました。やがて在庫がなくなってきたので、すぐに第2版の印刷を注文しなければなりませんでした。

それから、状況がもっと進展しました。ある会社が本の大量購入を申し込んできました、私は本書第2版の価格を\$19.95に決めました。それで、500冊を半額で売れば5,000ドルがすぐに入ってきます。この金額は印刷会社が要求した前払い金額に相当します。カナダにいる私の友人、ケネス・リチャードソンが、本の印刷が完了してネバダ州のクララに配送する時に、経費を半額負担すると申し出てくださいました。私はすべての所持金を使い果たしたので、お金がなかったのでしたが、すべての支払いをすることができました。本書第2版の注文数は10,000冊でした。

さまざまなウェブの関連団体とラジオ放送局が私とのインタビューを行いました。本書の販売はEブックとハードブックを合わせて1日平均\$350ぐらいに上昇しました。支援してくださった人々の名前をすべて公表したいのですが、もしその中で1人の名前を公開しないのであれば、フェアではないので、ここでは公開を控えておきます。それに紙面が限られています。私の本の販売にあたって、特にアダム・アブラハムにより多数の本を売り続けることができましたので、彼の名前をここに公表します。彼はラジオのトークショー「Talk for food」のホストです。本の販売数を前述しました平均額より増やすことはなかなか難しく、売上はこの平均レベルに数ヶ月留まりました。販売数を増やすように動いています。アフリカの人たちを助けるためにいくらかのお金を使うことができましたが、売上の大部分はアフリカへの旅行費用として貯めています。

それから、私は湾岸の家はずっと住み続けることを止めて、やらなければならないことを実行に移すことにしました。メキシコの湾岸の家から60マイル離れたいる大都市では、ほとんどのコンピュータ関連製品や備品を入手することができるので、そこへ移動しなければなりませんでした。

一方では、ある人たちが本書のスペイン語版の印刷を勧めてくれましたから、本書の売上金を使ってスペイン語版を印刷することができました。それから、こ

の町で出会った素晴らしい女性が私を支援してくれて、お互いに合意してから、スペイン語版とMMSを販売する会社をスタートさせました。

私は次の町へと移動しました。運が良くて、前述のスペイン婦人の家族の家に下宿することになりました。1部屋にはコンピューターを置いてオフィスにして、もう1部屋は寝室です。この家族は親切に私の世話をしてくれました。私はスペイン婦人の妹を秘書として雇いました。彼女たちの母親は、洗濯やアイロン掛け、ベッドの用意など色々と世話をしてくれました。

私たちが設立しようとしていたメキシコ会社は、NAFTA条約が1国で合法とされている製品は、別の国でも自動的に合法であると定めているので、大変に重要な意味を持っていました。もしMMSがメキシコに登録されて合法となると、同時にアメリカとカナダでも合法になります。アメリカの数多い問題を回避できます。もちろん、メキシコ内で収入を得ることもできます。私はすでにアメリカ国内ではMMSを売らないようにと決めていました。人々が私は「でたらめ」を言ってMMSを売っていると批判していましたが、この会社ができれば、MMSが認可されて販売できるかも知れません。私はMMSをアメリカ国内で販売するつもりはないのですが、アメリカ内で現在MMSを販売している会社は私のアフリカ基金へと寄付してくれることに同意しました。

さらに、ネクサス・マガジン社が本書のドイツ語版の翻訳と出版を申し込んで、売上印税を支払ってくれることに同意しました。この翻訳版は既に出版されました。

それで、この時期にわたって、MMSによって数千人が助かって、たくさんの人たちが援助を申し出てくれましたが、「お手伝いしましょう」と出てこられたお金持ちは1人もいません。実のところ、私が援助をお願いした多くのお金持ちは、援助を拒否されました。しかし、本の販売により、少なくともアフリカの1国のすべてのマラリア感染者を救うことができる十分な資金を得る見通しが立っています。このプロジェクトを実施できる見通しが立っています。しかし、私が驚かされ続けてきたことは、毎年数百万ドルのお金がくだらないことに使われているのかかわらず、世界は人類が消滅しかけていることに気づかず、くだらない物事に使うお金のほんのわずかな部分を使って世界を変えることができる事実と証拠を見ることを拒否しながら、陽気に行進し続けていることです。この件については、第9.5章に詳しく説明していますので、お読み続け下さい。

第4章

フロモ医師

2001年、私はアーノルドと契約を交わしました。アーノルドはMMS(当時はOS-82でした)がアメリカのマラリア患者を助けていると話しました。彼はいつも、MMSの効能を証明するために資金援助をしてくれるかもしれない人を知っていました。証明できれば、世界へと向けてアフリカ救済事業を唱えて援助を求めることができるでしょう。私はネバダ州ミナに留まってEメールをアフリカの人たちへと送り続けました。数多くの人々は私の話を信じませんでしたし、ある人は情報を送ってこないようにと拒否しました。

2003年7月頃、Eメールの効果が出てきました。やっと、西アフリカのギニアにいる医者と通信できました。そして、タンザニアで実施した時の結果についてこの医者に話し始めました。MMSの小瓶を送った後で、彼は1人のマラリア患者に飲ませたところ、数時間以内に元気になりました。その直後、彼は保健衛生省のオフィスへと行ってこの話しを伝えました。当時のギニアの保健大臣代理はゲイミイ医師でした。フロモ医師は保健省にいる医師1人と話し合うことができ、25人を対象に試してみることが許可されました。フロモ医師がまず無料で25人の試験を行う予定でした。もしMMSの効果を確認できるなら、マラリアを治療するために治療費を請求することができるでしょう。



モーシズ・フロモ医師

フロモ医師はクリニックの外に「マラリア治療、無料」という大きなサインを出しました。数時間以内で、25人以上がやってきて、同じ方法を使って全員を治療しました。翌日になって、クリニックへ戻ってきたすべての人たちのマラリアはなくなっていました。それから、2003年10月1日、彼は5,000fg(75セント)の料金でマラリアの治療活動を開始しました。

人々がクリニックの外で列をつくって待つようになりました。彼は数週間治療を続けました。しかし、残念ですが、フロモ医師はMMSの価値をよく理解されませんでした。彼は薬草を調合してカプセルにして販売すれば大金を稼ぐことができると信じていました。マラリア治療は、私が彼の薬草ビジネスを援助することを条件として行われました。私はマラリア治療を続けることを条件に、彼を援助すると伝えました。彼は空のカプセルと薬草関連書、カプセルに薬草を入れる装置、その他備品を送ってくれるようにと頼んできました。それで、薬草の本や半自動カプセル製造機をパッケージに詰めて送り出したら、ギニアの郵便局がパッケー

ジを没収しました。彼は頭にきてクリニックを閉めました。フロモ医師はギニア生まれではなかったのですが、この件がきっかけとなって、ギニアでは悪く扱われていると考えましたが、私は不可解な気持ちでした。

後で分かったのですが、郵便局長がパッケージをとって机の上に置いていました。この局長が次の日に病気になって、パッケージが2週間も置かれたままでした。それから、事故が発生して、雨によってパッケージの中身がつぶれて使えなくなりました。それから、フロモ医師はギニアでは最大のアメリカン・ボーキサイト会社で働くことにしました。この会社のクリニックには彼の知人の医者が高齢で働いていました。それで、MMSをこの医者のクリニックへと持って行って、効能について説明しました。その会社内でマラリアにかかっていた労働者たちを治療し始めて、しまいには、治療を受けた人の合計は2,000人以上になりました。

この頃には、会社の長期欠勤率が50%以上も下がりました。それで、フロモ医師はMMS150本を60,000米ドルで売るように会社と交渉し始めました。1本が400ドルです。私はアメリカでは絶対に1本26ドル以上で売らないようにしていましたが、彼はその売上金を使ってクリニックを建てることができると言い張りました。この値段についての話し合いが終わりそうもないので、私は最後には了承しました。この値段で売れたとしても治療1回が1ドルになる計算です。

当時、アーノルドはマラリア溶液を完全にコントロールできませんでした。完全にコントロールする方法を理解できなかったのです。それで、私はまだある程度の発言権を持っていて、取り扱いなどについて説明しました。彼は援助資金を出している人たちは、自分（アーノルド）が事業を完全にコントロールするようにといいっていると話し始めました。この頃は、私が許可してフロモ医師にMMSを販売させていましたが、やがて、このようなことさえもできなくなりました。

それから、ボーキサイト会社との交渉に何かトラブルがあったようで、時がかなり過ぎてしまいました。私はフロモ医師が薬草事業計画のために、あちこちらと旅をしているのが問題であると判断しました。それは大きな計画でした。数エーカーの土地にさまざまな薬草を植えて育てるという計画でした。やがて彼はボーキサイト会社の医者たちと話しをさせないようにしました。彼を通して交信しなければならなかったし、彼はあっちこっちと飛び回って忙しかったのでした。



フロモ医師の薬草クリニック

私はこの販売の可能性についてアーノルドに伝えましたが、これがミスでした。彼はアメリカン・ポーキサイトのクリニックへと電話をかけようとしたが、電話番号が見つかりません。それでポーキサイト会社のアメリカ親会社に尋ねて、ポーキサイト会社社長の電話番号を探しました。社長はいくつかの大学がMMS（OS-82）の試験を行って効能についての結果報告書が公表されるまでは、MMSを使わないと話しました。それから、会社のクリニックの医者たちにはMMSを使わないようにとの指令が出たので、60,000ドル取引の話はなくなってしまいました。会社の本部を通さなかったなら、クリニックの医者たちは続けてMMSを使うことができたでしょう。（アーノルドがへまをしました。私は微妙な状況にあることに気づいていたので、ポーキサイト会社本部に話を持っていくことができませんでした。）彼らは既にMMSを6ヶ月間使っていましたし、長期欠勤率が50%も落ちたのですから、誰も文句を言って止めさせることをしないでしょ。予想したように、本部は2,000人がすでに治療を受けたことを知りませんでした。私はフロモ医師と一緒に活動を続けて、カプセル10,000個と多くの小型カプセル製造器を送り出しました。けれども、彼のマラリア治療活動はそれ以上は進展しませんでした。ギニアはマラリアで溢れています。彼が1回75セントで治療活動を続けたのであれば（一般のギニア人が支払える金額）金持ちになったでしょう。ギニアで最も有名な医者になれたでしょう。彼は続けて効果の出ない薬草を販売することを選びました。私たちは大量のMMSをフロモ医師へ提供しました。彼は1国全体を変えることができたのですが、薬草を売り続けました。



薬草を調合しているフロモ医師と栽培人

第18章を読まれると彼のミスをご理解されるでしょう。彼は自分のゴールだけに心を集中させて、もっと大きなビジョンへと調整できませんでした。ギニアの人たちを助けることには興味がなく、お金儲けだけに興味を持っていました。彼は自分の世界に住んでいました。それでも、フロモ医師の努力によって2,000人以上が治りました。MMSをすぐに購入していただけますので、第8章の最後の段落をご覧ください。ご自身で100本製造される前に、試されるようにお勧めします。第17章で100本製造する方法について説明します。

第5章

東アフリカのケニア

アーノルドはたまたまクリスチャン・フェローシップ・インターナショナル (FCF Int) という名のキリスト教伝道グループの代表者を知っていました。この数ヶ月前には、MMSを一回与える毎に5ドル請求することを決定していました。アフリカ人がこの料金を払えるかどうかは問題ではなかったのです。ある博愛主義団体から資金を得ようとしていましたが、まだ実現にはほど遠い感じがしました。それで5ドルの料金にすれば、FCF Intへの多額の寄付を提案できると思いついてアーノルドに話すと、彼は有効なアイデアだと言って賛同しました。

アーノルドは、私を伝道所まで派遣してOS-82 (MMS) の使用方法について、伝道所に働く人たちを訓練する経費を負担してくれるのであれば、200,000ドル相当のMMSを提供すると申し出ました。(MMSの名称は何度も変更しました。) 1回の摂取料金が5ドルでしたから50ドルのコストで200,000ドルの売上になります。これは本当に私のアイデアでした。ギニアで2,000人が治りました。シエラレオネでは5,000人、ウガンダとケニアでは75,000人でした。これらの数字は、すべて私のアイデアを実践した結果です。もちろん、アーノルドが援助してくれましたが、アイデアを出したのでもなく、ギニアやシエラレオネの人たちとも交渉しませんでした。私はアーノルドからの資金援助なしに実行しました。このようにしても、すべては彼の方針に沿わなければならなかったのです。その理由は、寄付者全員がアーノルドによるコントロールを望んでいたことです。(アーノルドはいつもこのように発言していました。) 彼の方針で実際に計画を実現することができるのであれば、問題はなかったのですが、事実はまったく逆でした。



All MMS used
in Africa has
been bottled in
these 4 ounce
green bottles.

アフリカで
使用した
MMS小瓶
(4オンス)

FCF Intはこの提案に興味を抱いて、私をケニアとウガンダへ派遣することに決めました。いつものように、アーノルドは私とこの伝道グループ代表者との直接の話し合いと、アフリカ旅行の経費を負担してくれたかもしれないその他の寄付者との直接の連絡を拒否しました。けれども、彼はMMSの使用方法を教えることができなかったため、私をアフリカへと派遣しました。

彼はとにかく頑固で「彼の方針に合わせて仕事を進めなければならない」と、執拗に主張しました。このようなわけで、私は本書を著わしています。5年たちましたが、実行しなければならないことに関しては、実現からほど遠い状態にありました。彼は実行しようとはしますが、多くのミスをおかしました。

これらは2003年の出来事です。2004年になって、FCF Intはやっと私をアフリカへと派遣しました。私は台所で調理器具と試験所用の正確な計りを使って数百本のMMSを製造しました。実際に2006年10月1日現在までは、瓶詰めができる人は私だけでした。一本の溶液量を服用450回分にして数百本作りました。本書第2版を書いているこの時には、4社以上のMMSの製造会社が登場しました。私たちが最終的に決定したのは4オンス容量の緑色の小瓶（プラスチックボトル）です。この小瓶の中に溶液が入っていれば、小瓶の蓋の小穴を通して液を出すことができます。

アフリカにはこの小瓶と同様の製品がないのではと思っていましたが、私の予想が正しかったです。マラリア治療溶液の小瓶は遠くから見てもすぐにわかりますから、アフリカには類似製品がありませんでした。現在まで、これと同じ小瓶をニューヨークの製造会社から仕入れて使っている人たちがいます。第17章にこの会社名を載せました。



オポンド医師とMMS小瓶

2004年1月31日、私はケニアのカカメガに着きました。空港には4人の歓迎者が待っていてくれて、お互い抱き合って挨拶を交わしました。主任伝道師のジャバン・オムマニ、グラディス・アユグ、伝道所副代表のヘズロン・ジュナ、ピーティック・イアデシュがいました。全員が私の到着を喜んでくれて、愛想がよかったです。車に乗って伝道所へと行きました。そこには蚊帳を張ったすてきな部屋と必要備品がすべて用意されていました。

夕方になると、アイザック・オポンド医師がやってきました。彼は伝道所病院の責任者であって、私がマラリア治療に効果のあるものを人たちに与えることを知っていました。彼は心配していましたから、何を与えるのか知らなければならなかったのです。もし彼が私かまたはMMSを気に入らないのであれば、計画は中止になり何も起こらないことになるであろうと思いました。何も達成せずに帰国することになるでしょう。それでMMSの実体と機能について正確に説明し始めました。

彼は水浄化場と殺菌剤などの科学知識を持っていたので、二酸化塩素を理解しました。私は本書にて説明しているほとんどの情報とその他のデータについて伝えました。正確な事実情報が一番効果があると分かりましたから、それを彼に話しました。



伝道所病院

説明が終わると、オポンド医師は「よく理解しました。二酸化塩素が体内に入ると、あなたの説明通りに効果があると信じます」と言いました。彼が二酸化塩素のイメージを頭の中に描いた時に納得してから「私の妻がマラリアにかかっています。今ここへ連れてきてもいいですか」と言ったので、私は「もちろん」と答えました。夫人が20分後にやってきました。私はMMS溶液5滴だけを用意しました。当時は15滴が標準の摂取量でしたが、なぜ5滴にしたのかははっきりと覚えていません。夫人が吐き気をもよおさないようにと気をつけたかもしれません。ですから、彼女は私がアフリカでマラリア治療を行った最初の人になりました。翌日、彼女は少し良くなりましたが、完全に快復していません。私はオポンド医師に夫人は快復すると伝えました。私はこの日の午前中に病院での治療を開始する予定でした。

しかし、あまりたいしたことではないのですが、問題がありました。この医者には二酸化塩素の説明を信じて、私が言ったことを信用したように思えました。問題は、この地域のマラリア種は南アメリカのマラリア種より強力なことでした。夫人の容態が少し良いように見えたので、私は効き目があっても摂取量が充分でないと思いました。それで、夫人はもう一回摂取する必要があることを伝えると、彼は同意しました。

午前中に伝道所病院で患者さんたちを治療し始めました。「マラリア・ソリューション財団」と刺繍してある試験者用の白い大きめの仕事着を着ました。帽子を頭にのせ、革のズボンをはいて、白い靴を履きました。医者のように見えました。午前8時頃、病院に着いたら、オポンド医師のオフィスへと招かれました。それで、オフィスにいた人たちに私は医者ではないことを話しました。彼らは気にしてい

ません。ここから50マイル範囲の地域内にいる白人は私だけでした。彼らは白人を非常に尊敬していました。

私はオボンド医師と患者に与える液滴の数について話し合いました。現地のマラリアは南アメリカのマラリアより強い種類であると指摘しました。それで、15滴を使うことにしました。やがて、医師夫人が病院に到着して、2回目の15滴を飲んで家に帰りました。私たちはまる1日の時間をかけて、患者さんたちに15滴ずつ与えました。次の日、ほとんどの人たちが病院へと戻ってきて、快復していないが気分が良いといいました。それで、1回の摂取で治療しなければならなかったので、1回30滴を与えることにしました。

溶液を2回与えてマラリアの治療をするとしても、あまりにもたくさんのマラリア感染者がいました。病院の試験室には人が溢れていました。マラリアにかかっているかを診るために1人ずつ血液検査をすることはできませんでした。けれども、この地区では住人がマラリアにかかっているかどうかを知ることはそんなに難しいことではないのです。たいていは、医者がある人を見るだけでマラリアにかかっていると分かります。それでも、彼らはできるだけ多くの血液サンプルをとりました。血液検査をしてポジティブの結果が出た人たちの全員が、2回目の摂取後、すなわち30滴を摂取した後ではネガティブと出ました。たいていは約4時間かかって、マラリアのすべての症状がなくなりました。いくつかのケースでは12時間かかりました。マラリア以外の病気を持っていた人も多くいましたが、マラリアの治療に関しては、治らなかった人はいませんでした。

全員が血液検査を受けたのではないので、これが事実だと実証はできませんが、私たちが知るかぎり、今回のマラリア寄生体を殺す治療において、失敗したケースはありませんでした。



オムマニ牧師

私たちは気分が悪いと言った人たちを治療してから、翌日になって病院へ戻ってきた人たち全員は治っていました。オボンド医師は摂取量を30滴にするという私の意見に賛成しました。そして、1回の治療だけで効果が出ました。30滴は南アメリカで使用した摂取量の8倍でした。これは健康食品店で売られている安定酸素240滴に相当します。この病院では、各マラリア罹患者に対応して、英語を話せる人は症状について簡単に話しました。私は全員にMMSを与えました。

私は彼らが持っているほとんどの問題にとっても効果があると知っていました。ある人はすぐに寄生虫を吐き出したり、さまざまな健康問題が解消して良くなったと発言した人もたくさんいました。

オムマニ牧師は伝道所の代表でしたが、少し疲れているように見えました。彼は交通事故にあってからはマラリアにかかったことがないと言いました。杖を持って歩いており、足の中には何かの金属ブレースが入っています。彼はおそらくこの金属が原因で血液が反応して、マラリア原虫を殺すのではと言いました。私は彼の目と顔を近くに寄って見ました。極度の疲労がうかがえます。彼はなんらかの病気にかかっていたようですが、それが何なのか分かりません。痛み止めの薬を飲んでいるのかどうか尋ねましたら、1日数錠飲んでいると答えました。私は「牧師さん、お願いします。マラリアの血液検査を受けてください」と頼みました。その途端、彼は自分の症状が何であるか分かったように見えました。

私は次の日になって血液検査を受けてもらう意味でお願いしたのですが、彼は私の顔をもう一度見てから、試験室の担当者を起こしに行きました。1時間後に、牧師さんが戻ってきて、ビックリするような結果を報告しました。一般のマラリア患者が病院へと治療を求めてやってきて血液検査をする場合は、その測定値がプラス6と出ます。



ビンセント・オリンバ医師とMMSを摂取した乳児を抱く母親

牧師の測定値はプラス120でした。彼はいつ死んでもおかしくない状態です。私が安全と思う最大の摂取量の30滴を与えました。こんなに高い測定値が出る人はたいていはベッドに横になっており動くことさえもできないのですが、あるケースでは鎮痛剤が症状を隠します。

翌日になって、オムマニ牧師の気分が大変に良くなりましたが、正午頃にまた気分が悪くなりました。正午に行った検査では、通常のマラリア患者の測定値と同じように、プラス6が出ました。私は今度は18滴を牧師に与えました。そして、次の朝までには「気分爽快」と言い出し始めました。彼は健康に見えました。血液検査はマラリア原虫ゼロと出ました。このような結果となり、彼は本当に幸運でした。鎮痛剤を服用すると、マラリアの症状がおうおうにして隠れます。それで、オムマニ牧師のようにマラリアにかかっていることに気づかない人がたくさんいます。彼は私の診断を信じました。頭痛や関節痛がだんだんとひどくなるので、鎮痛剤をもっと増やして服用するようになります。こうなると、マラリア原

虫が体内に充満していても、本人はあちこちと動きまわることができるので、死亡する危険性の高い状態になります。それこそ、「ぼっくり死」が待っています。本当にいつかぼっくりと死んでしまいます。



教会で私たち一行の到着を待つ人々。300人以上が教会に集まった。

オムマニ牧師がこの地区の教会に呼びかけて、人々にマラリア治療にくるようにと伝え始めました。毎朝8時頃になると、一行8人がミニバスへと乗り込んで、ミニバスのオーナー兼牧師であるピータ・ムワンギが運転を担当しました。ミニバスは約20年前に作られた古いタイプでした。単純な外枠にモーターが付いているだけのバスです。付属品は全部取り除かれていて、ドアのチョウツガイはひどくすり減っています。ドアがただ落ちないように支えているだけですが、ガタガタと鳴らないようにおさまっていました。白人は私1人だけで、他の3人と一緒に前席に座りました。ピーターは修理工のようであり、バスを何とか動かしていました。とにかく、バスの中身は全部ひどく擦り切れていました。誰かが修理するのを止めれば、すぐに捨てられるようなバスでした。それでも必要なものはモーター、車台、タイヤですから、これでいいのかもしれない。

当日、ピーターは数ヶ所の教会へと連れて行ってきて、また写真をとることを手伝ってくれました。各教会にはだいたい50から200人ぐらいの現地人が集まっています。彼らは私を紹介して、治療を始める前に少し話しをするようにと頼んできました。私は「皆さんに会えて嬉しいです。気分が良くなればいいですね」というような普通の挨拶を1分間ぐらいしました。それから皆は1列に並んで、私は教会が用意したコップに溶液を入れ始めました。

数百人が集まった教会では余分のコップが要りましたから、私がお願いすると、彼らはどこからか追加分を持ってきました。それから、20ないし30個のコップを並べて置いて、私は溶液をコップの中へと入れました。私は溶液30滴の量を正確に計るための計量スプーンを持っていました。そして、酢をコップに加えた後で、パインジュースをコップの4分の3ぐらいになるまで入れました。そのコップを1人ずつ順番に渡しました。(酢を加えた後にジュースを入れるまでいつも3分間待ちました。)

このグループは私が予防接種をしないと何度も聞いた時は失望したようです。それで、彼らは予防接種を受けないのであれば、私の薬はそんなにパワフルでなく助けにならないであろうと考えました。けれども、各教会の人たちは、その日の夕方になるにつれて気分が良くなっていきました。皆は本当にビックリして喜びを表しました。人々が元気になり気分が良くなっていくのを観ることは、いつも嬉しいことです。

私たちがカカメガにいた時に、ジャパンが民間のクリニックを訪れて欲しいと言いました。このクリニックでまる1日を過ごすことになりました。クリニックの名前はブクラ・コミュニティー看護産院です。私たちがここへ到着した時はすでに現地の人たちが集まっており、マラリアの治療を受けようとして、長い行列をつくっていました。私たちは丸1日かけて仕事をして、最後にはMMSを数本残して立ち去りました。院長の名前はピンセント・オリンパでした。彼は多くの人たちを治療して、MMSの摂取前と摂取後に血液検査をしました。残念ながら、この伝道グループが私は悪人であると疑った時に、彼のクリニックへのMMS支給計画が中止になって、結局MMSが届かなかったのです。私はこのオリンパ医師の写真を本書に載せました。もちろん、彼も含めて、本書で紹介するその他の人たちに連絡することができます。

カカメガに滞在していた時には、白人に会いませんでした。ある女性が通りで私を呼び止めて握手をしました。彼女は今日、白人と握手をしたことを旦那さんに話しますと言いました。「仮装した人食い人種」が、天国へ行くよりも私を食べて豪華な食事をするほうが良いと決めるかどうかが一番心配ですと、テーブルのまわりにいた皆に話すと、一同が大笑いしました。現地では30才を過ぎた人たちは「仮装人食い人種」と呼ばれていましたが、私は本当ではないと思います。何か話しをしたかっただけでしょう。



ウェイド・ポーターと夫人。著者は真ん中に立っている。廻りの人たちは医者と看護婦。彼らは私が悪人であると判断して、ウェイドはMMSを使わないようにと決定した。



February 11, 2004

We the people of the Ematsayi Mission which is the headquarters of 128 Ball Churches and their pastors, hereby give our thanks and appreciations to The Malaria Solution Foundation for sending Mr. Jim Humble to bring us the Malaria Solution. Over one thousand patients have been treated and reported that they have recovered from malaria including the Bishop Rev. Javan Ommani and his wife. So of the places he visited are: Ematsay Mission Hospital 80 patients were treated and reported back that they have recovered by Dr. Isaac Opondo.

2. Bakura Community nursing Home 3 patients were treated and reported that they have recovered after taking phase two of the treatment led by Dr. Edwin Otieno.

3. Inaya Church clinic, 512 patients were treated some returned the second day for number two of the phase 2 treatments and reported recovered. Led by Rev. Mutali.

4. Imanga and Naburers Church clinics 228 patients were treated and reported recovered under Rev. Javan Masimber.

5. Emangale, Nazareli, Musaga 125 patients treated. They reported recovery of malaria. Led by Rev. Eseri Mahonga.

6. Kisilala Church Clinic 50 were treated, reported recovered from Malaria. Led by Rev. Parton Wangila.

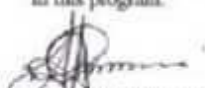
7. Mwilala 36 people were treated positive live reports came back. Led by Rev. Charles Ommani.

8. Anyiko Church Clinic 250 patients were treated and reported recovered. Led by Rev. Henry Apondi.

9. Buyonga Church Clinic 50 people were treated and reported recovered. Led by Sister Jackline Makokha.

10. Eshirumba Church Clinic 52 were treated and reported recovered. Led by Pastor E. Kabole.

With time running out some with malaria were left before being treated. There has been reported three cases of vomiting and at least one case of diarrhea after taking the Malaria Solution but in all cases the situation settled after getting the second treatment. Sincerely we thank all concerned in this program.


 Rev. Javan Ommani
 Bishop


 Rev. Hezron Okaba
 Ass. Bishop

Alfred Okwanyi
 Chairman




February 11, 2004

Jim Humble
The Malaria Solution Foundation

Here I present to you my special observations during the Malaria Campaign using the Malaria Solution Formula.

1- The very 1st day of the introduction a very sick baby of 1 ½ years was brought complaining of convulsions from high fever with temperature of 104 F (40 C). Blood slide microscopic examination was positive of malaria with 4 pluses ++++ indicating very severe infection with malaria falciparum parasites.

After resertation the patient was given the malaria solution phase 1. After 4 hours the blood slide microscopic examination was done. The parasites were reduced to 2 pluses (+). At that time phase 2 was given (5 drops of the malaria solution). The following day the blood slide was negative of malaria.

Note: No other antimalaria drug was given. No antibiotic was given. After two days the child was discharged. There had been no temperature above normal nor any other symptoms for 48 hours. The malaria had been cured by the Malaria Solution administration alone without the usual quinine for such serious cases.

2- A female patient aged 34 years had persistent fevers sever headaches in evenings, persistent nausea, loss of apatite, and loss of weight. Microscopic examination of blood revealed malaria falciparum parasites present. She had not responded to many antimalaria drugs including quinine injections. Malaria Solution phase 2 was given in two doses within 24 hours. By the third dose all signs and symptoms had reduced. After 5 days the patient was back to work eating well after two months of illness. A check of the blood slide showed negative.

3- Three sick children were administered Malaria Solution after the presence of symptoms of bronchial pneumonia for 2 days. After 6 hours the signs and symptoms had reduced. They stayed in the ward for 48 hours until the symptoms of pneumonia were completely gone. No other antibodies were administered.

4- I smeared the Malaria Solution to warts in the groin region of a male patient of 5 years. Within 5 days the warts were gone.

Cases 3 and 4 indicate that the malaria solution is effective against other diseases.

5- During a mobile clinic campaign one of the female patients was given phase 2 Malaria Solution. She immediately started having severe abdominal pain. I gave her 3 glasses of water which she vomited after each glass. Soon she was feeling better.

Note: On further interrogation I found out that this patient was a known case of peptic ulcer and was on treatment at the moment with antacids.

Conclusion: This patient could have been saved from the reaction from the Malaria Solution if she had told us she had stomach ulcer. In the future we should ask about stomach ulcer.

In conclusion let me say that I am on the look out for other benefit of the Malaria Solution and will give you a feed back as I progress carefully in assessing which other conditions can be treated using the Malaria Solution.

Since the campaign is almost free I find it hard to charge a fee for Microscopic blood examination as many patients cannot afford it. That would strengthen the positive results, but as in the case #1 above, finance is a problem.

I am continuing with the Malaria Solution Program.

Sincerely,



Dr. Isaac Opondo
PO Box 1176, 50100
Kakamega, Kenya
Phone 0722-300301

MINISTRY OF HEALTH

Telegram: "MOH" - KAKAMEGA
 Telephone: 056-311110
 31171 Ext. 245
 30052 Ext. 3091



The Medical Officer of Health,
 Kakamega District,
 P.O.Box 750,
 Kaka mega.

When replying, please quote

Ref. No: DIS.10.VOL11/98

Date: 22nd September 2004

TO WHOM IT MAY CONCERN


RE LURAMBI COMMUNITY BASED ORGANIZATION

This is to certify that Lurambi Community Based Organization is a registered CBO based in Kakamega Municipality.

It is mainly involved in HIV/AIDS activities in both the Municipality and Lurambi Division of Kakamega District. It is also involved in activities to improve the status of Women, Children and Youth living in slum and rural areas in regard to HIV/AIDS, Poverty, Food Insecurity and Illiteracy.

Please grant them any support necessary to carrying out these activities.

Thank you.

 MEDICAL OFFICER OF HEALTH
 KAKAMEGA DISTRICT

Dr. Shikanga O-tipo
 MEDICAL OFFICER OF HEALTH
KAKAMEGA DISTRICT

PETER MWANGI GITAU
P.O. BOX 659
KAKAMEGA
KENYA
2/11/2006

TO WHOM IT MAY CONCERN
RE: JIM V. HUNBLE

This is to certify that I, Peter Mwangi Gitau has worked with JIM since 2004. He came to the Ematsayi Ball Mission to treat people for malaria and for all this long, I have been driving him. We visited many churches and treated about 1000 people with Malaria Solution. After that, we went to Uganda to help people there and over 500 people were treated in the Life Medical Centre in Kampala, Uganda.

We left each other and he, JIM sent me some bottles of the Malaria Solution to treat and train people how to use the Solution in Kakamega Town. See pictures and report of those treated on the next page.

I am looking forward to treating as many more people in Kenya and helping JIM in this work as more money and donations are made available to us.

It's my pleasure to have many people treated and get well and reach out to millions with Malaria Solution.

Yours faithfully

P. Mwangi

Peter Mwangi
0722 860674

February 11, 2004

Location: Ematsayi Mission

I Sila Kombo, give much thanks to God who brought brother Jim Humble to Kenya to give the Malaria Solution. I am happy that when I got the Malaria Solution I was recovered. I would like to ask the office of the Christian Faith fellowship to extend the treatment up to Tanzania country where I am a Bishop having more than 25 churches where the disease (Malaria) kills so many people and I've seen this chance to be of help to us in Africa. Thank you. Good bless.

Yours Sincerely,

A handwritten signature in black ink, appearing to be 'Sila Kombo', written in a cursive style.

第6章

東アフリカのウガンダ

私はケニアのカカメガからナイロビへと飛びました。そこでは、ウェイド・ポーター医者と看護婦に説明しました。この医者と看護婦グループは私の説明が気に入ったようで、その後1時間話し合いました。多くの人たちと握手して友好的な言葉を交わしたのですが、何の理由かわからないのですが、ウェイドと夫人は私が悪人だと判断したようで、近くの未開地にある村人たちを治療する計画はストップしました。彼らはこのことについて何も話さなかったので、別の方法で話すことがなくなってしまいました。それに不思議なことに、私が帰国してから数週間後にアメリカのFCF Intの代表者が首になりました。この代表者が私をアフリカへと派遣することを決めました。別に関連性がないかもしれませんが、彼が首になったことは奇妙であり、その理由は分かりませんでした。とにかく話を続けましょう。私はナイロビからウガンダのカンパラへ飛びました。空港で、現地伝道所主任牧師兼伝道所クリニックのオーナーであるソロモン・ムウェシゲに会いました。車に乗って彼の家へと着きました。私が宿泊できるように、改修された部屋がありました。現地では家屋に入る時は靴を脱がなければなりません。最初はそれに気づかずいたので謝ってから靴を脱ぎました。彼らは本当に愛想がいい人たちでした。毎晩、皆がテーブルのまわりに座り込んで夕食をとりました。食べ物はおいしかったです。ウガンダでは、戦争がない時は、食料が豊富にあります。実際に、ある視察官は「豊かに繁栄する土地」と呼んでいました。

ソロモンは私に午前中にメディカル・クリニックでMMSを使い始めるようにと言いました。今回もMMSの効果を実証する良い機会ですから、早くスタートしたいと思っていました。2004年2月14日午前8時頃、朝食の後で、ソロモンのクリニックに着きました。ソロモンが教会の人たちに事前に私の到着を伝えていましたから、すでに多くの人たちが集まっていました。



母親が乳児にMMSを与えるのを見ている著者と看護婦
(ライフ・リンクメディカルセンター、カンパラ)

彼らはMMSの料金を低くして提供していました。（当時は0S-82のラベルが付いていますが、ケニアにいた時にこの名前を使わないことにしました。医者や看護婦は「マラリア・ソリューション」と称していましたから、最終的にこの名前を採用しました。アフリカの人たちが名前を付けたのです。この名前について、アーノルドに電話で伝えたら、そくぎに合意しました。）

早速、ケニアのカカメガでの治療活動によって得たデータを使うことから始めました。30滴を与えると、ほとんどの人はもっと気分が悪くなったり吐いたりしました。もちろん、次の日は数時間後になると気分が良くなりましたが、嘔吐は受け入れられません。この地域のマラリアはその他の地域のマラリアと違っていました。治療を受けた全員が吐いたのではないので、数日間治療を続けましたが、じょじょに治療が敬遠されるようになりました。

それで、何かをしなければならぬと腹を固めました。まず、15滴を患者に与えて、4時間後に戻ってきた時に、もう15滴を与えました。この方法がうまくいきました。15滴の摂取後に吐いた人はいなくて、また皆が集まってきてクリニックの外に列を作り始めました。それで、この小問題を解決することができました。このような小問題が発生してから、必要な情報を集めることができ、他の人たちを適切に治療することにおいて役立っています。



ライフ・リンクメディカルセンター
(ウガンダ・カンバラ)

15滴かまたは30滴の服用量には、茶さじ4分の1から半分の酢、レモン汁、ライム汁、またはクエン酸溶液のどれか1種が含まれています。（MMS1滴に対して酸5滴）このような食物酸が欠けますと、MMS溶液はあまり効果を発揮しません。食物酸は溶液を活性させる触媒の機能を持っています。1種の酸と溶液を混ぜてから、3分間待って別の液体を加えます。3分後に、変な味を隠すためにジュース4オンス（1オンス=28.35g）を加えます。しかし、ビタミンCが添加されていないジュースでなければなりません。ビタミンCが入っているかどうか判らない場合は生ジュースを使います。ほとんどの瓶詰めまたは缶ジュースには保存

料としてビタミンCが添加されています。ビタミンCは体にとって良いものですが、この場合は体内におけるMMSの効果을妨げます。ですから、新鮮な生ジュースだけを使ってください。

これらの食物酸は非常に大切な役割を持っています。食物酸によって、亜硫酸ナトリウム溶液が直鎖基準において二酸化塩素イオンを手放し、同時に亜硫酸ナトリウムが一度に多くのイオンを手放さないように守られます。この溶液が胃に到達する時に、すべての二酸化塩素が放出することを防ぐ意味でも、これは重要な機能です。酢酸またはクエン酸は、溶液が体内で適切に機能するために必要な成分です。酢はいつも酢酸を含み、レモンとライムはクエン酸を含んでいます。これらの酸はMMSの必要成分ですから、どちらか一方の酸をお使い下さい。



著者がマラリア再発患者のツムハリウェ（本章最後の手紙参照）にMMS混合液を渡している。

ソロモンのクリニックは「ライフ・リンクメディカルセンター」であり、住所はPO Box 15081 Kampala, Uganda, Phone 077 479017です。このクリニックには顕微鏡が備えてあって、検査員が血中のマラリア原虫を調べることができました。私たちが滞在していた時は、マラリアがポジティブと検出された約50人の患者を治療して、治療後の検査では、全員がネガティブと出ました。けれども、治療を行った500人以上の患者たちは検査を受けることを気にしませんでした。気分が良くなるようにと望んでいました。そして、その通りになりました。彼らが1回または2回と飲んだ後は、いつも気分が良くなりました。実のところ、治療を受けた人たちの少なくとも95%はマラリアにかかっていた。全員の血液検査を行う時間がありませんでした。それでも、50人の患者の血液検査を行った時は、マラリア原虫が消滅していました。

このメディカルセンターへ着いた直後に、私はDRCコンゴ出身の特別牧師に会いました。彼の名前はジョン・ツムハリウェ。彼はMMSに興味を持っており、MMSを摂取した後で、次々とやってくる人々を助け始めました。彼はMMSに関しては情熱的であって、私がDRCコンゴへと出張するようにと大々的に話していました。しかし、私にはお金がありませんし援助もありません。彼はカンパラの多くの所へと出かけて行って、戦争が続いていた北ウガンダ地域の軍隊を訪問できる時点まで話し

をまとめました。その軍隊内ではマラリアが広まっていたし、戦争を解決する切っ掛けになるのではと、喜んで出発する予定にしました。また、MMSを宣伝するのに良い機会になると思いました。けれども、私の滞在中に、ジョンはこの計画を実現するところまで話をまとめることができませんでした。

私は帰る前に最後1本のMMSを彼に渡しました。その1本だけで、180人のマラリア患者を十分に助けることができます。ジョンの手紙を読んでいただければお分かりになりますが、彼はコンゴで多くの人たちを治療しました。数ヶ月後には10本送りましたが、彼は大切に活用したようです。前ページの写真は、私が彼に最初のMMSを与えたシーンです。本書で紹介しましたその他の人と同じ様に、彼に直接連絡できます。2006年10月10日現在、もう10本追加で彼に送りました。

マラリアにかかった子供が数人いました。そのうちの何人かは、MMSがなかったら死亡していたでしょう。治療を受けた人たちの反応は不規則に出てきましたが、同じような反応であることが、このクリニックで分かりました。時間が進むにつれて、次のような反応を認めることができました。(1) めまい 数名の患者はMMS摂取後数時間でめまいを報告しました。このめまいは1時間以内になりました。めまいがなくなると同時に、マラリアの症状が消えたようです。(2) 吐き気 MMSを摂取してから10分から15分たって、たいていは吐き気をもよおしました。吐き気はほとんどのケースでは15分間以上続きません。(3) 嘔吐 MMSの反応として、1人だけが1回だけ嘔吐しました。(4) けん怠感 体全体に疲れを感じます。数年前にジャングル内で私はマラリアにかかって、MMSを飲んだ時に、けん怠感が生じてビックリしました。まったく無気力になって動くことができません。気分はそんなに悪くならないのですが、変な気持ちになって心配します。この状態が1時間から4時間ぐらいまで続きます。(5) 上記反応が一緒になって出る めったにないケースですが、この反応が2件ぐらい見られました。



MMS混合液を用意している著者

このような反応に対しては、何もする必要はありません。すぐに消えてなくなり続きません。

このクリニックにはベッドが6台ありました。MMSを摂取した後で数人が快復しました。クリニックの黒人医師は子供たちへの愛情が強い人でした。彼は親切丁寧に治療をしており、非常に気をつけているようでした。私がクリニックにい

た時でも、彼は簡単に診断するだけで、数人の命を救いました。黒人医師はMMSについてしつこく聞きました。私は安定酸素を飼い犬の静脈へと注入してから、病気を治した友人について話しました。それから、彼が私にも2回注射したことがあると伝えました。この話し合いの最後になって、私は彼のペットへの注射に使った注入液の強さは、安定酸素15滴であったと話しました。このクリニックでの滞在が終わる頃になって、この医者がクリニックの外で数人と話し込んでいるのに気づきました。彼がいくつかのグループと話した後で、私はグループについて尋ねました。彼はグループの中には、彼の親戚も含めて重症のAIDS患者がいることを話しました。でも、話の内容を聞くことは失礼になると思って、尋ねませんでした。ちょうど出発しようとするその日になって、彼が注射を使ってAIDS患者を治療する予定であると私に話してくれました。彼は大きなカンパラ病院と関係しており、病院から自宅へと戻されて死を待っているAIDS患者にアプローチできると言いました。私はこの時には心配しましたが、ラスベガスにいた時に、友人が私に注射を数回したことを思い出しました。最初は1滴で、次は数滴、最後は服用量全部を2回注射しました。私がAIDSの心配をしていたのではなくて、病院にいるAIDS患者や、自宅に戻されたAIDS患者を治療することができないことは大変に悲しいことであると思っていたからです。



子供たちはMMSが魔法のドリンクだと思いつつ飲んでいるようです。

MMSは二酸化塩素を体内に放出します。二酸化塩素は、人類が知るかぎり、すべての病原菌を殺す最も強力な成分です。AIDSウイルスは殺さないだろうと考える理由は見当たりません。少量の二酸化塩素が含まれるMMSの使用は人体に害を与えません。血液内へと直接に注入する時は、酢を使うことができません。事実として、血液は水と同じ中性レベルにあります。ですから、MMSを薄めて、酢が入っていても、2~3時間にわたって二酸化塩素が放出されます。

この時には、私は医者に注射治療を奨めることもしなかつたし、反対することもしませんでした。注射がAIDS治療に有害となると思いませんでしたし、反対におそらく有効ではないかと思っていました。自宅に帰ってからこの医者と密接に連絡しましたが、彼は8ヶ月の期間において390人のAIDS患者を治療しました。

カンパラ病院から自宅へと戻されて、死を待つばかりの人たちです。彼から送ってきたEメールによりますと、AIDS患者10人のうち6人は3日以内に気分が良くなって、仕事に戻るか通常に生活に戻りたいと話したそうです。そして残りの40%が30日以内に快復しました。彼が追跡して観察したケースにおいて再発した人はゼロでした。390ケースのうち、死亡ケースは2件でした。3日で気分が良くなった人は、少し時間がたって快復しました。しかし、これは、極度に弱くなった容態から快復しただけのように思えます。残念ながら、この医者の名前だけはここに公表することができません。ここでお話しましたように、彼の治療結果は大変に優れたものであって、患者全員はカンパラ病院から自宅へと戻されてから、数週間以内には死亡するであろうと診断されていました。

私はこの医者にお金を払っていないし、MMSを無料で送っているのでもないで、(クリニックに40本置いてきました。)毎日のようにEメールを送ってきて嘘の報告をする理由がないので、彼の報告を信じることはそんなに難しいことではないと感じました。私も数多くのAIDS患者を治すことができました。マラウイにいるビジネスマンの友人は、AIDSに感染して病気になっている数人の従業員を治して、彼らは仕事へと復帰しています。

このクリニックのオーナーは現地教会の牧師でした。この教会はFCF Int アフリカ伝道グループのメンバーでした。ケニアの牧師と同じように、彼にも健康問題があったようです。ソロモンもマラリアにかかっており、鎮痛剤を服用していました。彼と夫人の2人共、マラリアにかかっていると考えていませんでした。鎮痛剤はしばしばマラリアの症状を隠します。元気にはならないのですが、活動することはできます。鎮痛剤をしばらく続けて常用することは、マラリアに気づかずに死亡することにつながり、大変に危険なことです。

その実、私が彼に尋ねた時は、「マラリア」と答えました。「治療をのびのびにしているんです」それから「今、(MMS)を2倍飲みます」と言いました。吐き気をもよおすことを知らないのですかと言い返すと、彼は「知っています。でも、痛みをなくしてマラリアを殺したいのです」と言いました。彼は私たちが行っていることや液滴数の再調整の仕方をずっと観察していました。そうして、彼は2倍の量の混合液を飲みました。(もちろん、酢を入れて基準の3分間を待ちました。)後になって、MMSが体内で働いていることを実際に確認したかったので、吐き気をもよおす量を飲みたかったと言いました。

当時、私がノートに記録した内容をここに書き写します。「彼は20分以内に吐き気を感じた。1時間後には運転できなかった。下痢になった。自宅では、ひどく疲れた容態になって、トイレ以外は動こうとしなかった。当日午前11時頃に反応が現れ始めて、私たちが帰宅した時は気分が良くなっていた。午後8時、彼は長い横たわっていた。吐き気やむかつきはなくなったと言ったが、弱っているように見える。翌日、少しめまいがしたが、だいたいにして気分が良い」この治療の最初から最後まで、彼は大変に熱心でした。吐き気を感じた時には熱狂的になって、MMSが働いていると信じました。次の日、彼は気分が良くなって信じられないと言いました。

夫人は夫の苦行をずっと最後まで通して観ており心配していましたが鎮痛剤がマラリア症状を隠していることに気づいていましたから、何かしなければならぬと気遣っていました。彼女がMMSを摂取する時は、ソロモンが側についていまし

た。彼女のめまいはソロモンより軽かったのですが、2日目はずっと吐き気をもよおしました。けれども、最後には大変に気分が良くなって感激していました。今年でこんなに気分が良いのは初めてで本当の自分を感じているようですと話しました。マラリアが鎮痛剤によって隠される時は、重症状態にあることは確かであって、それゆえ、MMSによる反応が強いのです。けれども、もっと少ない量のMMSを2~3日かけて摂取することによって、強い反応を避けることができます。彼らはいつも多忙で、治療に長く時間をかけることができなかつたので、治療を急ぎました。

私がアフリカにいた間は私が誰と関係しているのかは問題ではなかつたようです。人々は喜んで私を信じてくれました。私は彼らの利益に反することはしないことを知っていたか、またはそのように感じていたのではないかと思います。ソロモンのクリニックで過ごした期間は非常に生産的であつて、MMSについて詳しい情報を習うことができました。ピーター運転手がカンバラへ行つてから、1日後に帰着しました。また、ソロモンがピーター用にと一部屋を用意しました。このクリニック内ではピーターは優れた助け人でした。MMSの混合を手伝ったり写真を撮ったりしながら、MMSのデータを最大限に習得しました。数ヶ月後、ソロモンはピーターが使用人の女性の1人を強姦したと非難しました。その女性は妊娠していました。ピーターはそんなことはないといつて否定しました。私が同じ家に滞在していたので、変な音がするとか、女性が泣いているのを聞くとか、何かに気づくはずですが、それでも何も聞こえなかつたのです。私が居た間は、ピーターは非常にまじめな人であると観ていました。それで、私は彼が自分がしたのではないと言つた時にピーターを信じました。しかし、私が奇妙に思つたことは、滞在期間中であつても、ソロモンが次から次へと使用人を首にしたことです。私と一緒に働いて、しっかりと仕事をした人たちが首になりました。首にした理由が分からなかつたので、彼が使用人の女性を強姦したと発言した時には、私はその非難に対して疑問を抱いたのですが、ソロモンがクリニックの経営者ですから邪魔をしないようにと気をつけました。ともあれ、私たちは滞在期間中に500人以上を治療しました。ソロモンは、クリニックへとやってくる人たちは白人を期待しているので、ここに留まって援助するようにと私に頼みました。白人が治療しているの、現地の人たちはMMSをもっと強く信じたようです。私がこの溶液を彼らに与えなくても、ただ私がそこに居るといふだけで、もっと強く信頼したようでした。それで、ソロモンは私が玄関のポーチに立っているだけでも、白人がここに居るといふことで、人々はクリニックに対してもっと信用すると見込んでいました。2004年2月27日、カンバラを離れてネバダ州リノへと飛び帰りました。リノから砂漠の町、ミナへと帰りました。

Life Link Medical Center

Lugujja Church Zone
PO Box 15081
Kampala, Uganda
Phone 077 479 017

February 27, 2004

This paper is to verify that Jim Humble gave Dr. ~~Samuel Mwasige~~ and the staff here instructions and training in the use of the Malaria Solution.

During Jim's stay here from 2/15/04 to 2/28/04 some 400 (EH) malaria patients were treated with the Malaria Solution. Some were given blood tests for malaria and of the blood tests given approximately 40% tested positive. The exact number of patients that tested positive were 25 (EH) patients. All patients that tested positive to malaria were given the Malaria Solution. All those given the malaria solution eventually tested negative for malaria on either the first, or second dose, and one person on the third dose.

All other patients not given the blood tests testified to feeling well within 24 hours of taking the Malaria Solution either the first or second time.

Sincerely,



Rev. Solomon Mwasige
Director

Ev John Tumuhairwe.
Katwe RD Buyaya House plot No 53
Po.box71915
Kampala Uganda East Africa.

Dear Humble,

I hope this letter finds you well and strong. This is John Tumuhairwe. Just to remind you, we first met in Uganda at life link, the first time you came to Uganda, with a Kenyan brother who was with you, when you introduced the malaria solution. I had visited Pastor Solomon and I was staying at the Clinic (Life Link), because I used to live in DRC Congo those days. I immediately got interested in the malaria solution and I joined you and Dr. Emma, to start giving the malaria solution, to people.

I also contacted the Ministry of Defence in Uganda, who wanted, to meet you, but we didn't make it I think due to some other arrangements Pastor Solomon had. You gave me a bottle of malaria solution, which I then took to DRC Congo and it did a lot of miracles and wonders to the people I gave to drink.

This was after we treated and HIV positive woman, whose CD 4 count had lowed so much, but she recovered immediately and her CD 4 was risen from 50 to 200.

When I came back to Uganda, I took some malaria solution to the government chief chemist, Mr. Onen, who is new in Japan for one year course. He tested it and gave me a Certificate for it, whose copy I later gave to Pastor Solomon to give to you, but I also sent you a copy by mail.

Later when I started living in Uganda, I asked you to give me permission to use malaria solution which you did and sent us ten bottles of malaria solution, to use with Dr. Emma after you found out, that he had stopped working for Pastor Solomon's Clinic. It is part of these bottles, that I have used to go to the Ministry of Defence here in Uganda. I have been treating soldiers here who are HIV positive and the results have been good. I am also working, with other organizations, and the branch of World Vision International in Uganda to test on HIV positive patients, in their care.

As I mentioned to you later I am intending to rung the first Holistic Healing Centre in Kampala-Uganda. We shall use the humble health drink (malaria solution) as our major treatment.

Yours in bond of love for Christ Jesus.
God Bless you.

Ev. John Tumuhairwe.

第7章

引き続きMMSについて

ミナに戻ってから、思いつく限り、多くの人たちへEメールを送り続けました。アメリカ大統領、ビル・ゲイツ、博愛主義運動をしている人たち、オブラなど、慈善活動をした多くのTV番組出演者にEメールを送りました。

継続してMMSの小瓶を送り出しては、4オンス入り(350回分)小瓶を20ドルにして、町の住民には5ドルで販売しました。後になって、濃度を高くした時には、4オンス小瓶(450回分)にして同じ値段で売りました。

時間がたつにつれて、人々がさまざまな健康問題について私に話してきたので、MMSの新しい用途を発見し続けました。私は人生を通して歯の問題に悩まされてきました。ほとんどの歯がなくなってしまい、入れ歯をしていました。歯ぐきは弱くて、歯はぐらぐらしている状態でした。時には触れると痛くて、2本くらい抜かなければならないとひんぱんに思うくらいでした。それでMMSを使って歯を磨くことにしました。私はMMS6滴、茶さじ半分の酢、3分間待ってからコップ3分の1の水を加えて混合液を用意し、それを使って歯を磨きました。そしてまたビックリしました。痛みと感染状態が数時間後にはすっかりなくなっていました。1週間以内には歯ぐきが硬くなりました。最後に歯を抜かなければならなかった時には、歯医者は1時間かけてこの歯を抜かなければならないくらいでした。歯ぐきが非常にかたくて、歯が顎骨に深く組み込んであって、ペンチを使っても簡単に抜けなかったのです。とにかく抜けないので、私はそのままにしておこうと思ったのですが、ついに抜いた時には、その歯は完璧に健康そうに見えました。歯医者は私よりもっと驚いていました。

この時以来、多くの人たちが口腔の衛生用にとMMSを使い始めました。使った人たち全員が私と同様の効き目に気づいて、健康な口を維持しています。MMSを使って歯を磨くだけで、歯ぐきのはれ物を治した人もたくさんいます。

次のアフリカ旅行のため、資金集めのために、アーノルドが活動していることは知っています。私が言いたいことは、もし彼が往復旅行券と滞在費のための資金を提供するなら、私はどこでも旅行できる状態にあったことです。私は多くの政府官庁や病院と話しを続けて、臨床試験をしてくれる所を見つけました。アーノルドの論点は、先方から招待されるのであれば、アフリカのどこでも行ってもいいということでした。彼の話によれば、いつも十分なお金があるのだから、招待状が必要であると主張しました。結局、この招待の話で数年間も動けなかったのです。ピーター・ムワンギがケニアの病院が臨床試験を行ってもいいという内容の招待状を受け取りました。

ピーターはケニアとウガンダで私の運転手であったことを覚えておられるでしょう。私は彼にMMSの配合のしかたを教えました。私たちは血液検査前と後に100人のマラリア患者を対象にして、私の滞在費込みで20,000ドル以下の経費で臨床試験を実施できたかも知れませんが、資金はありましたが、アーノルドがケニア行きを許可しませんでした。そのかわりに、タンザニアで色々なプロジェクトを進

めているフロイド・ハンマーと彼の夫人を手伝ってほしいと言いました。そこでは数ヶ月もの間臨床試験は行われていません。後になって臨床試験が最後まで行われなかったことが判明しました。当時は、とにかく臨床試験を行うことを目標にしていたのですが…。ピーターを通してそれが実現できたのでしょうか、結果がどのようになっても、アーノルドの指示に従わなければならなかったのです。

1年間で何度も繰り返して、マラリア・ソリューション団体からフロイド・ハンマーへとお金が送られたのですが、彼はその用途についての報告を一切送ってきませんでした。ピックアップ・トラックの購入や大量の食料品の支給などにもお金を使いました。フロイドがアメリカの仲間へと報告書を送った時でも、私たちの団体が彼を援助したことについての感謝の表現が含まれていないのです。彼はマラリア患者の治療について話しましたが、MMSを使って患者を治療したとの通知はありません。しまいには、アーノルドがもうこれ以上資金を送らないと発言しました。しかし、彼に送った資金を使ってケニアでの臨床試験を完了させて、誰もが請求する証明書を用意することができたのです。フロイドにお金を送ることは援助にはならないと慎重に言い続けましたが、アーノルドが耳を傾けるようになるまで1年以上かかりました。

それから、ピーターが熟練してから治療活動やMMSの配給が充分にできるようになったので、彼を採用するようにとアーノルドに奨めました。ピーターはMMSを試してもいいと了承したいくつかの病院を移動していました。彼は教会、孤児院、病院、クリニックを訪問することができたでしょう。彼らはピーターを信用して、多くの人たちは溶液を自発的に試してみようとしていました。フロイドとくだらないことでやりとりした同じ期間には、ピーターは数千人を助けたらうし、数十の団体がMMSを使用したことでしょう。残念ながら、私の提案はすべて無視されました。アメリカ人ではなく、現地人のピーターを雇うことは、経費がほとんどかからないことです。飛行機券を買わなくてもいいし、彼は月100ドル以下で働いたでしょう。ガソリン代と運営費を支払い、大量のMMSを出荷しても、総経費は外国人や伝道者の経費の10分の1になるでしょう。彼は私たちが望むことを確実にやり遂げたことでしょう。

アーノルドはピーターを信用しませんでした。会ったこともありません。私は1ヶ月間、彼と一緒に毎日働きました。私が帰国する頃には友人同士となりました。一方では、フロイドは私たち団体の資金数千ドルを受け取ったのですが、感謝の一言も表しません。フロイドに支払ったお金は、私たちが知るかぎり、まったく役に立っていませんでした。

アーノルドは自分のやり方ですべてを進めなければならないと常に言いながらも、何度も何度も失敗を重ねました。彼はある若者を雇ったのですが、反対にこの若者が私たちに敵対して、マラリア・ソリューション財団の非営利事業認可手続きを妨害しました。それから、ウェブサイトを作成するために、数人雇いました。彼らは1年間働いたのですが、いまだに貧弱なサイトです。また別の人を雇って、賃金を前払いしてサイト制作を担当させましたが、何も実行されませんでした。こんなに時間をかけてもサイトが立ち上がらないのです。アーノルドがウェブサイトを作るといってから6年たっていました。この部分を書いている現在でさえも、サイトができあがっていないのです。

彼はフロイド・ハンマーに数千ドルを送りました。それでも、MMSを使ってマラリア患者を治療したことに関するデータや感謝の言葉がぜんぜん送られてきませんでした。資金を送っては、アーノルドは損をし続けました。もし損したお金を使ったなら、ケニアで多くの臨床試験を実行して、第3者に見せるための証明書を用意することができたのです。彼は再び失敗しても、すべては彼の方法で進めなければならないと、頑強に主張し続けました。スポンサーは彼が団体の運営をコントロールするかぎり、今後も寄付を続けてくれるというのが、彼のお題目でした。MMSを流通しなければならないといつも公言しながら、実のところMMSの流通と使用を妨げた人はアーノルドでした。私はマラリア・ソリューション財団役員会の一員であるけれども、1企業と同じように運営しなければならないと、彼は私に話し続けていました。結局は自分が社長であり、彼が指示することに従って物事を進めるということでした。彼とジョンは運営方法について私は口出しすることはできないといい続けました。彼らと論議する必要もないと。数週間前または1年前の件について話し合うようなことがあれば、彼らは口をそろえて私の記憶が悪いと言いました。そして、何か話し合うことがあって、私が何か言おうとすると、彼らはいつも叫び始めます。とにかく考えを伝えることができないのです。私が静かにしている限り、すべては静かに進行しました。私はこの団体を離れることができたし、そうすべきでした。しかし、彼が援助金を受け取るので、アフリカへ行ってMMSの効力を実証するから世界が受け入れるであろうと常に約束しました。この約束事項がいつも私の目の前にあったので口を閉じ続けました。フェアにするために、私が最後のアフリカ旅行から帰ってきた時に、アーノルドが電話をかけてきて、運営方法についていくつかの質問をしました。彼は私の意見がほしいというのですが、また話し合ったことが進むにつれて、私の意見に関係なく、自分がやりたいように実行していました。この時点までは、私と一緒に活動できるのは彼しかいませんでした。ですから、私は最終的に本を著わすことを悟りました。

世界保健機関(WHO)と話し合う

ケニアとウガンダへ行く前に、私は多くの手紙を世界保健機関へと送りましたが、彼らは明らかに少しは興味を持っていることを示すような対応をしました。数多くの手紙の中の1通の返答として、マラリアに効くかもしれないさまざまな薬を試すプログラムを行ったことを知らせてくれました。そして、MMSに興味があると書いていました。何回か話し合った後で、契約書を送ってきました。少し交渉してから、ある項目を変更した後で契約書に署名しました。それからMMS1本を送りました。約1年半がたって、私がアフリカから戻ってきた後で、WHOから手紙が送ってきました。別の団体の試験所でMMSの試験を行っているという内容でした。彼らはこの試験をある医者に依頼しました。私はこの医者が実際に試験をしているのかどうか興味しんしんでしたが、彼はネズミを使って試験を行ってMMSは機能しないと報告してきました。私は驚いたのですが、この医者はMMSはネズミを治すことができないし、容態を良くすることさえもできないと報告しました。この試験が行われている時に私がその場にいなかったのも、何もいうことができないのですが。この時期には35,000人が現場で治療を受けてから健康を取り戻すことが

できたのに、1匹のネズミを治すことができないというのです。残念ですが、私はこの医者信じません。

WHOの入国を許可しない国がアフリカにあります。WHOが主張するように、ほんとうに世界を援助することに興味を持つのであれば、少なくともMMSの総合試験を行ってもいいのではないかと思います。特にケニアとウガンダでの成功物語を伝えた後ですから、総合試験を考慮しても不自然ではないと思います。この時には、現地で35,000人以上が治療を受けて快復し、全員が気分が良くなって帰って行ったとの報告を受けていました。

私はまた現地での治療活動についてこの医者に知らせましたが、興味を示しませんでした。彼らが少しでも関心を抱いているならば、私を招待して一緒に試験を行うことができるのです。試験を行ったこの医者はMMSの本質についてほとんど何も知らないようでした。触媒機能を持つ酢、さらにはMMS成分の化合物について理解していません。知りたくないのでしょう。彼は何か分からなくても私の溶液を好んで使いました。私がこの医者の無関心度を評価した後で、MMSは効かないということを証明したかったのではと、ただそれだけなのではと理解しました。もう一度言いますが、彼は現地で35,000人のマラリア患者が治ったという事実にはまったく無関心でした。電話で時間をかけて話しましたが、完全に無関心でした。明らかにWHOが求めていたものは、「MMSは効かない」という内容の医師署名済みの手紙でした。

また、イスラエルのある医者がMMSの試験を行って「効かない」と言いました。しかし彼はMMSを活性化するための酢を使うことを拒否しました。彼は酢酸塩と酢は同じものだからと言って、酢酸塩だけ使いました。事実として、酢酸塩は酢と同じものではありません。化学的にまったく違うものですが、彼は自分が一番よく知っていると感じているので酢を使わないのです。

WHOと交わした契約書を見たいと言われるかもしれませんが、契約書は数ページにおよぶので載せられません。その代わりに、WHOからの手紙を次ページに載せました。もし契約書をご覧になりたい方は、ご連絡下さい。契約書の複写コピーを送ります。私の自宅へと来られる時は、オリジナルの契約書をお見せします。

WORLD HEALTH ORGANIZATION



ORGANISATION MONDIALE DE LA SANTE

Telephone Central/Exchange: 791. 2111
Direct: 791. 2665/3193
Email: pinkr@who.int

In reply please refer to:
Prétre de rappeler la référence:

Your reference:
Votre référence:

Mr Jim Humble
P. O. Box 185
1200 Doolittle St.
Mina, Nevada 89422
USA

04 APR 2003

Dear Mr Humble,

Enclosed are two signed copies of the Confidentiality Agreement. Kindly affix your signature on each page, return one copy to us and retain a copy for your file.

We should like to clarify that if and to the extent the idea of using the Preparation OS-82 for a new indication (i.e. in this case malaria, leishmaniasis, trypanosomiasis, filariasis and/or onchocerciasis) is not in the public domain at the time of disclosure by you to WHO/TDR, and if we cannot demonstrate that this idea was known to WHO/TDR prior to disclosure by you, this idea would not fall in the exceptions of paragraph 3 (a) and (b) of the enclosed agreement.

With best wishes.

Yours sincerely,

A handwritten signature in blue ink, appearing to read "Carlos M. Morel".

Dr Carlos M. Morel
Director
Special Programme for Research and
Training in Tropical Diseases (TDR)

この頃、アーノルドはMMSに関する自分のアイデアを押し付け始めました。私はもうこれ以上お金を使ってはいけないというのです。これと同じ状況を何度も何度も通りました。彼は1本のMMS小瓶でさえもコントロールしようとしていました。自分が主役でアフリカのすべての仕事を進めるという見解はよく分かっていました。彼は資金援助候補者となる色んな人々やグループに会い続けていました。私は砂漠の町に住み続けて、これらの援助候補者の1人でさえにも会うことを許可しませんでした。今日、この段落を書きました。アーノルドが、私がMMSの小瓶をこの町の住民2人に与えたことに気づいて、へたをすると私は拘置所に入れられるかもしれないなどと、長い間話し合いました。そして、今日、アーノルドがサンフランシスコへ行ってまた別の候補者に会ってくると言いました。もちろん、私は会えません。

砂漠に居て、Eメールをアフリカに送りながら、現地に友人ができて、2004年3月から5,000人以上のマラリア患者を助けることができたのに、同じ時期に、アーノルドはアフリカで実行する計画について話すだけで、後は何も実現していません。彼はアフリカでの活動用に際限なくお金を持っている（少なくとも数百万ドル）というのですが、私は社会保障からの収入だけでした。私がウガンダから帰ってきて約1年後、屋根の修理をしていたところ、落下して首の骨を折りました。隣町にある病院へとかつぎこまれたのですが、治療のために必要な設備がなくて、次は飛行機でリノまで移送されました。そこで、医者は私の首を開いてチタニウム製ネジを2番目の頸椎にねじり込みました。（映画スーパーマンの主演が折った首骨と同じ位置）このネジは1.5インチの木ネジのようでした。しかも、同時に背中を痛めました。背中はずくに治りましたが、首はなかなか時間がかかって治りません。医者があまりうまく首の手術をしなかったようです。ネジはもう半回転余分にしめるべきでした。6ヶ月たちましたがまだ治りません。医者は首をもう一度開いて、ネジ2本を追加しようと言いました。退役軍人病院の医者は再手術をしなければならぬので、今度は別な方法でやりましようと言ったのですが、それからまた6ヶ月待たされました。私は八方ふさがりのような状態にありました。

カナダの友人、マイケル・ヘイネスが磁石治療を勧めてきました。インターネットを使って調べると、新磁石治療法を使って良い結果を出しているクリニック・グループを見つけました。しかし彼らは高額な治療費を請求します。新磁石治療技術の証拠と古い技術データをできるだけ多く集めた後で、市販されている最強の磁石を購入しました。強すぎて危険な磁石です。へたに扱うと指がつぶれるか切れたりします。この新技術は、最大の治癒力を得るためには、磁性は人体内に完全な磁気回路を作らなければならないという基本概念に基づいて考案されています。

この間、私はアフリカにいる多くの人たちとの交信を続けていました。しかも、さまざまな団体にEメールを送りました。購入した磁石を使って、曲がった鋼板を作りました。この鋼板のS極が折れた骨に近接して、首を通過する完全な磁気回路が生じます。私はこの磁石鋼板をまる5日間つけて、夜は鋼板が動かないようにとベッドの上に座りました。5日目の終わり頃になると、首が膨れ始めました。医者のもとへ行って、レントゲン写真を撮ってもらおうと、骨が完全に治っていました。それで医者は首のブレースを取り外しました。もうこれ以上何もしなくてもいいとのこと。医者が再手術するまで待つことができ良かったと付け加えました。

私が磁石を使っていたことを覚えていない様子でした。関心もなく気にしなかったのでしょうか。彼は実際に私が手術をするようにと望んでいました。彼が待つことを決めたのではなくて、私が手術を拒否したのです。彼の方法に従っていたら手術を受けていたでしょう。

磁気回路の働きについては分かりませんが、強力磁石により接触部の血液が膨張して赤くなることを知っています。無論、余分の血液は治療に役立ちます。磁石をつける前とつけた後に撮ったレントゲン写真は頸椎が5日間で治ったことを証明しています。私はまたアフリカへに行くチャンスが出てくれば、首が治ったので飛んでいけると思って安心しました。

骨折の治療問題を抱えておられるなら、磁石治療法を調べて下さい。

ある日、ギニア出身の人が電話をかけてきました。ギニアに行ってから人々を助けて欲しいというのです。彼は首相夫人を知っているから、政府の認可を得ることができるでしょうと言いました。すでに私たちについて話したようになって、政府はギニアへときてもらいたがっていると話しました。それで、アーノルドと私が彼に会って話し合いました。出発の準備が整っているようでした。次に私がこのギニア人に電話を入れた時に、アーノルドが彼とこれ以上話をしてはいけなと言って、突然、ギニア行きの話が壊れました。アーノルドは相手が自分のコネであると思えず、私が直接話をするを許可しません。彼は叫んだりおらんだりして、私は嫌になってもう耐えられない状態でした。それから、このギニア人は私たちのギニアでの活動内容をすべて指示するという話に収まりましたが、それは私たちが了承できるものではありませんでした。これもアーノルドの話です。結局、ギニア行きは止めました。誰とも話しをしてはいけなと言われることが、どんなに屈辱的なことかお分かりでしょうか。これは2005年初期の話です。

チノが西アフリカのシエラレオネに行く

チノという名の非常に活発な若者が連絡してきて、MMSについてもっと知りたいと言いました。(この時は「マラリア・ソリューション」と呼んでいました。)私は、2005年3月頃、ネバダ州ビーティでチノに会いました。そしてMMSの機能を説明して、混合液を用意して彼に飲ませました。

チノはシエラレオネにいる家族は本流川沿いの土地の大型採金権利を持っていること、マラリアが強烈に広がっており、家族全員がマラリアにかかっていることを説明しました。そこでは多くの人たちがマラリアにかかって死にました。彼はできるだけ多くのMMSが必要であると言いました。私はできるだけたくさん用意すると伝えました。

私たちは当時のアフリカ人が購入できるようにと、10セントの値段に決めましたから、彼に値段を伝えたら、お金を集めることができると言いました。200人ぐらい治療できる量が入っている小瓶を20本用意しました。子供の数を入れれば200人をもっと越えます。私は無料でこれらの小瓶を与えましたが、彼は先で支払うと言いました。

それから、2ヶ月たってから、彼が砂漠の家へとやってきました。そしてシエラレオネへ行ってから、家族が住む村と周辺地域に住んでいる約1,000人ぐらいの現地人を治療したと言いました。それからもっとたくさんの人たちが、MMSを持ってくるようにと現地で待っていると説明しました。現地人にMMSの料金を請求することができなかったと言いました。現地でMMSを売り始めた途端に、政府役人がやってきて売上金とMMSを没収したと話しました。これが東アフリカの現状です。政府はすべてのビジネスとお金全部を取り上げます。金にならない物には目もくれないのです。ですから、うまく切り抜ける唯一の方法は無料で分配することです。



シエラ・レオネのチノの親戚。チノの数百人の治療活動を援助した。プラスチックコップにはMMS混合液が入っている。

そうしないと、政府が製品を没収して、治療を求めている、料金を支払える人に高額で売るでしょう。MMSを無料で提供することが、シエラレオネの現地人がMMSを入手できる唯一の方法であると、彼は状況判断しました。しかしアメリカにいる知人が資金を提供してくれると続けて話しました。後で支払うというのですが、私は代金を請求しませんでした。



MMS混合液を受け取るうとして列をつくって待つ人たち。
皆が重なるようにして待っています。チノの治療活動

私は450回分の服用量が入っている小瓶を100本用意しました。それから、チノと私はリノへ行って、シエラレオネへ荷物を出荷しました。彼は輸送量をクレジットカードで支払いました。私は代金を請求しませんでした。マラリアの治療を受けて快復した人の署名入り手紙を受け取ってくれるように頼みました。そして、彼はシエラレオネへと行ってから人々を助け始めました。3ヶ月後に、5,000人のマラリア感染者を治療した後で戻ってきました。彼はカメラを持っていたので、いとこが治療活動中に数多くの写真を撮りました。戻ってきた時は、署名済みの手紙を持ってこなかったのですが、写真を持ってきました。私たちは彼が手紙を持ってこなくても、彼の頼みにしたがって追加の小瓶を与えることを拒否しませんでした。シエラレオネでの活動場面を写した写真をここに載せています。

ジョンは引き続いてアフリカ行きの資金を提供すると話していました。アーノルドは招待状を受け取るまでは行けないと言い張っていました。彼が資金を持っており、アフリカ旅行と臨床試験の経費を負担するとい続けたので、私は黙っていました。彼らはアフリカの人たちが治療されるところを見たいという私の欲求に頼っていました。それゆえ、彼らは私の技術を利用しながら、発言権は持たせず、小額の旅行費以外は何も支払わなくてもやっていたのでした。私の技術に対しては誰も（実は私のことです）お金を受け取らないと約束しました。スポンサーはアフリカの人たちを助けることだけにお金を使うことを望んでいると、彼らは言いました。それは問題ではないのです。私の技術提供の見返りとしていくらかお金をもらうのが、そんなに利己的なことであるとは思いません。実の問題はスポンサーが誰であるか分からないことです。

彼らはアフリカの人々を助けるための治療活動に資金が使われたと保証したけれども、私の技術を利用してマラウイ国で有名になろうとしていることに最終的に気づきました。それから、彼らは採鉱や世界中に米のたんぱく質を供給する新精米技術を含むいくつかのビジネスベンチャーに乗り出していました。私はどのビジネスにも含まれていません。入りたくないのです。

このMMSの情報を世界に向けて公開する努力を続けるのであれば、いずれは、お金が私の方へとやってくると分かります。そうでなければ、私はこのデータはあまりにも重要であって、特定の個人だけがこのデータをコントロールすることはできないことを知っていますから、そのようにならないように努力します。この情報をできるだけ多くの人たちへと届けるために、私の能力を使って本を出版することにします。



チノが男児にMMS混合液を飲ませようとしている。
ほとんどの子供達は、MMSが何か手品のようなものだと思って、
MMSに熱中している。

第8章

東アフリカのマラウイ

私とアーノルドが設立したマラリア・ソリューション財団はやっと招待を受けることができました。マラウイ政府からではなくて、ビジネスマンのザヒア・シャイクです。彼は優れた博愛主義者であり、私たちのことを聞いた時に人々を助けたいと思ったようでした。それで彼からの招待状とジョンからの資金によって、私とアーノルド、それからアーノルドが雇った2人は、2006年2月、マラウイへと飛んで行きました。



(左から)ジェームズ・クリスチャンセン、ジム・ハンブル、
ザヒア・シャイク、ジョン・ワイオークス

マラウイへと飛び立つ前の夜、私たちは「送別会」のように夕食を共にしました。皆が黙っている時に、ジョンが私に「あなたはアーノルドが言うことに従ってちゃんと行動してください。そうしないとマラウイの援助金が出てきませんよ。あなたは勝手に動く人なので、問題を起こさないように気をつけて」と言いました。私は「わかった。アーノルドに従う」と簡単に返事をしました。それまで、すべてアーノルドの方法でやっていたのに、ばかげた話でした。私にはすでに発言権がないと念をおしたはずなのですが、何度も同じことを繰り返しました。別にはっきりした理由がないのに、ジョンは最後の確認をしなければならないという感じでした。

アーノルドが自分の方法を押し進めて、うまくいかなかった事が多くありました。とにかく私の話を聞きません。

私はこの団体の事業から身を引きたかったのです。このように扱われて楽しいことは1つもありません。けれども、マラウイで病気にかかっている人たちを助けに行く予定でしたから、団体から離れることができませんでした。(もし私

が離れるなら、この仕事は失敗に終わるでしょう。) ジョンの資金援助によって、この仕事を遂行できるのは分かっていたのですが、私の長年の努力と開発した技術によっても実現することができるのです。彼らのいう私は「勝手に行動する」という考えが理解できなかったのですが、その要求に合意しました。約1ヶ月後に帰ってきた時に、ジョンのガールフレンドが私に謝るべきだと言ったので謝ってきましたが、何も変わることはありませんでした。お金をたくさん持っている人はお金のない人を尊敬しない傾向を持っています。お金が私の「生きがい」になったことはありません。私は50年間にわたり数十万ドルかけて、霊的な哲学と宗教を研究してきました。私はジョンやアーノルドがけっして持つことができない、また理解できないものを持っています。私の霊的研究によって、新しい可能性を十分に受け取ることができるようになりました。ですから、最初にMMSを発見することができました。

ザヒア・シェイク(写真参照)は私たちをマラウイへと招待してくれたビジネスマンです。彼は東インド人であり、先祖が数十年前にマラウイへと移動しました。彼は私たちをマラウイの首都の政府官庁街の中のあちらこちらと連れてまわって、MMSの認可手続きを手伝ってくれました。そして、ザヒアのお膳立てによって、私たちはマラウイ政府のMMS認可を取得することができました。毎日、一行が彼の車に乗り込んで、警察署長、検査長官、保健大臣などのさまざまな役人を訪問しました。

私たちが各オフィスを訪れた時、ザヒアは私たちを紹介し、アーノルドがアフリカでMMSを流通させる仕事について話してから、私がMMSの効能について詳しく説明する段取りで会合を進めました。この時は私は10から20分かけてMMSの化学的基本情報について説明しました。説明時間は先方から出でくる質問の数によって変動しました。旅立つ前は、アーノルドはMMSの機能についてマラウイの人たちに絶対に話さないようにと頑強に言い張っていたので、今度の旅はなかなか面白そうだと思いました。これが「勝手に行動する人」となじられた理由でしょう。私たちがMMSの働きについて人々に伝えないのであれば、プログラムを実現することができないことを指摘しようとしていました。これが、私たちの議論の主要点でした。



著者がMMS混合液のつくり方を刑務所で働く看護夫3名に説明している。

私はMMSの機能について説明してはいけなと止められていたのですが、最初の役人に会った時、アーノルドは「こちらが発明した人で、MMSの働きについて話します」と言いました。彼は数ヶ月も機能について話してはいけなとしつこく話していました。しかし会談中にMMSの詳細について話さなければならなと、とっさに雰囲気を感じとったようでした。これはアーノルドが完全に物事をコントロールしなければならなとすることを示す多くの実例のうちの一つです。

私は医者と科学的知識を持つ役人は、MMSの機能について何も分からずに使用を許可することはないであろうと理解していたので、別にこの件について話しませんでした。ある時、アーノルドは「あなたが機能について話し始めるのなら、すぐに空港まで連れて行って、帰ってもらおう」と言いました。（ギニア行き話を進めていた時です。）

次に話しが合わない論点は、現地では私たちがMMSを投与するのではなくて、現地の人々が直接マラリア患者にMMSを投与できるように訓練しなければならなとということです。けれども実際はこのようにできません。アーノルドがまた話しを変えると分かっていたから、この点について突っ込むことを避けました。溶液を持って行くなら、人たちに投与できるように準備しなければなりません。そうしないと、人はその溶液を信用しません。結果はいつも同じで、混合液を直接皆にわたさなければなりません。アーノルドは頭がいいので、彼の方法でやらなければならなと観ていますが、現地に行って「あなたがこれを人にあげなさい」の方法はアフリカでは無理です。彼らは心配しながら溶液を与えていると見なします。

ですから、さまざまな場所へと着いた時に、発明家として、私は混合液を直接手渡して、アーノルドはそれを見てすぐに理解したようでした。ある役人を訪れた時は、たいていは皆の目の前で混合液をつくって見せてあげました。信じられ

ないかもしれませんが、私たちが会ったすべての役人は、混合液を自主的に飲みました。それで、マラウイで最初に実施したことは、MMS混合液を直接人々に与えたことでした。

それから、最後は刑務所へと行って、混合液をその場でつくって人々に与えました。私たちは滞在期間中に混合液の作り方を誰にも指導しませんでした。基本的には、私が言った通りの方法で物事が進みました。しかし、誰もこの事実を認めません。むしろ、アーノルドの指示に従わなければならないという決意が強くなっただけでした。現地では状況が急激に変わります。彼らは私が混合液を自分でつくって人に与えることを観てから効き目があると分かったら、混合液をつくる方法を尋ねてきて自らがつくろうとします。ちゅうちょしながら溶液を調合してはいけません。

マラウイでの滞在期間中に、アーノルドと一緒に連れてきた2人を首にしました。1人は写真家で、名前はジェームズ・ハックバース、もう1人は友人のジョン・ワイオクスでした。細かに話さずに重要部分だけお伝えします。町中の最高級レストランで最悪に気まずく思わされるような出来事がありました。全員が背広を着ており、店内では私たちだけが白人でした。アーノルドは立ち上がってジョンに向かって叫びました。その理由は分かりません。彼が叫び始めたらお店全体が死んでいるかのように静かになりました。私はただ座ってお皿を見つめており、顔もあげられないように困ってしまいました。最後に、アーノルドは怒りながらレストランから飛び出て行きました。それから普通の会話が静かに交わされるような状態に戻りました。翌日、レストランでジョンがザヒアに何か話したことが分かったのですが、ザヒアはよく聞こえなかったようでした。私も聞こえなかった。実際にアーノルドだけが何かを聞いたようですが、ジョンさえもなぜアーノルドがそんなに怒ったのか分かりませんでした。現在まで、ジョンが話したことが分からないし、首の理由も分かりません。

3日後の晩、アーノルドは少し酔っていたようでした。彼はジェームズの部屋へと入って行って写真の質が悪いと首にしました。私も彼が撮った写真を気に入っていたのではなかったのですが、もっと正確にどのような写真が必要なのかを彼に伝えれば良いと思いました。この首の事件の後で、アーノルドはできるだけ早く帰国するようにと彼らに伝えました。首になった後の数日間、アーノルドは彼らに対してひどく乱暴でした。そのような扱いに耐えることができないと、私も彼らと一緒に帰るべきであると思いましたが、どうしてもマラウイのプロジェクトを成功させて、友人の治療に関する完全性を見せることができると望んでいました。私の決定および選択事項は、世界中でMMSを使ってもらうという考えを前提としています。

ケニアで起こったことと同じ問題が発生しました。私が調合した混合液が弱すぎたのです。最初に刑務所内の臨床試験として、受刑者を治療している時に、治療を受けた人たちは2日目には戻ってきて、気分は良いといいましたが完全に治っていませんでした。それで服用量を増やしました。また、別の問題がありました。私たちはビタミンCが添加されているジュースを買いました。添加されているビタミンCはMMSの効果を75%ぐらい下げます。私はこの事実をすでに証明していましたが、それまでは全然問題でなかったことをすっかり忘れていました。このジュースの中にビタミンCが含まれていることが判ったので、私は生ジュースを使

って服用量を増やしました。それから、マラリア治療率が100%へと上昇し始めました。



女性受刑者2人が乳児にMMS混合液を飲ませている。
乳児2人の病気が24時間以内に治った。

現地の刑務所では臨床試験をごく簡単に行うことができるし許可も簡単に出ると、誰かに教えてもらったので、実行することにしました。首都リロングウェ市にあるマウラ刑務所を訪問しました。刑務所の管理人が医療補助員と話してもいいと許可してくれました。刑務所の医療補助員のアシスタントの名前はS.S. カマンジャと言いました。彼はアシスタントのタイトルがついていましたが、医療担当者は彼しかいませんでした。彼が臨床試験の準備を許可してくれました。私たちはチップ数ドルを何回か渡すと大変に協力的になりました。実のところ、このチップをあげる前であっても協力的でした。本当に愛想のよい人だったので、チップをあげて少しでも助けになればいいと思いました。刑務所から出て、血液のサンプルを検査してくれる試験所かまたは病院を探し始めました。刑務所とは関係していない別の組織を利用することは非常に重要です。それから、やっと、国際団体であるMARSという名の病院を使うことになりました。MARSは医療航空救護サービス（メディカル・エア・レスキュー・サービス）の略語です。ジョセフ・アリー医師が院長であって、親切に対応してくれました。私たちの意向とMMSの実績について説明しました。混合液をつくって見せました。彼はマラウイのその他の役人と同じように混合液を飲みました。それから、ポール・マカウラという名の試験技士を紹介してくれました。

アリー医師は、ポールが仕事をするので、彼に賃金を直接支払うだけで大丈夫であると言いました。私たちは6日間の労働で300米ドル、それとガソリン代と他の経費を支払うことに合意しました。アリー医師はこの医療試験技士がMARSの試験室と顕微鏡を使って、刑務所から持ってきたサンプルの血液検査を行うことを許可してくれました。すべて無料で使っていていいといわれるのですから、彼は優しい方であると理解しました。マラウイ全国を通して、私たちが面会した役人全員がMMS1回分の混合液を飲みました。もしこれが薬であったなら、彼らはおそらく

飲まなかったでしょう。ミネラル・ソリューションにすぎないMMSを自主的に飲もうとしないのであれば、人々に飲ませようとしないうでしよう。私の意見ですが、これらの役人は、私たちの人々を助けようとする活動を勇気を持って支援してくれました。私たちの言葉を信じて、MMS混合液を自主的に摂取しました。

医薬品・毒物委員会がMMSを薬ではなくミネラル・ソリューションとして簡単に認可した理由は、私たちがこれは薬ではないと説明した時に、多くの役員がちゅうちょしないでMMS混合液を飲んでくれたことであると信じています。彼らがこの効果を信じて、人々にも役立つようにと前向きに協力してくれました。翌朝、刑務所へと戻りました。まずカマンジャが男性10人を連れてきました。溶液6滴と茶さじ4分の1の酢を混ぜて、3分間待ってパインジュースを加えました。彼らがこの混合液を飲んだ後で、アーノルドが患者の体温を計りました。最初に分かったことは、耳につける体温計はアフリカでは使えないということです。アフリカ人の耳、特に受刑者の耳の洗い方が違うか、またはまったく洗わないことが原因だと思えます。

運良くプラスチック片を持っていたから、それを額につけるだけでよかったのです。10秒以内にこのプラスチック内に読取値が出てきます。それで、アーノルドはこのプラスチック片を使って全員の体温を調べました。プラスチック片体温計がうまく働いて、全員の体温を調べることができました。皆の体温は平均してかなり高かったのです。ポール試験技士は皆の指に針をさして、血液サンプルをとって名前がついているスライドにのせました。これらのスライドがMARS試験室へと送られてから、ポールは顕微鏡で1つ1つ調べました。私たちは血液サンプルが採取された後で、10人のデータを慎重に記録しました。それから、私はプラスチックコップに混合液を用意して、アーノルドがそのコップを各患者へと渡しました。

血液サンプルの採取、データの記録、そして各患者が混合液を飲んだ後で、他にマラリアにかかって苦しんでいる人を知っているかどうか尋ねました。カマンジャは他に19人いると言いました。「全員連れてきて下さい。皆に飲んでもらいましょう」といって、皆がきた時に混合液を与えました。それから、私たちは午後3時頃に結果を見るために刑務所に戻ってきましたら、ほとんどの患者の調子があまり良くないのです。気分はいいが、熱が続いている様子でした。1人だけ熱が下がっていました。私は何かおかしいと思いました。私たちはもう一度、血液検査を受けた10人と、検査を受けなかった追加の19人に混合液を与えました。MMS6滴が入っている混合液です。

翌朝、全員を検査したら、まだマラリアがポジティブと出ました。ちょうどこの時に、ケニアで溶液15滴を使って治療したことを思い出しました。アメリカではずっと健康維持のために6滴だけを使っていました。うまくいかなかった原因が分かり始めました。それとビタミンCが二酸化塩素の効果を下げることが証明した実験も思い出しました。その晩、私はビタミンCが入っていないジュースを探し始めました。マラウイ刑務所は強制収容所のようなです。刑務所は鉄線で作られたフェンスとその上部にある有刺鉄線だけで囲まれています。刑務所の各コーナーにある小屋には武装した警備員が待機しています。私たちが刑務所にいた時、彼らは女性受刑者の宿舎を見たいかどうかと尋ねてきたので、「もちろんです」

と答えました。女性受刑者は1 - 2枚の毛布だけを使って床の上に直接横たわっています。アーノルドは彼女たちのためにフォームマットレスを持ってくると言いました。子供を持つ女性は、子供と一緒に刑務所に入れられます。警備員は刑務所に分配される食料品のほとんどを猫ばばしてどこかで売っています。ですから、受刑者が食べるものはほとんど残っていない状況です。彼らはじゃがいもや野菜数種を育てています。この宿舎には便所が1つしかありません。そこでは、水がいつも流れています。むき出しの土床に寝ていても、受刑者の身なりは清潔に見えます。彼女たちは男性から見えない所にある水せんの下で体を洗っているようです。



女性受刑者の寝床。子供たちは母親と一緒に生活している。

男性受刑者の1人が高熱を出しましたが、血液検査はネガティブと出ました。(マラリアがなくなったこと) 彼にはマラリアの症状が見られたので、私たちは仮病を使っているのではと疑いました。けれども、彼にMMSを与えた後で、1晩で体温が平常に戻り症状がなくなっていました。ポール試験技士は、2回目に体温を計った時はマラリア原虫は見当たらなかったと言いました。ともかく、マラリアでなくても、彼は元気になりました。また、治療を拒んだ人がいました。この人も刑務所にいたので、他の人たちと一緒に名前と体温を記録しました。数日後、彼は同僚受刑者全員が快復しているのを見て、自分も治療を受けたいと言いました。それで彼に混合液を与えたら、次の日は元気になりました。

これで食料品店で買ったパインジュースにはビタミンCが含まれていることが判明しました。前に説明しましたように、ビタミンCは必要な二酸化塩素の生成を妨げます。私たちはパイナップルとジュースを買ってきて、生ジュースを作りました。この生ジュースを使って、溶液を18滴に増やしました。

翌日、18滴混合液を与える前に患者を検査しました。最初に血液検査をした10人のうち1人はネガティブと出ていましたから、気分は良好、残り9人は気分はよくなったが調子はよくないという状態でした。2回目の血液検査をしまし

た。その結果はマラリア原虫はまだいましたが、いくつかのゆがんだ形に変化しているように見えました。それで、溶液を18滴へと増やして生パインジュースを混ぜて全員に与えました。この後で追加の19人にも同じ混合液を与えました。

試験技士が行った血液検査はすべてネガティブと出て、全員は気分がいいと報告しました。残りの19人も気分爽快であると言いました。それから、別に10人を選んでから検査しました。ポール試験技士が血液を採って、MMS18滴と生パインジュースの混合液を飲ませました。アーノルドも一生懸命に動いて色々と助けてくれました。私が混合液を用意して情報を記録している間に、混合液を患者に渡したり体温を調べていました。翌朝（24時間後）、全員の血液検査がネガティブと出ました。そのうえ一番最初に治療した患者全員も続いて気分が良いという容態でした。

ウガンダでは、マラリア原虫を完璧に殺す確実な方法は1回毎に溶液15滴を使って、1時間から4時間後に2回目を投与することであるとすでに分かっていたのです。今回も最初からこの方法を使って治療を始めていたら、問題は生じなかったと思います。私は年をとって記憶力が衰えていると告白します。この時はウガンダでの治療体験から2年たっていました。この治療活動の詳しい内容を忘れてしまっており、もう一度習わなければなりませんでした。アメリカでは健康維持のためにたいていは6滴を使いますが、何らかの健康問題を解消するためには6滴以上を使います。ウガンダで摂取量15滴を2回使ったことを忘れてしまいました。この失敗を2度と繰り返さないように気をつけますが、私より頭のいい方がこの方法を次回に使っていただけるように望みます。刑務所での臨床試験が終わる時に、MARS病院のアーリー医師がポールの血液検査結果を評価してから、私たちに肯定的な内容の手紙を送ってきました。最初にマラリアがポジティブと出た患者全員が、MMSを使った治療後ではネガティブとなって、気分が良くなったことは事実です。最初の患者10人は数回続けて混合液を摂取しました。しかし、最後には全員ネガティブと出ました。もう1度繰り返します。第1グループの患者が治るまで余分の日数がかかりましたが、治療を受けた患者全員の病気が治りました。100%の治療率です。

マラウイに滞在している間に、わらぶき小屋が集まっている数ヶ所の村を訪れました。そこではとにかく色々な病気にかかっている人たちを治療しました。何かが悪いと訴えてくる村民に混合液を与えました。これはミネラル・ソリューションにすぎないので、できるだけ多くの人々に与えました。

ほとんどの村民はある種の病気を抱えていました。水は汚れています。気温が高いのでさまざまな病気が発生します。村民は草の上や小川を裸足で歩きまわるので、病原菌が皮膚を通して体内に入ります。翌日、私たちが村に戻ってきた時、ほとんどの病気がなくなっていました。ある人は回虫を吐いたり、ある人の排泄物には死んだ回虫が混ざっていました。将来に、私たちは十分な量のMMSを用意してから村をもう1度訪問したいと思います。

アーノルドが連れてきた2人を首にした後で、彼は積極的に仕事を遂行しました。彼が先導役となりました。この時には、私は彼の動きに合わせて仕事をしているように感じました。活動内容に関しては発言権はありませんでしたし、アーノルドがすべてを決定して実行に移しました。それで、刑務所で治療を行って、アー

ノルドに助言しました。私は技術的な仕事をして、アーノルドが全体の仕事の遂行をコントロールしました。この溶液が最初に効果を発揮しなかった原因を調べて、必要な調整をはかる以外には、私がここにいる必要がなかったのです。彼がすべてをしきって遂行して成功しました。

アーノルドが「あなたは他の方法でできないのですか」と、いちど私に聞いてきた時があります。2人が同時に同じことをするのはないので、私は多くのことを違う方法でするでしょうと答えました。しかし、私が彼の活動方法に合意するかどうかと聞いてきた時は、別にあらさがしをする必要がないと思っていました。私は彼が連れてきた2人を首にしたやり方とMMSの小瓶を完全に管理しようとするものを除いては、反対するものは別になかったのです。ある村にいた時に、私はMMS 1本を村長に渡そうとしましたが、アーノルドが次の日にまた戻ってきて治療を必要とする人に2回目分の混合液を与えるほうがいいと主張しました。私は何度も助言しましたが、結局、私たちはその村を再訪しませんでした。ですから多くの村民が治療を受けることができませんでした。このような状況になって、予定したことを実現できないとなると、私の気分が転倒します。

私の目的を理解していただけたと思います。村民をただ単に助けることが目的ではないのです。確かに治療をしている時は楽しいのですが、ほんとうの目的は、世界がMMSを積極的に使ってアフリカのマラリアやAIDSなどの健康問題を解消することができるようになるまで、MMSの効き目を十分に証明することです。これが実現する時は、世界はアフリカのために使っている資金を大幅に減少させることができます。現在、世界はアフリカのためにばく大な額（数十億ドル）の資金を使っています。アフリカの貧困の最大原因はマラリアです。毎年5億人がマラリアにかかって働けない状態になります。それから、別に数百万人がAIDSやその他の病気を抱えています。

数百万人がばく大な数の病人の看護にあたっています。アフリカのどこにいても、非営利博愛主義団体が人々を援助している姿を見ることができます。数十億ドルのお金を使ってもいまだに十分ではありません。このような病気をコントロールするか撲滅することができるなら、ばく大な援助金を使わずにすみ、代わりに他の目的のために分配することができます。

私たちはマラウイで多くの仕事をしました。いくつかの政府機関がMMSをミネラル・ソリューションとして認可しました。これは重要なことでしたが、私たちが治療した人の数は100人以下でした。政府による認可を得た後で患者10人を対象にした臨床試験を2回行ってから帰国しました。それで、実際に臨床試験3回を実施したことになります。それから、6ヶ月後、政府機関であるマラリア委員会が行った臨床試験によって、私たちの臨床試験と同じように、100%の治療率が確認されたことが分かりました。

マラウイ全国の患者を治療できる見込みがあります。私たちは実現できるように望んでいます。アーノルドが貢献しました。データを得るまでがんばりました。けれども最初の目標へと到達するには、まだまだ多くのことをすべきでした。村長や村民にMMSの使用法を教えるために、もっと多くの時間を費やすべきでした。私たちは3つの村しか行きませんでした。1村の1人でさえも訓練することはできませんでした。この訓練が本当の目的でした。私たちはおそらく資金不足となって帰らなければならなかったのですが、私は続けて滞在したかったのです。帰ら

なければならぬと指示が出ましたから帰国しました。帰国前の活動予定は数千人を治療することでしたが、臨床試験3回を実施した後で帰りました。

2006年4月27日、アメリカに戻りました。再び砂漠町のミナへと帰りました。帰国してから、数多くの約束ごとが出てきましたが、マラウイでは何も起こりませんでした。私はアーノルドのために、精鉱所の修理班の班長として働きました。この仕事は本書を書いている間の小額の収入源として良いチャンスでした。ジョンは精鉱所の運営費のほとんどを負担していました。(マラウイで首になったジョンではない。)ジョンはアーノルドの友人であって、ある期間にわたって資金援助をしていました。彼らは精鉱所の修理と運営、その他必要な仕事のために数十万ドルを使っていました。

彼らはアフリカを再訪することについて話を続けるのですが、すぐに実現するよう見えません。投資金をいかすためにも、アーノルドは精鉱所の経営に従事しなければならないのです。私の唯一の目的はMMSを世界に紹介することです。ですから本書を著わしました。

この時点まで、アーノルドは私と彼が見つげてくる新しいスポンサー候補者との直接の話し合いを許可しませんでした。彼と同様に私は人付き合いが下手だと思っているのでしょうか。自分の弱点を他人に移して、相手も同じような弱点があると見ることは自然なことかもしれません。状況が変化しました。第3版に追加した次の段落をお読み下さい。

私はマラウイ国すべてのマラリア患者がMMSによる治療を受けることを心から強く望んでいます。アーノルドとジョンは活動資金を提供すると続けていっていますが、アーノルドは私が1人でマラウイへ行くことを嫌っていますし、私が本を著わしているこの時点では、彼も行く準備ができていません。けれども、マラウイのすべての患者を治療してから次の国へと移るにしても、彼らはMMSを秘密として扱っています。秘密にしながら、アフリカ全体のマラリア患者を治療することを望んでいます。私は世界にすべての情報を公開すべきであると考えています。世界中の団体や人々がMMSの秘密を知ったとしても、MMSで治療できるすべての健康問題を解消するために、アフリカ人が治療を受けることを妨げるべきではないと理解していただけるようお願いいたします。本書ではできるかぎり多くの情報を提供いたしました。皆様の生命を守ることができます。本当に守ることができます。お試し下さい。

MMSをお買い求め下さい。本書に紹介しています私の正確な調合方法に従ってMMSを作られるよりは、直接にMMSをお求めの方は、下記の販売会社から購入して下さい。

4オンスボトル(実際には5.5オンスの重量 1オンス = 28.35g)を20米ドルで販売しています。(郵送料は別)現在まで価格を下げてきました。あまりお金の心配なしに、ご購入いただけるように価格を設定しております。各ボトルには1回服用分6滴として450回分の溶液が入っていますので、1年間はお使いいただけます。安定酸素とくらべますと、大量の溶液が1本に入っていることになります。ですか


ら、ご自分で作られるか、ご購入下さい。そして多くの人々へと分配して下さい。
米国内だけでなく、日本へも直送します。

MMS情報については：

ジム・ハンブルの日本語ウェブサイト：
<http://www.jhumble-japan.health.officelive.com>

MMSのご購入先及び日本語情報：

<http://www.mmsasia.net>
Emai: info@mmsasia.net



MALAWI BUREAU OF STANDARDS

Our file code: BS/LAB/35/4 Our date: 06-04-07
 Your file code: Your date:

Address, Correspondence to the Director-General

Malaria Solution Foundation
 P.O Box 719,
 Lilongwe

Dear Sir


MS SOLUTION AND NALI VINEGAR

We submit our Report No. 354/AJ 134 on the analysis of the above mentioned sample which you brought to the Bureau.

Our receipt **No 42483** for **MK2,791.25** being the cost of testing and reporting is attached for your kind attention.

We thank you for using our facilities and look forward to serving you again in future.

Yours faithfully


 Patricia N Nayeja
 Senior Scientific Officer
 For: **DIRECTOR-GENERAL**

PNN/ljm

A STATUTORY CORPORATION ESTABLISHED IN 1972

Postal Address	Office Address	National Tel	01 670 488	National Fax	01 670 756
P.O. Box 946	Medic. Prod.	International Tel	+265 1 670 488	International Fax	+265 1 670 756

マラウイ保健基準局がMMSサンプル試験を実施した時に発行した手紙



PHARMACY, MEDICINES & POISONS BOARD

ALL CORRESPONDENCE SHOULD BE ADDRESSED TO THE REGISTRAR

Telephone: (265) 01 750 108/755 165/755 166

P.O. Box 30241
Capital City
Lilangwe 3
Malawi

Fax: 265) 01 755 204

E-mail: admin@pmpbmw.org
www.pmpb.malawi.net

Ref: PMPB/PR/114

12th April 2006

The Manager,
The Malaria Solution Foundation,
USA.

Dear Sir,

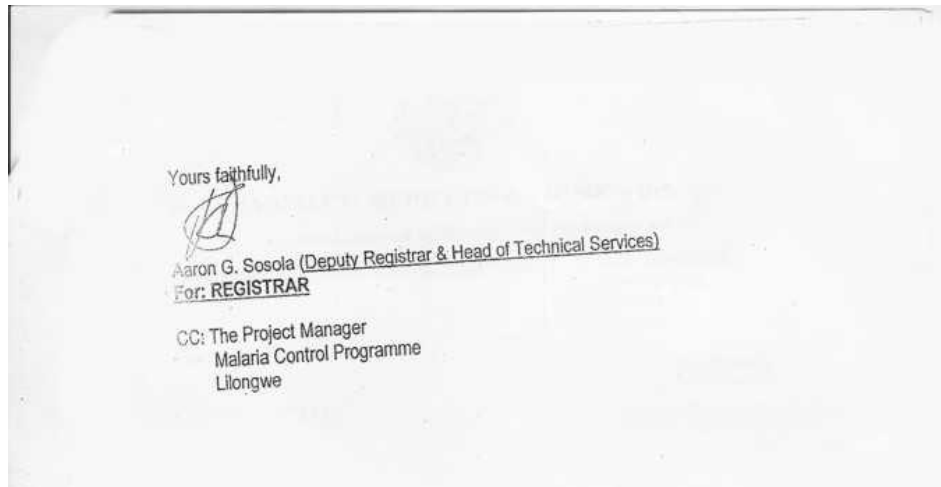
REGISTRATION OF MS SOLUTION

I would like to acknowledge receipt of dietary mineral supplement (MS Solution) and its write-up.

Well, if this product is indeed a dietary mineral supplement, then its not under the jurisdiction of Pharmacy, medicines and Poisons Board to register. But the claims of the label on the bottle suggest that it cures or alleviates certain medical conditions which may include malaria.

The composition of the solution of sodium chloride (NaCl) and water which may have undergone electrolysis to make chlorine dioxide (Cl₂O) which may kill pathogens does not show any pharmacological activity. From the documentation, it does not stipulate the pharmacological activity and mode of action on the malaria plasmodium. Similarly, the medical journals do not mention anything concerning this preparation.

Moreover, in Malawi the Malaria Control Programme through its taskforce is the sole authority that can accept or refuse an anti-malarial medicinal product in Malawi. This is to protect the public and the resistance of anti-malarial drugs.



マラウイ毒物・医薬品管理局がMMSをミネラルソリューションとして登録したことを証明する手紙

第9章

MMSの理解

MMSを理解するためには、生成後に体内に入って機能する二酸化塩素を理解することが肝要です。

二酸化塩素は高爆発性です。ですから、用途が何であっても、使用現場において生成しなければなりません。二酸化塩素として運送することはできません。二酸化塩素を容器に入れたとしても、簡単にその容器を爆破します。ですから金属またはプラスチック製のパイプを通して移送することもできません。二酸化塩素を生成するために数多くの方法が考案されて、多種類の塩素化合物が生成目的のために使われています。二酸化塩素は産業用に多くの分野で使われています。製紙工場では製紙用パルプを漂白するために使われており、布地製造工場では、布地を漂白するために使われています。おそらく最も重要な用途は水の浄化であって、世界中の数千もの水浄化施設は二酸化塩素を使っています。水浄化施設では、二酸化塩素は動物と人間の体内の有害な病原菌とその他の有機生物を注意深く選びます。二酸化塩素は遊離塩素が結合する数百種の成分とは結合しません。遊離塩素は水浄化施設内に見られる数種類の成分と結合して、発癌性化合物をつくり出します。ですから、二酸化塩素を使用する施設の初期建造費は高額になりますが、長期的に計算すると、二酸化塩素施設は経費を節約することができ、保健衛生の観点からみても大変に安全です。

最も一般的な二酸化塩素生成方法の1つは、亜塩素酸ナトリウムをさまざまな方法を使って処理する方法です。亜塩素酸ナトリウムは黄白色のフレーク状の物質です。これと塩化ナトリウムは同じではありません。最後から2つ目の文字を見て下さい。塩化ナトリウム（食塩）はsodium chloride。私たちは亜塩素酸ナトリウム（sodium chlorite）から二酸化塩素を生成します。

現在、世界中では亜塩素酸ナトリウム（ NaClO_2 ）が二酸化塩素を生成するため一番多く使われています。二酸化塩素の化学式は、ナトリウムのNaをとって ClO_2 になります。（これらの化学式がわからなくてもご心配なく。私がおここに説明している基本を理解されるでしょう。）亜塩素酸ナトリウムを使って二酸化塩素を生成する方法は、おそらく50～60種類あります。FDAは水泳プール用酸を亜塩素酸ナトリウム水溶液に加えて、二酸化塩素をつくる数種類の方法を認可しています。この二酸化塩素は市販される前の鶏肉と牛肉を殺菌するために使われます。この酸が亜塩素酸ナトリウムから二酸化塩素を生成します。野菜を殺菌消毒する多くのケースにおいては、二酸化塩素がすぐに塩になるので、塩素を洗い落とさなくてもいいのです。この塩の量が極めて少ないので、野菜は塩っぽくなりません。

驚かれるでしょうが、アメリカの数多い健康食品店（約10万店舗）には、安定酸素という名称で亜塩素酸水溶液が売られています。ほとんどのケースでは、亜塩素酸ナトリウム3.5%（重量比）を蒸留水に加えるだけで（35,000ppm）安定酸素が製造されています。誰でも台所でつくることができますが、金属製またはステンレス製のなべやフライパンを使わないで下さい。プラスチックかガラスの

容器、またはコーニングウェア(米国製ガラス容器)を使って下さい。けれども、私の調合法に従ってミラクルミネラル・ソリューションを作られるか、または製造者から購入されるほうがいいと思います。本書第2編においてこの製造法を説明いたします。

80年間にわたって、数十万の人々が安定酸素を飲料水やジュースに入れて、体に余分の酸素を追加できるであろうと期待しながら飲んできました。何らかの塩素が生成されることに気づいた数人は、死の間際にこの事実について述べたのですが、それでも亜塩素酸塩が酸素を人体に供給すると主張しました。とにかく、80年もの間、代替医療グループの中で、優秀な化学者にこの化学式を見てもらおうと決心した人はいなく、またそのように文書に書き著した人も出てきませんでした。化学的事実として、体が使用する酸素は生成されないのです。

二酸化塩素は強力な化学物質であり、数多くの用途があります。これは酸素より少し弱い酸化剤です。しかし酸化作用をする量が酸素よりもっと多いのです。二酸化塩素はある種の化学状態に接すると爆発して、別の化学状態に接すると中性になります。そして選択性です。爆発するといいましたが、この意味は何でしょうか。爆発とはたんなる急速の化学反応であり、主にエネルギーを放出する酸化作用のことです。化学式 ClO_2 には酸素イオンが2個あります。

それなら、なぜ酸素イオンは放出されないのでしょうか。放出されれば、人体がそれらを使うことができるのですが。答えはこの酸素イオンはマイナス電荷2個を持っているからです。酸素イオンがこの位置へと着く前に、酸化作用をすでに済ませていました。もうこれ以上酸化することはできません。しかし、酸素と結合している塩素は酸化作用ができます。二酸化塩素が病原菌かまたは酸性の毒物に接する時は、瞬間的に電子5個を受容します。二酸化塩素は電子を引き込めめるものであれば何でも破壊して、同時に熱を生成します。(この作用は酸素が関わっていなくても酸化作用といわれる。)それから、酸素原子が二酸化塩素から放出されますが、この酸素原子は元素として存在する酸素ではありません。この酸素原子はマイナス電荷2個を持つ酸素イオンです。この酸素原子は二酸化炭素内の酸素と同じ電荷を持っています。人が二酸化炭素(炭酸ガス)を大量に吸うと死亡します。でも、二酸化炭素は毒ではありません。言い換えれば、二酸化炭素は肺には害を与えませんが、人が溺れて死ぬような状態をつくります。二酸化炭素は、肺が必要とする酸素(元素)を吸収することを妨害するのです。

水素と酸素がお互いに混じって水になります。これが、現時点での酸素の機能です。酸素は水になるかまたは二酸化炭素分子の一部になることです。爆発酸化作用の後で、塩素も電荷を失ってしまい塩化物になります。この塩化物と食塩は基本的に同じものです。塩化物もすでに電荷を失っているのです。酸化する能力を持っていません。簡単かつ基本的な考え方は、酸素と塩素は正しい数の電子へと帯電されなければならないということです。そうでなければ、酸素と塩素は酸化作用の仕事をしません。酸素が酸化することができない時は、体内で必要とされている仕事を遂行できないのです。亜塩素酸ナトリウムのほんとうの仕事は、二酸化塩素を生成することです。二酸化塩素は、体内に存在するであろうほとんどすべての悪者(悪玉菌や毒性物質)を選んで破壊する化学物質です。微小な二酸化塩素分子はとてつもない力を持っており、電子を引き付けることができる物質を破壊しますが、健康な細胞かまたは好気性細菌から電子を引き込む能力を持つ

ていません。

二酸化塩素は永続して存在しません。これは小さな部分に大量のエネルギーを包み込んでいます。体内に入って数分後にはエネルギーの一部を失い始めますが、公共用水内に放出される時も同じ作用が発生します。二酸化塩素が体内でエネルギーの一部を失うと、その爆発性がなくなって（酸化できない）、その他の物質と結合できるようになります。二酸化塩素がミエロペルオキシダーゼの生成を助長するという見解の証拠があります。ミエロペルオキシダーゼは、人体が次亜塩素酸を生成するために使う化学物質です。それから、人体の免疫系が次亜塩素酸を使ってもっと多くの病原菌、キラー細胞、その他の物質を撃退します。二酸化塩素はこのような性質を備えており、副作用なしに、体内で上述の仕事をする唯一の化学物質であると知られています。公共用水施設や製紙工場の製紙用パルプ漂白施設の中で二酸化塩素を使用する場合は、現場で生成されます。体内でも、使用される部分（現場）の中で亜塩素酸ナトリウムから生成されます。

人体内で二酸化塩素を生成する方法

80年間にわたって安定酸素を使用されたすべての人たちは、二酸化塩素から恩恵を受けていると理解できなかったので、二酸化塩素をもっと生成しようと試す人が出てこなかったのです。塩素に結合している数百万個の酸素イオンが体内に補給されると信じていました。ですから、彼らは安定酸素溶液数滴を水に入れると、二酸化塩素がかなりゆっくりと放出され始めるという事実から得られる小さなメリットを受けていました。あまりにもゆっくりし過ぎて、あまり効果が出ません。安定酸素は1時間(1分間ではない)で二酸化塩素イオン数個を放出します。なんらかの恩恵はあるのですが、ほんとうに十分な量ではないのです。80年間も、この要点が見逃されてきました。ですから、人体内に二酸化塩素を生成しようとするならば、安定酸素溶液数滴をコップ内の水またはジュースに落として生成する方法より約1,000倍速くして生成しなければなりません。そうすれば、約1ppb（濃度10億分の1）になりますが、人が必要とするものは1ppm（濃度百万分の1）か、時にはこれ以上の濃度です。実際には、1ppt（濃度1兆分の1）を要する時があります。それでも、これらの数値を気にしないで下さい。専門的に詳しく理解されなくても、二酸化塩素を有効に使うことができます。AIDSを治療するためには、安定酸素が供給する二酸化塩素量の少なくとも1,000倍の量が必要です。実のところ、10,000倍以上になるでしょう。

前述しましたが、FDAは水泳プール酸を亜塩素酸ナトリウム溶液に加えて二酸化塩素を生成する方法を認可しています。亜塩素酸ナトリウムを使って二酸化塩素を生成するすべての公共用水浄化施設は、さまざまな機械装置に酸を使います。これらの機械装置は事前に設定されたスピードでこの酸を亜塩素酸ナトリウム溶液の流れに加ええます。人体内では1回だけでなく、継続して多量の二酸化塩素を作ろうとしているので、問題がもっとややこしくなります。二酸化塩素を数時間維持することができれば、体内全域へと運ばれて行きます。しかし、ただたんに二酸化塩素を飲み込んでも数分間で衰退してしまい、数時間も存続しません。酸をゆっくりと水溶液へと加える機械装置はありません。

酢、ライム、レモン、クエン酸の重要性

そこで、酢、ライム、またはレモンのご登場です。重要な部分は酢酸5%かまたはレモンとライム内のクエン酸です。(2007年7月1日現在。純粋なクエン酸が、酢、ライム、またはレモンよりもっとよく機能することが判かりました。)これらのうち1種を亜塩素酸ナトリウムへ加えると、その溶液が二酸化塩素を約12時間連続して放出し始めます。亜塩素酸ナトリウム28%(ミラクルミネラル・ソリューション)の溶液6滴を30滴の酢、ライム液、またはレモン液に溶かすと二酸化塩素約3mg(3ミリグラム)が3分以内に放出されます。これが3分間待たなければならぬ理由ですが、コップ半分ぐらいの量の水かまたはリンゴジュースを加えると、この生成プロセスが1mg/時間へと遅くなります。人体にとっては3mgはずいぶんな量です。ですから、これらの酸は二酸化塩素を12時間連続して供給するという特別な性質を備えているのです。この二酸化塩素の連続生産機能に加えて、この溶液が胃酸と混じる時に、二酸化塩素を猛スピードで生成しないようにと少しプレーキをかけます。二酸化塩素が衰弱するにつれて、体内に新しい二酸化塩素が連続して生成されます。酢、ライム汁、それともレモン汁を亜塩素酸ナトリウムに加えると、このような効果が得られます。もし、これらの酢の1つでも加えないのであれば、それは安定酸素とまったく同じ健康飲料となり、あまり効果を発揮しないのです。

上に記した段落から、MMSがまず二酸化塩素3mgを生成して、体内で12時間ほど続けて二酸化塩素を供給することがお解かりでしょう。人体が必要とするものは最初の3mgです。混合液を飲む時に、遊離二酸化塩素2mgないし3mgがこの混合液に含まれていると、MMSが最高の機能を発揮して病原菌を撲滅します。すぐに効きます。

ここでは、健康維持管理の目的で摂取する溶液6滴のことばかり話してきました。あなたが病気を治そうとされるのであれば、15から18滴が摂取量となります。使用説明書をお読み下さい。最初は少ない量から始まり、徐々に滴数を増やしていきます。

1mgの量はどのぐらいになるのでしょうか。アメリカの10セント硬貨を見て下さい。1gとは10セント硬貨のおおよそ半分です。10セント硬貨半分を1千分の1へと切ってください。この1粒が1mgです。これは八エの糞以下の重さです。二酸化塩素がどんなに強力なのかお分かりでしょう。二酸化塩素1mgが体内の病原菌を殺し始めます。人体は12時間にわたって12から20mgの量の二酸化塩素を吸収して、1回目で2mgの二酸化塩素が体内全域に配給されているのです。生成する二酸化塩素は、病原菌を破壊する時に使いはたされるか、または数分間以内に別の無害な化合物へと劣化します。二酸化塩素が劣化する時は、免疫系が必要とする残存化学物質になるか、それとも塩素が塩化物になって、極少量の食塩と水へと変化します。このプロセスにより、まったく副作用はありません。副作用の原因となるものが残らないのです。

気をつけて下さい。二酸化塩素は非常に強力です。微粒子の中にとつてもないエネルギーが含まれています。しかし、この状態に2 - 3分間だけ留まります。あまりにも強烈なエネルギーを持っているので、長時間存続できないのです。極微小のエネルギー粒子の世界では、二酸化塩素は選択眼のついた実弾頭を持つ魚雷

です。二酸化塩素の化学組成により、このような性質が備わっており、同じ性質を持つ化学物質はありません。

ある人は安定酸素（亜塩素酸ナトリウム）より20倍多い量を摂取しました。完全に健康な人がこのような大量の溶液を摂取すれば、10から15分間ぐらい吐き気が続くかもしれません。しかし、何らかの健康問題が体内にあるのであれば吐き気が数時間続くかもしれません。私と数名の人たちはMMS適用量の25倍の量を摂取したことがあります。やはり吐き気をもよおしましたが副作用はありません。（これは実験済みです。とにかく大変な吐き気でした。）この話しの要点は、二酸化塩素は無害であり、人体にとって大変に有益であるということです。二酸化塩素が体内の異常状態を攻撃する結果として、吐き気をもよおします。肝炎などの肝臓機能異常がある場合には、ほとんどといっていいぐらい吐き気がします。その理由は、二酸化塩素が毒性物質を破壊し始める時に、肝臓が破壊された毒素を追い出そうとするからです。それでも、しだいにこの異常状態が治ります。

C型肝炎を患っている婦人が、私がしてはいけないと指示したことを見事に実行しました。第1回目に2滴摂取する代わりに、ウイルスを確実に殺したいと思って、30滴と酢を混ぜて、3分間待ってから、リンゴジュースを加えて飲みました。この婦人の吐き気は3日間続きました。それで、彼女はMMSをあきらめて、8ヶ月間使用しませんでした。彼女の吐き気がひどかったので、効き目がないと思ったわけです。そして最後に医者に診てもらったら、体内の肝炎ウイルスが消滅していました。両人ともビックリしました。私はA、B、またはC型肝炎のどれかを患っている多くの人たちにMMSを与えました。この肝炎の患者が一気に30滴を摂取すると、大変な吐き気をもよおしますが、私は同時に肝炎が治ると保証します。けれども、これは適切な方法ではありません。肝炎患者は2滴以下から摂取を開始すべきです。そうしますと、吐き気を感じることもなく、1回15滴の摂取量を1日2回服用するまで徐々に摂取量を増やしていくと、途中で吐き気をもよおすことはありません。それから検査をすれば、全型肝炎がネガティブと出ます。

健康維持のためにMMSを摂取する方法

寿命をのばすためにMMSを摂取することは重要です。人の寿命が確実に25年間のびますとはっきりと言えればいいのですが、今のところ、それを証明することはできませんが、私はそうなると信じています。すべての証拠を寄せ集めて考えますとこの結論に達します。数十人の高齢者がMMSを飲み続けています。老人の死因となるすべての病気で苦しまなくてもいいのです。老人の免疫系は通常の100倍ぐらい強くなって、肺炎、流感、その他の病気が、健康を維持するための適用量を毎日摂取しているかぎり体内に浸透することはありません。

若い人たちは、健康維持のために、1週間に2～3回適用量を摂取できますが、高齢者は少なくとも1日1回摂取する必要があります。毎日1回摂取する時は、MMS溶液4滴と酢を混ぜてから3分間待った後でリンゴジュースを加えて、お飲み下さい。毎週2ないし3回摂取する方は、1回毎に6滴を使って下さい。80年にわたって、数十万人がこの溶液を摂取してきました。私はただ少量の食物酸を加えただけです。酢を加え始めてから、過去6年間において、副作用が報告されたことはありません。厳密に言えば、ゼロです。

二酸化塩素は健康な細胞を攻撃しないことが証明されています。(MMS内の少量の二酸化塩素のことです。大量の二酸化塩素は人も含めて、ほとんどのものを破壊するか殺戮します。)

前述しましたように、二酸化塩素は完全に無害な成分へと劣化します。通常の医薬品と違って、体内に残って溜まるものではありません。二酸化塩素は仕事を遂行するために、十分な時間にわたって存続しますが、免疫系が必要とするイオンを供給しない部分は極微量の食塩か水へと劣化します。二酸化塩素の任務遂行時間は数分間であり、その後は消滅します。後には何も残しません。

最初の手順

MMSを初めて摂取される方は、第1回目の摂取量を2滴以内におさめて下さい。この理由は、2滴ですと化学反応が出なくて、何らかの健康問題をかかえている人であっても吐き気をもよおさないからです。もし体内に異常な状態が生じている時は、2滴摂取すると軽い吐き気が10分間ぐらい続きます。この場合は、2滴を毎日1回かまたは数回にして、吐き気を感じなくなるまで続けます。そして、徐々に1日1回15滴まで摂取量を増やしていきます。15滴まで到達したら、1日6滴に減らします。何らかの重い病気を治療しようとするのであれば、病気の種類によって異なりますが、6滴以上よりもっと多い量を摂取しなければならないでしょう。

この溶液滴について話していますが、必ず1滴につき茶さじ4分の1から半分の量の酢、ライム汁、レモン汁、またはクエン酸を混ぜて、3分間待ってから、コップ半分ぐらいのジュースを加えます。これはジュース4オンス(約114g)です。酢、ライム汁、またはレモン汁のどれかひとつを混ぜないと、この混合液はたんなる健康ドリンクになります。しかし、この健康ドリンクは予定している仕事を遂行しません。それから、ビタミンCが添加されているジュースを使用しないで下さい。

それではこの方法を正確に順序だててお話ししましょう。MMS2滴を乾いたコップの中に落とします。ライム汁かまたはレモン汁(クエン酸を使う場合は第10章を読んで下さい。)10滴を加えます。コップを少し振って混ぜます。3分間待ちます。そして、コップ半分の量のリンゴジュースを加えます。この後、すぐに飲んで下さい。リンゴジュースの代わりに、生グレープジュース、生パインジュースを使ってもいいです。ビタミンCが添加されているジュースは使わないで下さい。オレンジジュースもだめです。オレンジジュースは二酸化塩素の生成を妨げます。

生ジュースを使う理由は、ほとんどのジュースには保存料としてビタミンCが入っているからです。ジュースを長期間保存することができ、人体に良いのですが、二酸化塩素の放出を抑止します。またMMSを摂取するさいの効き目を妨害します。お店で買ったジュースを使う場合は、必ずビタミンCが入っているかどうか確認して下さい。ビタミンCが入っている場合は、MMSを摂取する数時間前かまたは摂取後にそのジュースをお飲み下さい。

酢と液滴を混ぜた後で3分間以上待っていただいても結構です。液滴内の二酸化塩素が分離して、塩素が空中へと蒸発して、二酸化塩素濃縮液が30分間まで安定していますが、極少量の塩素は溶液内に残ります。容器に蓋をすれば、二酸化塩素がもっと強くなります。ある人は強力ドリンクをつくるために蓋をします。

最善の方法は、液滴と酸を混ぜた後はちょうど3分間待った後で、ジュースを加えて飲むことです。

二酸化塩素の強いドリンクを飲もうとされるのなら、ジュースを加えた直後に飲んで下さい。（長く置いていても危険はありません。ただし効き目が低下します。）ドリンクを1~2時間置いていてもかまいません。使用できるジュースはリンゴジュース、グレープジュース、パインジュース、クランベリージュースです。

もう1度注意事項をお伝えします。オレンジジュースを使わないで下さい。オレンジジュースは二酸化塩素の生成を妨げるのでMMSの効能が低下します。

化学の話が続けましょう。前述しました事柄をもっと明確に説明します。MMS溶液には、2つのレベルの劣化作用があります。（1）最初に劣化するものは亜塩素酸ナトリウムです。酢を加えた後で亜塩素酸ナトリウムは劣化し始め、二酸化塩素を溶液内に放出します。二酸化塩素は極微小部に極めて強いエネルギーを包含しています。（2）二酸化塩素は安定していなく、強烈なエネルギーを長く保持しません。そして、これもすぐに劣化します。二酸化塩素は、病原菌、病的細胞、毒性物質、およびその他有害物質を30分間だけ破壊する機能を備えています。これは亜塩素酸ナトリウムから放出されてから数秒以内にそのエネルギーを失い始めます。しかし、たいていは30分まで任務を遂行できます。1時間ぐらいたつと、もう病原菌を破壊できない状態へと劣化していますが、それでも別のさまざまな化学物質と結合することができます。私は「極めて強いエネルギー」と言いましたが、少し感情的な表現であり、科学的な語句ではないと思います。それで、二酸化塩素はすぐに劣化し始めて、しまいには二酸化塩素とは異なるものになります。これは、塩素、酸素、およびエネルギーの成分へと分離していくか、それともなくなっていくか。この状態にある塩素と酸素は電荷を失っていますから、不活性です。二酸化塩素が続けて劣化するにつれて、亜塩素酸ナトリウムも劣化します。亜塩素酸ナトリウムの劣化速度は、二酸化塩素の速度とほとんど同じです。お解りでしょうか。亜塩素酸ナトリウムはいつも自身より多い量の二酸化塩素を生成します。ですから二酸化塩素が病原菌を殺してから、またはたんに劣化して消滅しても、亜塩素酸ナトリウムが続けて劣化しており、二酸化塩素が追加で生成されるのです。

亜塩素酸ナトリウム内の塩素は、免疫系が使用する有用な化学物質と結合するかまたは塩化物になります。塩化物とは極微量の食塩です。記録することができないくらい極微量です。ですから、人体内で二酸化塩素は劣化しますが、後には何も残らないのです。体内の病原菌や有害物質を破壊した後でも、死亡した病原菌以外には何も残りません。そして、塩素と酸素は人体の水分の1部になるだけです。

私とアーノルドはマラリア・ソリューション財団を創立しました。彼が責任者です。私は彼らはアフリカでのマラリア治療活動にあまり熱心でないと判った時にこの財団から離れました。彼らは多額の資金を持っているので、アフリカでの治療活動に数百万ドル使うことができるといつも話していました。しかし、採鉱事業と米流通プログラムを続けて行い、アフリカにMMSを流通させるプログラムは実施されませんでした。彼らがほんとうに実行する意志を持っているならば、た

とえ忙しくても、私をアフリカへと派遣したでしょう。

数百年にわたって、人類の「極悪殺人者」であり続けた病気の解決法が見つかったのです。数百万人が苦しんで死に絶えている間に、私の団体はいったい何をしているのでしょうか。私たちはアフリカへ行ったら、米ぬか袋を学校の子どもたちに配給しています。子どもたちを援助する良いプログラムでしょう。

しかしこの団体はマラリア問題を解決するために創られたのです。この点を繰り返して指摘しましたが、私が財団を離れて著作活動に集中している理由を理解できない人が多くいました。

数年たって、彼らだけがMMS情報とデータを保存することができないことを最終的に認識しました。世界はMMSについて知るチャンスを失うことになるでしょう。それで、1個人がまたは1グループがこの情報を所有してコントロールすることはできないと悟りました。マラリア・ソリューション財団のウェブサイト

(malariasolution.com)では、私たちがアフリカで実施したプログラムについて多くの情報を提供していますので、私が言い続けたことを確認していただけだと思います。(2006年の終り頃にこのサイトが完成されました。サイトを制作すると聞いてから、5年間に過ぎていました。) 彼らは昨年マラウイへと旅行しました。この旅行はマラウイのマラリア治療活動と関係していません。米ぬか袋を孤児院へと配給するプログラムでした。自己満足するプログラムですが、財団創立目的である治療活動は実施されませんでした。

ご興味をお持ちの方はマラウイ政府にお問い合わせ下さい。彼らは独自のMMS臨床試験を行いました。私たちが刑務所で行った臨床試験と同じように、24時間以内の治療率90%、48時間以内の治療率100%の結果が出ました。これは24時間以内と48時間以内の治療率10%の違いを除いて、私たちの臨床試験結果と同じです。

次ページに血液検査の写真2枚を掲載しました。血液検査用の暗視野顕微鏡を使って写真を撮りました。最初の写真は、ある人がMMSを摂取する前の血液です。すべての血球は赤血球です。全赤血球がひっついていて、凝集しているのが分かります。これは不健康な状態です。この人はもっと多くの水分とミネラルを必要としています。

2番目の写真は、同じ人がMMS10滴と酢を混ぜて、3分間待って水を加えた混合液を飲んでから、1時間半後に撮ったものです。赤血球が凝集していないことにお気づきでしょう。もっと重要な点は、丸で囲んだ3つの白血球が、もっと大きな結晶性の血餅(血栓)方向へと移動していることです。白血球が結晶性微粒子を捕えながら血餅を吸収します。これらの写真ではその動きを見ることはできないのですが、MMSを摂取した後で、これらの白血球は通常の10倍ほど活発になります。ビデオで実際の動きを観察できます。

写真 1

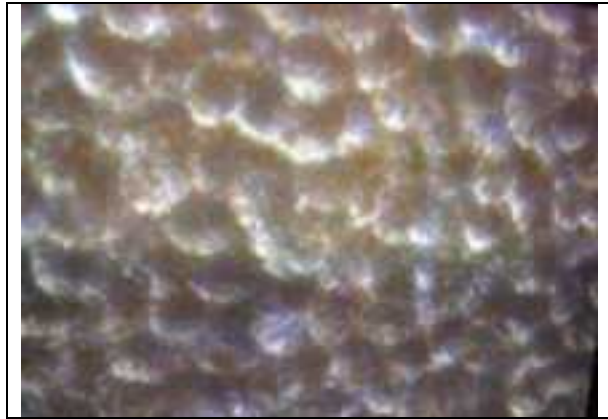


写真 2



信じられないかもしれませんが、アメリカのFDAはすべての有効なガン治療法、
ビタミンの心臓麻痺予防効果、その他重要製品情報などを隠蔽し続けています。
大手製薬会社グループ（ビッグ・ファーマ）の売上減少につながる重要医療情報は隠蔽されています。

私がお伝えすることを読まれるだけでなく調べて下さい。インターネットに提供されている情報を読んで下さい。サーチエンジンに、「FDA Suppression」と入力して検索して下さい。1930年代まで遡って収集された、ぼう大な量の書類があります。彼らは有効な治療法を書き著した著者をひんぱんに拘置して、その著者が自分の主張を撤回するのであれば、著者に対する攻撃を止めます。著者はすべてのお金を失って、この戦いに疲れきってしまうと降参します。現時点でも、世界中で数千人の命を救うことができるかもしれない数百もの医療事実情報が隠蔽されています。ある人が大衆へと事実情報を伝えようとした時に、不審を抱かせるような状態で死亡したケースが多くあります。また「陰謀論」を唱える狂人集団の話ではないのかと、無視されないようにお願いします。彼らの隠蔽・阻止活動リストの中に、MMSの医療事実情報が加えられています。MMSを試してください。効き目を確認して下さい。あなたの生命、数千人の生命、数百万人の生命が危険にさらされています。ご自身で、または人のために1度だけでも試されることは、あまり大切なことではないのでしょうか。2~3時間でもいいですから、インターネットの情報を調べて下さい。事実情報が見つかります。

症状の治療 - 医者が施す現代医療は症状を治します。薬局店で購入する薬の99%が症状に対処するためにつくられています。言いかえれば、ある人に頭痛が生じれば、医者はこの頭痛のための薬を与えますが、頭痛の原因を探そうとしません。眠れないのであれば、睡眠を誘う薬が処方されますが、医者は眠れない原因を見つけません。関節炎であれば、医者は関節痛に対処する薬をくれます。関節炎の原因は見つけない。消化不良であれば、胃酸を中和して食物を消化しなくても下へと通過させる錠剤が与えられます。医者は消化不良の原因を見つけません。それとも、食物を消化する何らかの薬が与えられます。症状を処置する数千種の薬が存在していますが、数千種のうちの多くの薬の副作用は「死」です。すべての薬には副作用があります。すべての薬に「死」の副作用が入っているのではないのですが、大半の薬には、その副作用が原因で人が死亡したケースが1件ないし2件はあります。

なぜ世界の、特にアメリカの薬はいつも病気の症状だけを処置するようにつくられているのでしょうか。症状を治すだけの薬の話は別に秘密にされているわけではありません。多くの人はずでに知っています。健康に関心を寄せている人に尋ねて下さい。医薬品は症状を治して、製薬会社によるすべての医療研究課題は症状を治すことであって、問題の原因を探し出すことではありません。

数十億ドルのお金が関与しています。症状の治療では問題は解決しないし、変わることもないのです。100年間にわたって、がん治療技術において飛躍的な進展が見られない原因は何でしょうか。数件の例外はあっても、同じ治療法が100年以上も使われています。世界はがん治療とその他の病気の治療分野を除いて、ほとんどの分野において素晴らしく進歩しました。彼らは治療法を改良し、薬をもっと純粋にして、注射針の質を向上させ、レントゲン撮影機を改良し、記録装置をよくして、治療時間を計るタイマーを改良します。しかし治療方法は変わりません。

製薬会社グループは数十億ドルもお金を使って、アメリカの下院議員1人と上院議員1人あたり、2名または2つの法律事務所を雇ってロビー活動をさせます。

ビタミンの流通を何度も何度も繰り返して阻止しようとしてきました。私はすべての事実について話をすることができません。ですからこのトピックについて調べて下さい。データと証拠は入手可能です。インターネットで数千種もの書類を閲覧できます。真実を抑圧することはできません。彼らは公共の安全を口実として、数十億ドルもの大金を使って議会に影響を与えます。ビタミンについて何も知らないのであれば、人々がもっと安全になると思われませんか。この真実は世界すべての国々に影響を与えます。今この時に、FDAは代替医療関連のソリューション（栄養補助食品）製造会社の50%以上を閉鎖すると世間に向けて発表しました。これは、製薬会社グループがやっと議会を説得することができて、FDAはすべてのソリューション製造会社を管理下に置かなければならないという法律を通過させたことを理由としています。

MMSはあまりにも簡単な治療法ですが、この治療法を医者に委託する必要はありません。世間一般の人たちはご自身を治療できる能力を備えています。これは、FDAが今回も事実を隠蔽しようとしています。この阻止活動が大変に難しいものになることを意味しています。病気で苦しんでいる人たちの小さな窓が開かれ事実情報を知ることになるでしょう。それが何時になるか分かりません。しかし、今度は、FDAは2名の医者の治療活動を阻止して、著者を逮捕するというだけでは済まないのです。（私を見つけることができません。）私は幸運にも高級な試験所とつながっていませんから移動できます。私を見つけて活動を阻止することはできません。彼らは数十億ドルの資金を支えに阻止しようとしてますが、もしMMSが世界に知れわたれば、結局はこの数十億ドルを失うことになるでしょう。ですから、お願いします。おそらく「私が真実を言っているのかもしれない」というような傍観的な姿勢でこの話を読まれないようにお願いします。

皆様の双肩にかかっています。私はできることを実行しました。この事実情報を世界へと広げられるかどうかは皆様次第です。ご友人、知人の方、ご家族へと知らせていただければ、世界へと広がります。製薬会社が見つかる前に、もっと多くの方が本書を読まれるのであれば、彼らが阻止することができなくなるでしょう。現在までは、彼らは私がペテン師であると思込まれており、関心を示しませんでした。このことが私の安全柵となっています。しかし、彼らが人々の病気が治ったり、病気が快復したという報告を受け始めると話が違ってきます。本書英語版は第2版です。第1版は売り切れて、さまざまな病気を持つ数千人が治りました。しかし本書を読まれても、ご友人へと伝えられていない方がたくさんおられます。伝えられた人も多くおられます。もっと、もっと多くの人たちが手を握って協力していただき、本書を広めることができるのであれば、彼らに勝ることができます。それでは、何人の人々に本書が伝わればいいのでしょうか。私にはわかりません。しかし「引き返し限界点」に到達することができます。私たちがこの限界点に到達するのであれば、もはや（事実情報の）窓口を閉じることができません。それは、十分な数の人々がMMSについて習って、使用して、効き目を認知した時です。数人では実現不可能です。数百万人が効果を確認すれば、実現するでしょう。どうか協力して下さい。実際にMMSを使われるか、またはMMSは世間に知らせるべきものであるという考えを受け入れて下さい。本書「21世紀のミラクルミネラル・ソリューション-第1編」のEブックを無料にて提供しています。

ご興味のある方は、本書をお買い求め下さい。本書とMMSをご親戚、ご友人、知人の方々へとお勧め下さい。MMSを使われてご自身がどなたかを治療されて効果を確認される時も、周りの方々へと広くお知らせ下さい。彼らが動き始めるまで、後数ヶ月しか残っていないでしょう。MMSを世間一般へと伝えるためには約1年かかるかもしれません。数百万人もの病苦、苦悩、死を防ぎ、健康問題を解消するかないかは私たち全員の決断にかかっています。（ドラマチックな表現をお許し下さい。しかし、事実なのです。）

Googleで「FDA Suppression」を検索して下さい。私が話していることが事実だと理解されるでしょう。

そうでなければ、彼らが本書にかかっている事実は嘘であると一般大衆を説得するためのキャンペーンを開始する時に、私の話が事実であるとお分かりになるでしょう。彼らの問題は誰でもMMSを試すことができることです。しかし、それでも彼らは諦めません。彼らは恐怖作戦を使ってMMSの使用を妨げることができることを知っています。ですから、数百万人がMMSを試されてから効果を確認することが必要なのです。もちろん、私たちが友人へと知らせないのであれば、大手製薬会社グループとFDAはこのキャンペーンを実施しないでしょう。再度、ドラマチックな表現を使ってお話ししましたことをお詫び申し上げます。私は74才です。この年までに、人々は遠まわしに言う話よりもむしろ事実を聞きたがっていることを習いました。

そのうえ、本書（英語版）の流通経費以上の利益を、アフリカでの病気撲滅活動の経費として使用することをお知らせします。

MMSは病気を治しません、免疫系を支援します。免疫系が病気を治します。

第9.5章

別の角度から病気を見る

MMSとは別の話になりますが、私が発見したもう1つの重要なことについてお伝えします。世界の権威ある科学者ではなくて、たんなる発明家が発見することになって驚いています。この情報は100年間にわたって世界に広まっていたので、科学にとってあまりにも簡単なものだったのでしょうか。私は幸運に恵まれて、これを発見できたのではないかと考えています。霊的研究を60年間続けてきたおかげで、この発見に恵まれたと確信しています。MMSの発見に合わせて、世界の皆様に公表しなければならないと考えています。世間に幅広く知らせなければならないことです。そうでないと、カルマ(業)が関係するかぎりにおいて、すべきことをしないとという過失は過失を犯すことと同様に悪いことだと思っていますので、私は永久的に後悔することになると思います。

冒頭で発見事項について話しますと、皆様がすぐにご理解されずに本書を読み続けられないかもしれないので、順序だててお話しします。ですから、これから数段落続けてお読み下さい。驚かれることでしょう。1985年、私は初めて亜塩素酸ナトリウムのことを知りました。私がかつて知っているかぎりでは、亜塩素酸ナトリウムは水を浄化して熱帯魚の病気を治すために使われていました。これは実際に、世界のいたる所で、水の浄化剤かまたは健康ドリンクとして使用されていました。さまざまな病気をかかえる多くの人たちの治療に役立つだろうと考えられていたので、亜塩素酸ナトリウムの適切な市場がいつも存在していました。亜塩素酸ナトリウム(安定酸素)の効き目に対して多くの賛辞が出てきましたが、ほとんどの医薬品と同じように、あるグループの人たちだけには効果が出たとか、十回のうち数回は効果があったというような効き目でした。

ジャングルで安定酸素が一部のマラリア治療に効果を発揮したことと、食物酸を加えたらすべてのマラリア患者が治ることを発見した後から、数百人が病気から快復する様子を見てきました。アフリカへと旅行した時に、数千人のマラリア感染者とその他の病人が快復したことを見ました。砂漠にある小さな町に住んでいた時、もっと多くの人たちの病気が治る様子を見ました。この時期に、多くのMMSボトルをアフリカへと送って、たくさんのマラリア感染者とその他の病気をかかえていた人たちが治りました。ある時は、シエラレオネで1人が5,000人のマラリア患者を治療できる量のMMSを提供しましたし、彼は2回目の治療活動で1,600人を治しました。もちろん2~3本送ったケースも数かぎりなくあります。

それから、この砂漠町、近隣の町、アメリカの別の場所で多くのMMSを販売したり、無料で提供しました。これは自慢話ではありません。自慢話として理解されないようお願いします。要点を後でお話しします。

私が1年前にメキシコへきてからは数千件のEメールと数百件の電話を受けました。そのうちの多くの内容は質問でしたが、狼そう(皮膚の慢性かじょう性病変)、糖尿病、A-B-C型肝炎、AIDS、がん、その他多種の病気の症状が消えたことを報告

してくれた人たちもいました。ヘルモシロ市では、私のパートナーであるクララ・ベルトロネスは自宅を利用して、私が滞在している期間に約100人の病人を治療しました。例をあげますと、昨晚（2007年12月14日）、1男性が電話をかけてきた後で、現地のラジオ番組を聞いたとあって、彼の夫人を連れてきました。彼女は歩行器を押しながら入ってきましたが、歩行器をしっかりとつかめなかったので、夫が支えていました。彼女の右手と足は麻痺していました。足を動かして歩くことができないのです。彼女は坐骨神経痛がひどくて耐えられないと不満をこぼしていました。クララは6滴の適用量をこの夫人に飲ませてから、話をしながら1時間待ちました。夫人は坐骨神経痛の痛みがなくなっていくのが感じられて、手の痛みも薄れていることに気づきました。2回目に6滴摂取してから1時間たつと、今度は足の痛みがなくなっていくように感じました。やがて、手の指と足の指を動かすはじめました。足の全指と筋肉を動かすことができましたのです。それから、歩行器を使いながら出て行きましたが、今度は夫は支えていませんでした。彼女が体の動きにもっと慣れると、歩行器なしに歩くようになるには時間の問題であるように見えました。

すべての人がすぐに治ると話しているのではありません。多くの人たちはもっと長く時間がかかって治りますし、病気以外の問題も時々生じます。メキシコへ着いてから1年以内に、本書(英語版)を8,000冊以上販売しましたし、アメリカでは11,000本以上のMMSが毎月売られています。

私がここに述べることを実証するかどうかは科学者の課題ですが、病原菌を原因とするすべての病気の95%ぐらいまでは根絶できるというたくさんの証拠を見えています。これらの病気の中には、事故によるケガを除いて、すべての不快感や痛みの95%も含まれています。すべての血液病、がん、その他障害のうち95%も含まれています。お解りでしょうか。私たちは人類のほとんどの病気を解消できる状況に立っているのです。

数百人が私とクララの所へやってきて、MMSの適用量を用意するのを見ながら混合液を飲みます。20年間も苦しんできた痛みが数分以内になくなります。お解りでしょうか。MMSには栄養成分が入っていません。殺菌機能だけです。病原菌を殺して、重金属毒物を酸化します。これ以外には何もしません。単純で唯一の答えは、殺さなければならないものがあれば、MMSがそれを消滅することです。ある重金属が酸化されたので、このような効果が出たのではないかと言う人が時々できます。しかし被験者の重金属性物質が最初に検知されたのですが、MMS摂取後にそれが消えてなくなっていたケースが時々ありました。消えてなくなれば、酸化かどうかはあまり重要なことではないと思いますが。人が元気になれば、いいのではないのでしょうか。現在まで数千人が快復しました。数千種のバクテリア、ウイルス、カビ、イースト菌、寄生虫、菌類、それから名もなく認知されていない微生物が存在しています。その他微生物のような多形性の有機体も存在し、それらは別の微生物へと変身したりまた元の形へと戻ったりしています。医療科学の分野では、このような変形性微生物の実体が何であるのかまったく理解されていないのですが、MMSがそれらを殺せば、患者は元気になって普段の日常生活へと戻って行きます。「治る」と言えば、援助してくれる人も含めてほとんどの人たちは気分を悪くするので、「治った」と言いにくいのですが、たくさんの人たちが快復した原因を、私よりうまく説明できる人がいるかもしれません、今のと

ころ誰もいません。

それでは、病気を別の角度から見ることにしましょう。気分が悪いとか痛みがあると訴える人は病気を想像しているのではとよくいわれます。または何かの原因があって病気を経験しなければならないとか、遺伝の問題であるとかいわれます。そして、医者に診てもらうために数千ドル使ったり、または病気だと思い込んでいたのではとしばしば説得されたりします。母親があなたを愛していなかったからだとか、その他の（心理的）問題があったからだという内容の話がよく出てきます。けれどもほとんどのケースでは、頭の中でつくったと思われるような痛みは、MMSを摂取し始めてから1～3時間以内、または数週間以内になくなってしまいました。

ですから、病気を新しい角度から見ます。ウイルスかまたはバクテリアは骨に面して植民地を建設して、酸を産出している骨の上で繁殖します。これが痛みの原因になります。またはカビは血流不足の領域に集まってきて、この部分への栄養素の流れを妨げて、栄養素を使いながら成長します。または筋肉内の植民地に生きるウイルス集団により筋肉痛が生じます。または神経の周りにあるウイルス集団は神経インパルスを遮断します。たちの悪いウイルス集団やそんなに悪くないウイルス集団もいます。バクテリア集団が心臓弁の上で成長することはよく知られています。ですからその他の場所にも植民地を作る可能性があります。あるウイルス集団は関節炎をおこし、別の集団は糖尿病を発生させるなど、百種類の健康問題を起こします。

砂糖を食べ過ぎないのなら病気にならない。精白パンをあまり食べないのなら病気にならない。またはアイスクリームや肉など、酸をつくる食物をたくさん食べないので病気にならなかったなど色々な話があります。これらの食物が貢献して、微生物が養われて繁殖する原因となるのですが、人が病気となるほんとうの原因は、嫌気性微生物が体内の一部を侵略したことです。

微生物集団があちこちで繁殖して、体全体とかさまざまな臓器を侵略しました。毒性の煙を大量に吸ったとか、体が冷えすぎたとか、その他の似たような問題の病気の原因がありますが、このような問題のすべては微生物集団の成長と繁殖をもたらします。ある研究者がアルツハイマー病を患っている人の頭脳を検査した時、Spirochetes を見つけました。これは微生物の1形体であって、多形性の微生物であると考えられています。（色々な種類のウイルスとか微生物へと変形する。）

アルツハイマーについては具体的な例がありません。誰かがアルツハイマー病の患者を治療したとか、自分で治療したという報告を受けたことはありません。Eメールによる質問を受けたことがあります。MMSによりほとんどすべての病気が治りますが、アルツハイマーの治療はまだ聞いたことはありません。私は医者でもなく、科学者でもなく、発明家です。けれども研究技士として働いてきました。原子爆弾の実験を設定しましたし、原子爆弾と水素爆弾を積載する大陸間弾道ミサイルの仕事と最初の真空管コンピューターの仕事を経てから、採金新技術を開発しました。自慢話をしているのではありませんが、科学に関してはまったく無知でもないことをお伝えしたいのです。ですから、ここに私の見解を表明して、どなたかが私の見解が間違っているかまたは正しいと証明されることと思います。私の見解に関してすでに調査を開始された方々がおられるので、何らかの方法で

正否を証明される人が出てこられるでしょう。

私たちは「不治の病は存在しない」と認識できる新しい時代の門出にあります。大手製薬会社グループの時代の終焉を告げる鐘はすでに鳴りました。人の骨を固定し、胸を大きくし、顔を成形したり、人体を色々に変形するために、医者が必要とされています。代替医療の専門家は人の健康を改善するために、主に栄養に集中しながら活動していますが、病気の治療についてはほとんど関心がないようです。ほんの1分間でもいいですから、病気がほとんどなくて、健康な人々が溢れている世界を想像してみてください。少しでもいいですから協力していただいて、実行していただければ、私たちの時代においてこのような世界が現実となります。MMSの研究のために数億ドルの資金が必要ですが、じょじょにこの世界へと近づいています。

多くの人たちはご自身を治療することにおいてすでに成功されています。本書ができるだけ多くの人々へと届くように、できるだけ多くの人々がMMSを試すことができるようにご協力下さい。近所の人々がMMS1本を買う余裕がないのであれば、その人のために買ってあげて下さい。世界が皆様の所へとやってくるとは思いますが、皆様のご協力がないと、前述しました世界は現実となりません。皆様のご援助がほんとうに役立ったと確認される時がくると思います。製薬会社グループによる阻止と抑圧を止めさせて、不運な人々が病気を克服できるようにと支援していただいたことを思い出される日がやってくると思います。

さて、ここまでは良い情報をお伝えしましたので、次は悪い情報をお知らせします。かなり悪いニュースです。私は大惨事を予言するような者ではないので、最初に良い情報について話しました。地球の状態は人類の99.999%が理解している状態よりもっと悪いのです。世界中から私の友人、知人が電話をかけてきます。数千件のEメールを受信します。数百人とも話し合いました。

それで、何が見つかったのでしょうか。こんな話は聞きたくないと言われるでしょう。私が狂っていると思われるでしょう。しかし、皆様にお伝えしなければなりません。そうしないと、私は自分に対して正直に生きていけないと思います。もうすでに「私は正気ではない」と思っておられる人たちの数が充分すぎるぐらいですから、黙っているほうがいいのですが、どなたかに考えていただけたらと思って言わなければなりません。それは「指導者は私たちが殺そうとしている」ということです。私は医者、クリニック、保健専門家、それに病人と毎日のように話し合っています。健康産業界にいて、私のように世界中の人々と毎日話し合っている人は他にいないと思います。それで私が見つけたことを次に話します。現在多くの新しい病気が存在しています。これらの病気は自然の病気ではありません。数百種とはいわないのですが、数十種もの新しい病気があります。流感、結核、肺炎、糖尿病、マラリアなどのすべての自然の病気は、MMSによって短期間に治ります。最近になってつくられた新しい病気は、抗体または酸化化学物質が体内にある時は、どこかに隠れるある種の能力を備えており、MMSを使ってもなかなか処置しにくいのです。すべての新しい病気の発生源を追跡していけば、政府の試験所へとたどりつきます。猿から発生したものではありません。この情報を私たちの指導者へと知らせても、新種の病気の発生を阻止することを拒否します。

数段落でこの話の全体を説明することはできません。「ワクチンには水銀が入っている、化学療法は人を殺す、食品には毒物のアスパルテームが入っている、現代医学により死亡する人々の数は、すべての戦争で死亡する人たちの数を越えている」等等。それでもアメリカ国民はある人たちが考えているのと違って、そんなに頭が悪いのではありません。国民の55%は家庭医の所へ行くことを止めて代替医療の療法を選択しました。この現象には理由があります。人々は健康を保持してくれる人の所へは続けて通うと思うのですが、どうでしょうか。

数百万の人々は、米政府でさえも分からない病気にかかっています。現在、モーゲロンズ病 (morgellons) は一連の恐ろしい病気の1種で、数百万人が感染していますが、米政府はその正体を理解していません。また医学はライム病を認知していませんでしたが、現在は数名の医者が認めており、世界中でこの病気にかかっている人の数は数百万人です。さらに数十種の病気があります。世界保健機関 (WHO) にはマラリア患者75,000人が快復した事実を伝えたのですが、医者1人だけに試験を依頼しただけで、それ以上の試験の実施を拒否しました。この医者は試験をしたと言うのですが、まったく話しにならないのです。彼はスイスにいます。スイスにはマラリアはありません。マラリア罹患者は4時間以内に元気になり、試験は1日以内に実行できますが、この医者は試験を実施するまで1年半も準備して、3日間の試験を終えた後で、MMSの効き目はないと報告してきました。医者がMMSの化学式をひとたび理解するのであれば、たいていはMMSにはメリットがあると合意します。

MMSの効能を認める前に、少なくとも試験をしなければならないのは当然ですが、試験をする医者はほとんどいません。

キリスト教を信じておられる方々は、地球の最後の審判の日は病気や疾病の大洪水に見まわれるという予言をご存じだと思います。私はあまり聖書を信じていないのですが、聖書の中には考慮に値する何かがあると思います。ライム病は、ダニと違って、さまざまな所からやってきます。性交渉、食事、肉、飲み水を通して感染します。とにかく、人類を無き者にしようとする連中がいるようです。彼らは私たちが予想するよりもっと長い年月をへて、その計画を実行し続けてきました。人類を殺戮するといっても簡単なことではないのですが、とにかく超長期間にわたって努力し続けています。私は毎日この状況を見ています。

誰もモーゲロンズ病 (morgellons) がどこからやってくるのか知りません。数十万人、いや、おそらく数百万人が感染しているでしょう。上空で飛行機から散布されるケムトレイル (化学物質を上空に散布してから、雲のように残る形跡) からきているのではと考えている人たちがいます。しかし答えは不明です。数億ドルもお金がケムトレイルに投入されています。一般の人たちは「それは普通の民間航空機であって、モーゲロンズ病は存在しないし、心理的な作用ではないか、そして家庭医がライム病を治療するでしょう」というでしょう。それでは、現在まで100年以上にわたって、がん治療法の研究が、手術方法と毒性の化学療法と放射線だけを除いて、進歩してこなかった原因は何でしょうか。この原因について答えられる方は「科学が解決すべきであると」という考え方を持たれないと思います。

上空のケムトレイルの話ですが、私の友人たちが飛行機に乗って上空を飛んでいたら、近くに飛行している貨物機が数千ポンド相当の粉末科学物質を後部から

散布しているのを目撃しました。ですから、ケムトレイルはないと言われても、事実なのです。あまりにも多くの人たちが証拠を目撃しています。それにAIDSがあります。数百万人がAIDSにかかって死にかけています。アメリカでは、AIDSで死亡する人より、C型肝炎で死亡する人の数が多いことをご存じでしょうか。

私の意見の要点は、一般の人たちが何かを信用しながら次から次へと蠅のように死んでいるのに、大多数の人たちは「何かがおかしい」とさえも思いつかないということです。皆様が聞かれたこともないような病気が数十種あります。私も時々耳にするだけです。しかしこれらの病気により数千人が死亡し、ある人たちは身体障害者になります。多くの人たちが電話をかけてきてMMSが効くかどうか、それとももっと効果が出るような使用方法を知っているのかどうかと尋ねてきます。彼らの話を聞くたびに心が痛みます。1億ドルの資金を投じて研究して答えを出すべきであると思います。しかしお金はありません。それでも、毎日のようにさまざまなデータが集まっており、近い将来、1年以内には、政府がつくるこれらの病気の解決方法を見つけることができると信じています。ご協力下さい。人々へとお伝え下さい。本書をお買い求め下さい。ご支援ありがとうございます。

MMSと本書「21世紀のミラクルミネラル・ソリューション 第1編 第2編」
の購入先：

www.mmsasia.net

ホットライン（相談受付電話）：国際通話料と相談は無料です。

MMSについてご自由に日本語にてお問い合わせ下さい。

ホットラインTEL：050-5539-5910（アナウンスの後で）70234を入力して下さい。（一応1日24時間週7日の体制で返答できるようにしますが、夜間に電話に出れない時はご了承下さい。）